

川崎市市制100周年記念事業の取組について

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



川崎市市制100周年記念事業の取組について

- 市制100周年記念事業については、令和6(2024)年に市制100周年の歴史的な節目を迎えるにあたり、本市のあゆみや歴史・文化を振り返り、本市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とするとともに、次の100年に向けて、「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするよう取組を進めています。
- オール川崎市の推進体制として「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」を組織し、令和5(2023)年3月に策定後、令和6(2024)年3月に改定した、川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors,Future! Actionsプラン」に基づき、約400の実行委員会参画団体の団体・企業等の皆様と連携しながら、記念事業を展開しています。
- 「実施計画」に沿って進めている取組について、記念事業期間も終盤を迎えたことから、これまで実施してきた取組を報告するとともに、記念事業の取組を踏まえて「あたらしい川崎」を生み出していく、100周年記念事業終了後の取組の考え方をまとめた「Colors,Future! Actions 推進ビジョン(骨子素案)」を併せて報告するものです。

【報告内容】

I 川崎市市制100周年記念事業の取組について

- 1 市制100周年記念事業実施計画の概要
- 2 市制100周年記念式典
- 3 全国都市緑化かわさきフェア
- 4 実行委員会主催事業
 - 4-1 かわさき飛躍祭
 - 4-2 Colors,Future! Summit
 - 4-3 みんなの川崎祭
 - 4-4 かわさき脱炭素プロジェクト
 - 4-5 音楽プロジェクト
 - 4-6 みどりの共創プロジェクト
 - 4-7 (仮称)市制100周年の取組を未来へつなぐイベント
 - 4-8 提案型事業・まんなかフェス
 - 4-9 提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト

- 5 川崎市主催事業
- 6 実行委員会参画団体主催事業、パートナー主催事業
 - 6-1 実行委員会参画団体主催事業
 - 6-2 パートナー主催事業
 - 6-3 市民、企業、団体等の機運醸成
- 7 広報について
- 8 協賛について
- 9 今後のスケジュール

II Colors,Future! Actions 推進ビジョン(骨子素案)

1 市制100周年記念事業実施計画の概要

令和6（2024）年に迎える市制100周年の歴史的な節目に、本市のあゆみや歴史・文化を振り返り、本市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とするとともに、次の100年に向けて、「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとします。

「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会」に参画する約400の企業、団体とともに、令和5（2023）年3月に策定、令和6（2024）年3月に改定した、川崎市市制100周年記念事業実施計画「Colors,Future! Actionsプラン」に基づき、オール川崎市で記念事業を展開しています。

1 基本方針

（1）川崎市ブランドメッセージへの共感を喚起する。

「多様性」を可能性にして発展してきた川崎市の歴史を振り返りながら、市民の共感を喚起します。

（2）新たな100年に向けて、文化として根付くムーブメントを起こす。

市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進めて全市的なムーブメント（行動）を起こし、将来のよりよい文化にしていきます。

特に「みどり分野」については、令和6(2024)年度に「全国都市緑化かわさきフェア」を開催し、“川崎らしいみどり”を発信します。

（3）市民一人ひとりのシビックプライドを醸成する。

市民に参加や関わりを促すことで、シビックプライド（川崎への愛着と誇り）の醸成を図ります。

Colors,Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



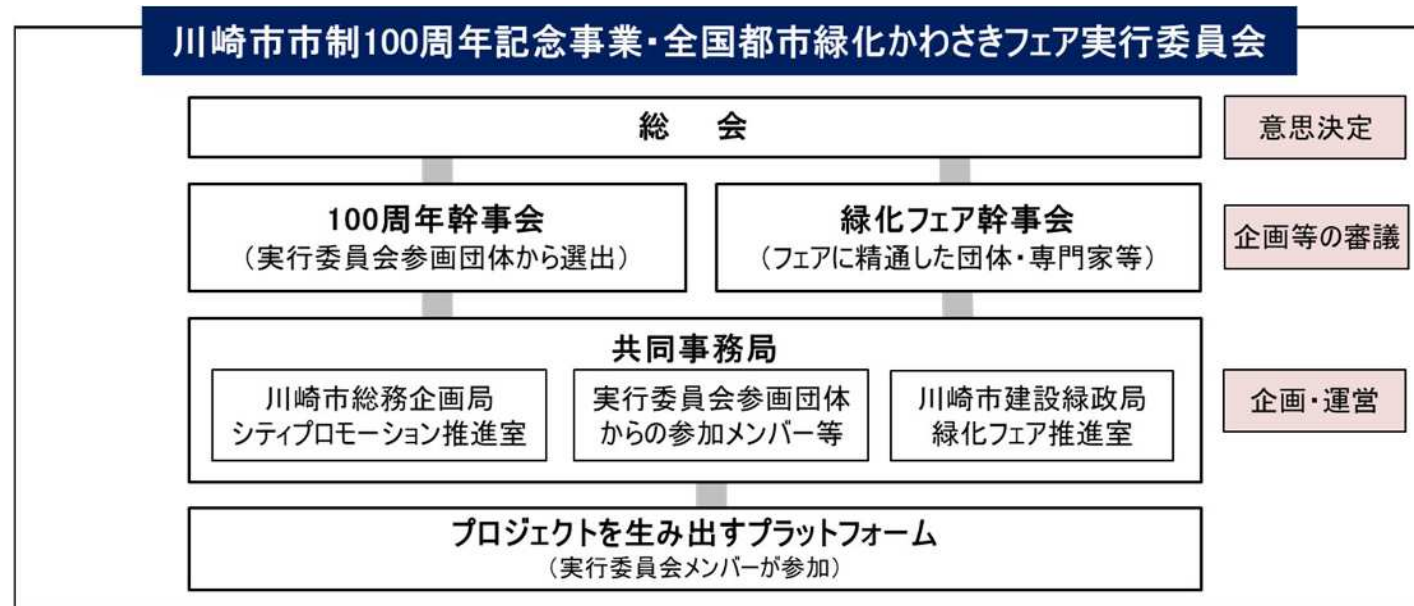
川崎市

1 市制100周年記念事業実施計画の概要

市制100周年という歴史的な節目に向け、市に縁のあるさまざまな企業、団体等で構成される実行委員会を中心としながら、オール川崎市で市制100周年の取組を進めています。

2 実行委員会の設立

目 的 : 市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアの円滑な実施
及び運営の一体的な推進
会 長 : 福田 紀彦（川崎市長）
設 立 日 : 令和4（2022）年9月1日
参画団体数：設立当初276団体→**397団体**（R6.12.31現在）



1 市制100周年記念事業実施計画の概要

3 事業コンセプト等

(1) 事業コンセプト

川崎市ブランドメッセージに込められた意味が「あたらしい川崎」を生み出していくという100周年記念事業を体現することから、記念事業のコンセプトを「Colors,Future! いろいろって、未来。」としました。

(2) プラットフォーム「Colors,Future! Actions」

記念事業のコンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。

(3) 15のActionテーマ

「Colors,Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”として、15の「Actionテーマ」を設定します。

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors,Future!

いろいろって、未来。

川崎市

【市制100周年記念事業ロゴマーク】



ACTION 01

グリーン・コミュニティ



ACTION 02

ブランディング



ACTION 03

ビジネス・インキュベーション

【Actionラベル例】

1 市制100周年記念事業実施計画の概要

4 記念事業期間

令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

（令和5（2023）年度はプレ事業やPR等を実施）

5 時期ごとの目的・事業

川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」いただくために、期間ごとに目的を示して事業等を展開します。

	準備期間 (令和5(2023)年度)	記念事業期間 (令和6(2024)年度)
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」→「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての想い」を広く周知するPRを中心に実施	多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction	記念事業のコンセプトを踏まえた多彩なAction

1 市制100周年記念事業実施計画の概要

6 事業の推進計画

(1) 記念事業に取り組む視点

次の4つの視点により記念事業を進めていくこととします。

【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦

市民、企業、団体等との共創により、行政だけでは解決しにくい社会課題の解決を図るとともに、川崎からはじまる新しい未来や文化を創造するきっかけとなるさまざまな可能性に挑戦します。

【視点2】 川崎を好きになる事業の展開

多くの市民が、川崎市の歴史や魅力、多様性の価値を知りながら、関わっていくことで、川崎市への愛着が次々に生まれ、「好き」があふれる川崎を生み出していくきっかけとなる事業を展開します。

【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開

これからの100年を担う若年層を中心に、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるような取組を進めます。

【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施

令和7年度以降の取組の活性化も見据え、実行委員会や川崎市が先導し、基本理念に賛同する市民、企業、団体等自らが、主体的に市制100周年を祝い、盛り上げていけるよう取組を進めます。

1 市制100周年記念事業実施計画の概要

(2) 記念事業の分類

記念事業は次の4つの主催事業により、それぞれの主体が連携し、関連しながら展開します。

	①実行委員会 主催事業	②川崎市 主催事業	③実行委員会 参画団体主催事業	④パートナー 主催事業
事業主体	実行委員会 (幹事会・共同事務局)	川崎市	実行委員会 参画企業等	趣旨に賛同する市民、団体、 企業等（実行委員会非所属）
実行予算	実行委員会予算	川崎市予算	原則、各企業等の負担	市民・各企業等の負担



1 市制100周年記念事業実施計画の概要

7 記念事業の全体像

準備期間である令和5(2023)年においては、市制100周年のコンセプトを共有するさまざまな広報を展開するとともに、プレ事業として多様な主体とさまざまな事業を展開しながら、市制100周年の機運醸成を図ってきました。

記念事業期間である令和6(2024)年については、こうした令和5(2023)年度の取組により醸成された機運やプレ事業での取組結果を活かしながら、記念事業のコンセプトを踏まえた多彩な事業を展開していきます。

記念事業を進めるにあたり、市制100周年記念事業に取り組む視点を踏まえ、大きく3つの時期に分け、テーマと「取組の核」を設けます。

「取組の核」として、それぞれ「市制100周年記念式典」、フェス&カンファレンス「Colors,Future!Summit」、「全国都市緑化かわさきフェア」の秋開催及び春開催を位置付け、「取組の核」を中心にそれぞれの取組を有機的に連携させながら、年間を通じて、市域全域でさまざまな事業を展開していきます。



1 市制100周年記念事業実施計画の概要

「取組の核」を中心に、実行委員会が主催するプロジェクトや、市の各施策の中で取り組む+αのチャレンジ、実行委員会参画団体をはじめとした自主的なActionを実施するとともに、それぞれが有機的に連携しながら年間を通じて市制100周年を盛り上げていきます。



2 市制100周年記念式典

市民の皆様とともに市制100周年を祝い、次の100年に向けた新たなスタートラインとするため、市制100周年記念式典を開催しました。

●取組概要

実施時期 令和6(2024)年7月1日(月・市制記念日)

会 場 ミューザ川崎シンフォニーホール

主催者 川崎市/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

出席者 約1,900人(被表彰者、来賓・招待者、市民招待者、記念演奏出演者等)

主な内容 ○オープニング/パイプオルガン演奏(松居直美氏)

○市制100周年記念映像の上映

○式辞(川崎市長)

○来賓祝辞(川崎市議会議長)

○市制100周年記念表彰式

川崎市の発展に関し特に顕著な功績がある方及び功績があり今後の更なる活躍が期待される方を称える表彰を実施(228組)

・国歌・市歌斉唱(伴奏：大木麻理氏、市歌指揮：中村拓紀氏、市歌斉唱：桐光学園中学高等学校合唱部)

・市政功労賞等贈呈(被表彰者代表17名が登壇)

○市制100周年記念演奏

式典のために特別に編成した市制100周年記念オーケストラ(約120人)・合唱団(約400人)による記念演奏

・指揮：秋山和慶氏、ピアノ：小川典子氏

・演奏曲：「マーチ・かわさきのねいろ」、「世界中から こんにちは そして ありがとう」、「ボレロ」、「好きです かわさき 愛の街」



【参照】

川崎市市制100周年記念映像 <https://www.youtube.com/watch?v=TsTwKFfu2CM>

川崎市市制100周年記念式典アーカイブ映像 <https://youtu.be/F4EXY1I9ADw>

3 全国都市緑化かわさきフェア

市制100周年の象徴的事業として、みどりが持つ多様なポテンシャルを、共有の価値として認識するとともに、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、みどりの多様な効果が実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体が将来像を共有するためのさまざまな取組を通じて、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。

●取組概要

名称・愛称 第41回 全国都市緑化かわさきフェア「Green For All KAWASAKI 2024」

主催者等 提 唱 国土交通省

主催者 川崎市、公益財団法人都市緑化機構

実施主体 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

開催期間 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日)(30日間)

令和7(2025)年 3月22日(土)～ 4月13日(日)(23日間)

会 場 コア会場：富士見公園会場、等々力緑地会場、生田緑地会場

コア会場周辺エリア及びまちなかみどりスポット(公園緑地、駅前広場、道路、河川、庁舎、商業施設など)



第41回 全国都市緑化かわさきフェア
シンボルマーク

●主な行事

<秋会期> オープニングセレモニー・総合開会式 令和6(2024)年10月19日(土)

全国都市緑化祭 令和6(2024)年11月 1日(金)

<春会期> 総合閉会式 令和7(2025)年 4月13日(日)



3 全国都市緑化かわさきフェア(秋開催)

市制100周年の象徴的事業として、秋開催については、富士見公園、等々力緑地、生田緑地の3つのコア会場を中心に、それぞれ異なるテーマで、都市の中のみどりの可能性を発信し、多くの皆様に体感していただきました。

●開催概要

開催期間 令和6(2024)年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)

来場者数 約94万人 ※会場周辺エリア含む

(富士見公園会場：約51万人)

(等々力緑地会場：約26万人)

(生田緑地会場：約17万人)

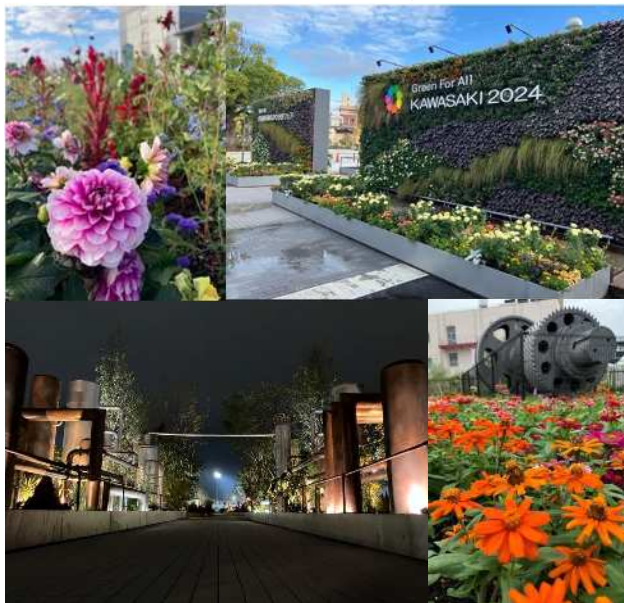


会場周辺エリアの取組



主要駅の緑化装飾

<富士見公園会場「多様性×みどり」>



<等々力緑地会場「体験・体感×みどり」>



<生田緑地会場「歴史・文化×みどり」>

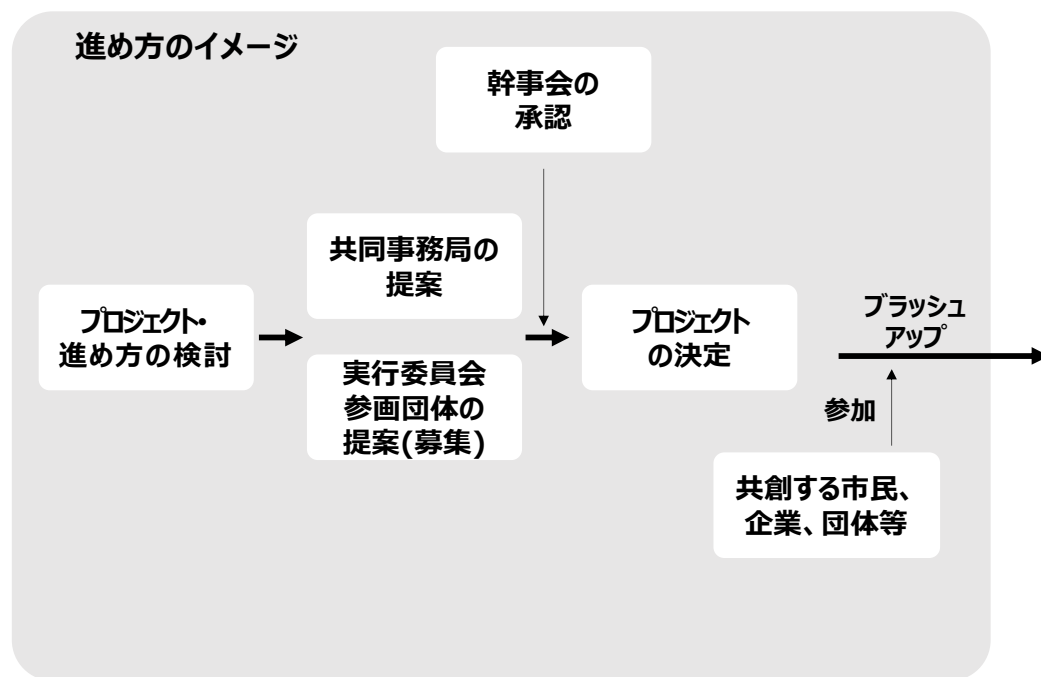


4 実行委員会主催事業

実行委員会が主体となり、「Colors, Future! Actions」を体現する事業を実施します。

共同事務局を中心に、実行委員会参画団体とも連携し、さまざまなプロジェクトを検討・実施していきます。

市民、企業、団体等と共創しながら官民連携で事業を推進し、
あたらしい川崎の可能性に挑戦する取組を展開します。



	プロジェクト名
1	等々力緑地全体を活用した共創・賑わい創出プロジェクト 「かわさき飛躍祭」
2	フェス&カンファレンス 「Colors,Future!Summit」
3	公共空間を活用した賑わい創出プロジェクト 「みんなの川崎祭」
4	かわさき脱炭素プロジェクト
5	音楽プロジェクト 「ここから未来プロジェクト」
6	みどりの共創プロジェクト
7	(仮称) 市制100周年の取組を未来へつなぐイベント
8	提案型事業 「まんなかフェス」
9	提案型事業 「子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト」

4-1 実行委員会主催事業（かわさき飛躍祭）

市制記念日に合わせて、川崎が誇る多様なプレーヤーの連携により、等々力緑地をフル活用した、川崎の魅力や価値に触れる祝賀イベントを実施することで、未来を担う若者を中心に、“川崎はすごい”“最高に楽しかった”という体験と記憶を残してシビックプライドの向上を図るとともに、将来に向けた賑わいあふれる等々力緑地創出を目指して開催しました。

●取組概要

日 時： 令和6(2024)年6月29日(土) 9時～21時
場 所： 等々力緑地一体
来場者数： 約18万人



イベント名	時間	概要	来場者数
① かわさき100フェス (実施主体：ディスクガレージ)	正午～16時 (球場)	SHISHAMO、sumikaなどの川崎ゆかりのアーティストが出演する野外音楽イベント	約9,000人
② アット (@/at) 等々力フェス (実施主体：川崎とどろきパーク 川崎市・実行委員会)	10時～18時 (緑地内各所)	各種スポーツ・パラスポーツ体験コーナー、 キッチンカーなど	約150,000人 ※③の700パーク来場者、④ブルーインパルス飛行展示観覧者含む
③ 川崎フロンターレ市制100周年記念試合 (実施主体：川崎フロンターレ)	19時キックオフ (陸上競技場)	対サンフレッチェ広島（市民招待1,100名、 ハーフタイム・試合前イベントなど）	22,393人 ※記念試合来場者数
④ ブルーインパルス展示飛行 (防衛省)	14時20分頃～ (緑地上空)	かわさき100フェス野外音楽イベントとの 一体的な演出	—

●実施結果まとめ

- ・約18万人が来場し、“川崎はすごい”“最高に楽しかった”という体験と記憶を多くの方に提供することができた
- ・実行委員会公式ウェブサイト「かわさき飛躍祭」ページの6月のビュー数が724,052ビューを記録し、本イベントへの高い関心が寄せられた
- ・イベントの様子は、新聞72媒体、WEB725媒体、テレビ12番組などのメディアに取り上げられ、市制100周年や川崎の魅力を市内外に多く知ってもらう機会となった

4-1 実行委員会主催事業（かわさき飛躍祭）

●当日の様子

① かわさき100フェス



フェスの締めくくりに撮影した会場の皆さんと出演者の写真
©Sakata Yoshihiro (THINGS.)

③ 川崎フロンターレ市制100周年記念試合



ハーフタイムショー @KAWASAKI FRONTALE

② アツと (@/at) 等々カフェス



若者ラバース ワークショップの様子

④ ブルーインパルス展示飛行



©Sakata Yoshihiro (THINGS.)

4-2 実行委員会主催事業（Colors,Future!Summit）

実行委員会主催事業を先導し、市制100周年記念事業「Colors, Future! Actions」のショーケースとして、これまでの100年で培われた川崎の魅力を再発見できる、誰もが楽しめる『フェスティバル』と川崎の可能性を共有し、未来づくりへの参加のきっかけとなる『カンファレンス』を組み合わせ、市制100周年からはじまる産官学共創の「Colors,Future!Summit」を開催し、川崎のポテンシャルや魅力を広く発信していくことで、市民のシビックプライドの向上を図るとともに、将来的な自走を目指します。

●取組概要

今年は『はじめるを、はじめよう！』をテーマに、川崎を起点に「まち」と「社会」の未来を考えるきっかけとなるカンファレンスとちょっと先の未来には当たり前になっているかもしれない“おいしいの未来”が体験できるフェスティバルを開催しました。

日 時： 令和6(2024)年11月2日(土)・3日(日) 10時～19時30分

場 所： 川崎市役所本庁舎 2階ホール（A会場）/UNI COFFEE ROASTERY 川崎市役所（B会場）/
ラゾーナ川崎プラザルーフ広場（C会場）

実施主体： フェス&カンファレンス製作委員会

（株）ホリプロ/NTT東日本/（株）EVERY DAY IS THE DAY/（株）JTB/（株）TopKnock/

（株）フロンティアダイレクト/川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会）

スポンサー： 15社（富士通(株)/アサヒビール(株)/東急不動産ホールディングス(株)/昭和大学/（株）CSD 他）

来場者数： 約2.3万人

会場コンセプト： 各会場のプログラムがイメージしやすいよう、会場の特徴や魅力を活かしたコンセプトを設定しました。



【A会場】市役所2階ホール 【B会場】UNI COFFEE ROASTERY 【C会場】ルーフ広場

Play!Future Park ～おいしいの未来～

10年後の「食」や「生活」を体験することができるフェスティバル

未来の食フェス

スマドリ、ヴィーガン食、大豆ミートなど
10年後にはスタンダードとなるかもしれない
食文化を体験できるブース

未来を想起

自分自身の健康などの
10年後になっているかもしれない
生活を体験できるブース

4-2 実行委員会主催事業（Colors,Future!Summit）

●実施結果まとめ

- カンファレンスは3会場で69名の登壇者による14のセッションを実施するとともに、未来の食フェスは飲食のお店を中心に未来を体験できるブースを合わせて計15ブース展開して、2日間で約2.3万人に会場いただき、川崎の未来を考えはじめるきっかけを提供しました。当日来られなかった方に向けて、カンファレンスの動画アーカイブを配信し、イベント終了後も川崎の魅力を発信していきます。
- 「あたらしい川崎」を生み出す企画として、企業等のコラボレーションによる3つの新商品（①Colors,Future! Burger、②住吉の久寿餅ドーナツ、③秋の4大イベントの広報宣伝部長である「水溜りポンド」カンタ氏が監修した「ハーガーカヌレくんのカヌレ」）の開発と企業と市内音楽大学のコラボレーションによるオリジナルカクテルの開発を行い、新たな共創の取組を生み出しました。
- 来場者アンケートの結果、来年以降も継続を望む意見が9割を超えており、未来を考える本事業への期待は大きく、これまでの成果や課題を踏まえ、持続可能な体制の見直しを図りながら「Colors,Future!Summit」が継続ができるよう取組を進めます。



【A会場】 オープニングセッションの様子



【B会場】 コーヒーセッションの様子



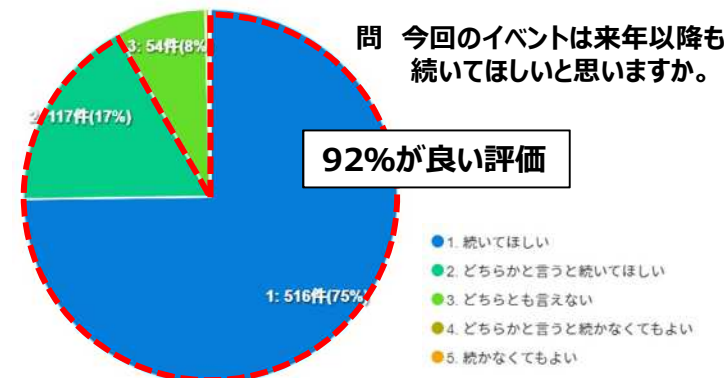
【C会場】 食のセッションの様子



【C会場】 未来の食フェスの様子



コラボ新商品



4-3 実行委員会主催事業（みんなの川崎祭）

市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアを契機として、道路や公園などの公共空間を活用し、川崎で活躍している方々を中心にさまざまな主体が連携しながら、居心地の良いウォカブルな空間を生み出し、面による賑わい創出のイベントやみどりを身近に感じてもらえる仕掛け等を実施することで、川崎の魅力の向上を図るとともに、取組を広く発信し、市民のシビックプライドの向上やみどりのまちづくりの機運醸成を図るとともに、将来的な公共空間の効果的かつ持続的な活用を目指します。

●令和6年度取組概要

2回目の開催となる今回の「みんなの川崎祭」については、市役所通りの交通規制区域を片側3車線から両側6車線に、ハローブリッジから砂子交差点までだった範囲を川崎駅前東交差点までにするともに、新たに供用を開始した市役所本庁舎を活用するなど、イベント範囲を昨年より拡大し、川崎で活躍する人々たちによる多彩なスポーツ・音楽などのステージや体験、みどりを身近に感じる休憩スペースや飲食ブースの設置、環境に優しいサステナブルな取組や市民との共創等によるアート展示など、川崎を知って・関わって・好きになれるさまざまな取組を展開しました。



日時・場所：

令和6(2024)年11月3日(日)

- 市役所通り（駅前から国道15号までの道路空間） 11:00-16:00
 - ※神輿パレードは 16:45-17:30
 - ※交通規制期間は 9:00-17:40
- 川崎市役所本庁舎・第3庁舎 11:00-16:00
- 稲毛公園 11:00-16:00
- ラゾーナ川崎プラザルーファ広場 15:00-18:00

実施主体：・川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア

実行委員会：川崎市

来場者数：約11万人



4-3 実行委員会主催事業（みんなの川崎祭）

●実施結果まとめ

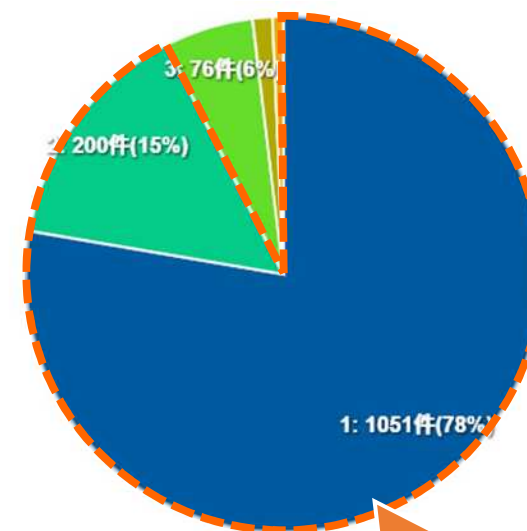
当日は1日中好天に恵まれ、約11万人の方々に御来場いただき、道路上を歩行者が広々と使いながら、盛りだくさんのステージやさまざまなコンテンツをお楽しみいただきました。

当日実施したアンケートにおいては、90%以上の方から、来年以降も続いてほしい旨の回答をいただきました。今回の成果や課題を踏まえながら、今後も持続可能な形で「みんなの川崎祭」の継続に向けて、取組を進めていきます。



アンケート：回答数1,353件
（みんなの川崎祭）

今回のイベントは来年以降も続いてほしいと思いますか。



- 1. 続いてほしい
- 2. どちらかと言うと続いてほしい
- 3. どちらとも言えない
- 4. どちらかと言うと続かなくてもよい
- 5. 続かなくてもよい

来場者の90%以上が来年以降も続いてほしい旨回答

4-3 実行委員会主催事業（Colors,Future!Summit 2024・みんなの川崎祭等の連携開催）

●川崎駅周辺における一体的なイベント「川崎愛 遊びつくす 3日間」の実施

11月2日から4日にかけて、「Colors,Future!Summit 2024」「みんなの川崎祭」「川崎夜市」「かわむすのおんがえし」の4つのイベントが連携して「川崎愛 遊びつくす 3日間」として同時開催しました。



11/2(土)・3(日)



11/3 (日)



11/2(土)・3(日)



11/2(土)~4(月・祝)

●一体的な広報の実施

- **ポータルサイトの制作**
連携イベントの公式ウェブサイトをつなぎ、ネット上の回遊性を高めました。
- **タブロイド誌/チラシ・ポスターの制作**
各イベントがバラバラに広報を行うのではなく、同じ広報物を手に取ってもらい、来場・周遊していただけるよう、共通のタブロイド誌を制作しました。
- **動画制作・デジタルサイネージ**
イベント全体の広報動画を制作して、川崎駅周辺のビジョンやデジタルサイネージを活用して、多くの駅を利用する方に広報を実施しました。
- **広報宣伝部長にインフルエンサーの起用**
「水溜りポンド」のカンタ氏に4大イベントの広報宣伝部長に就任していただき、動画サイトやSNSなどさまざまな媒体で情報を発信しました。



4大イベントのポータルサイト



タブロイド誌【表紙・裏表紙】（20P・フルカラー）



4大イベントチラシ・ポスター



広報宣伝部長カンタ氏の起用

4-4 実行委員会主催事業（かわさき脱炭素プロジェクト）

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェアを契機に、川崎市の脱炭素戦略（かわさきカーボンゼロチャレンジ2050）のもと、川崎で活動・活躍している企業・団体を中心に一層の連携を進めながら、市民や事業者が環境に良いアクションを行うことをより身近に感じられる事業を実施することで、市民のシビックプライドの向上や、サステナブルなまちづくりに向けた機運醸成を図るとともに、一人ひとりが自発的に環境に良いアクションをとる文化や新しいライフスタイルの形成を目指します。

●取組概要

令和6(2024)年度は、脱炭素プロジェクトの先行的取組として「宅配再配達削減」エコアクションの推進・普及に取り組み、宅配分野における市民の自発的な行動変容につながる仕組みについて検証を行うとともに、本検証より得られた結果から、脱炭素で注目を集めている他分野への展開、また、さまざまな事業主体とのさらなる共創モデルの構築について検討を進めました。

令和7(2025)年度以降、エコアクションを推進する取組分野を段階的に拡大しながら、市民の自発的なエコアクションの連鎖を促す仕組みの創出を目指します。

●目的と全体像

脱炭素プロジェクトの目的と全体像



4-4 実行委員会主催事業（かわさき脱炭素プロジェクト）

●令和6年度「宅配再配達削減」エコアクションの取組概要

脱炭素プロジェクトの先行的取組として実施する「宅配再配達削減」エコアクションは、宅配便ロッカー（PUDOステーション）の利用促進により、宅配再配達を減らすことで、CO2の削減を目指すとともに、市民の環境意識の向上、行動の継続を図ることを目的としています。令和6(2024)年度は、市内15か所の宅配便ロッカーに地球環境問題等を周知するラッピング等を行い、市民に広く広報・周知を行うとともに、宅配便ロッカー利用者に川崎ゆかりの特典を提供するキャンペーンを実施し、初めての利用や継続利用を促しました。さらに、地図上に木と顔アイコンが増える仕掛けで宅配便ロッカーの利用数が見える化するするとともに、CO2排出削減量の可視化を行い、これらの取組を通じ、環境に良い宅配受け取りのライフスタイルを目指しました。

- ・**実施期間**： 令和6(2024)年6月17日(月)～8月31日(土)
- ・**実施主体**： ヤマト運輸、Packcity Japan、富士通、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会
- ・**実施概要**： 環境行動変容(オープン型宅配ロッカー利用)を促進するため、以下の取組を推進

広報・周知

宅配便ロッカーのラッピング等を通じて地球環境や物流の社会課題を楽しくわかりやすく周知



利用促進キャンペーン

「行動のきっかけ」となるインセンティブ(特典)を提供するキャンペーンを展開



効果可視化

結果(宅配便ロッカーの利用数やCO2排出削減量)が直感的に見えるダッシュボードで動機づけ



●実施結果まとめ

- ・キャンペーン期間を通じ、宅配便ロッカーの利用により、市全体で13,606kgのCO2を削減しました。
- ・キャンペーン応募者のうち、これまで「荷物」の受け取りで宅配便ロッカーを利用したことがなかった人が40%を占め、初めての利用を促すことができました。
- ・令和7年度以降も「宅配再配達削減」エコアクションの継続等に向け、共創事業者が中心となって取組を進めます。

4-5 実行委員会主催事業（音楽プロジェクト）

溝口駅前キラリデッキに誰もが楽しめるオープンな空間を設け、音楽を通じた地域社会の活性化とオープンスペースで活動ができる場の創出にチャレンジし、多彩な文化・芸術活動の場の提供を通じてできた「人のつながり」から活力とおいしいのある地域社会づくりを目指し取組を進めました。

●取組概要

➤「ここから未来プロジェクト推進協議会準備会」の設立及び「キラリデッキステージ」の設置

ステージの管理やイベントの企画・運営を担う団体「ここから未来プロジェクト推進協議会準備会（会長 五十嵐 公太氏 元JUDY AND MARY）」を地域の方々に立ち上げ、令和6(2024)年11月に、木の温もりが感じられる「キラリデッキステージ」を設置しました。

➤ こけら落としイベント「ここから未来フェスタ in 溝の口 ～あなたも街の音楽家～」の開催

日 時： 令和6(2024)年11月9日(土) 10時45分～17時50分

内 容： ①オープニングセレモニー

②ステージイベント（地元のキッズダンススクールや洗足学園音楽大学学生など14組が出演）

来場者数： 約2,000人

連携イベント： 11月10日(日)に洗足学園音楽大学学園祭と連携して、同学園前田ホールにて、「LINDBERG ここから未来プロジェクト応援ライブ “かわさきでもっと愛し合いましょ”」を開催

➤ ステージ利用の実証実験等の取組

こけら落としイベントの出演者にアンケート調査を行うとともに、川崎市主催イベント等の実施による実証を重ねるなど、キラリデッキステージのより快適な利用環境の提供や、発表や練習場所として一般の方にも広く利用していただけるような利用ルールの設定に向けた取組を進めています。

＜ステージ利用の実証の取組事例＞

- ① まるっとサステナファッションショー 11/16（土）11時～16時（川崎市主催）
- ② Midori-ba FES in MIZONOKUCHI 11/16（土）17時～20時（川崎市後援）
- ③ テレビ番組収録会場等としての活用（テレビ神奈川「LOVEかわさき」、NHK「首都圏ネットワーク」） 他



キラリデッキステージの位置



キラリデッキステージ

4-5 実行委員会主催事業（音楽プロジェクト）

●「こけら落としイベント」や「ステージ利用実証実験」の様子



ダンスチームによるパフォーマンス



バンド演奏



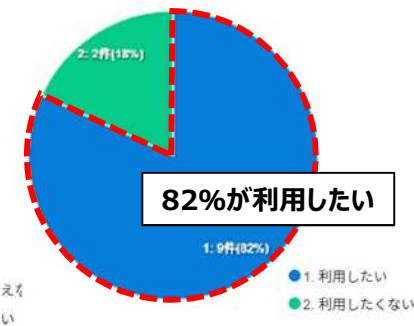
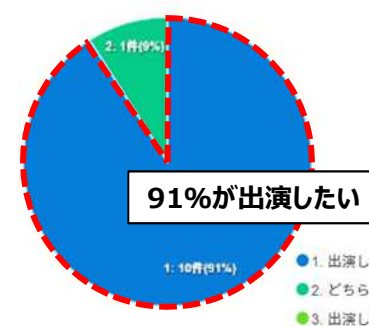
実証①「まるっとサステナファッションショー」



実証②「Midori-ba FES」

イベント出演者アンケート調査結果

①またイベント出演したいですか？ ②一般利用したいですか？



●実施結果まとめ

- 市による喫煙所の移転や植栽・ウッドベンチ設置等のキラリデッキリニューアルの取組も進み、キラリデッキ上の憩いの空間創出に繋がっています。
- イベント時は、通行者等がステージ前まで見に来てくれたりと、自然と人が集まる場所になっている。また、出演者へのアンケート結果でも「またイベント出演したい」、「発表会用にステージを一般利用したい」との回答が多く、音楽やダンスを行うパフォーマーにとっても魅力的な活動場所となっています。
- 今後も、地域の方々に立ち上げた「ここから未来プロジェクト推進協議会準備会」を中心に、ステージイベントの企画、一般利用に向けたルールの整備、快適な出演環境提供の取組等を進め、新たな音楽文化の発信基地として地元にも愛される場所となるよう取り組んでいきます。

4-6 実行委員会主催事業（みどりの共創プロジェクト）

全国都市緑化かわさきフェアの開催を機に、『みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち』の実現を目指す取組として、企業、団体等の多様な主体の共創による、みどりを通じた自発的な取組がスタートしました。

『コミュニティ×みどり』をテーマに、公園など場所を決めてみどりを育てる体験のできる「グロウガーデン」の取組や、トラックなどを使用して場所を制限せずに身近にみどりに触れる機会を創出する「トラックガーデン」の取組において、様々な体験の提供やワークショップを実施し、みどりとのふれあい、人と人とのつながり、コミュニティをはぐくんでいます。

●令和6年度取組概要

日時：

- ・グロウガーデン：各拠点で月1回程度
- ・トラックガーデン：各地で開催
(※うちかわさきフェア会期中に2回実施)

場所：

- ・富士見公園会場エリア・大師公園ほか(川崎区)
- ・SUPERNOVA KAWASAKI(幸区)
- ・総合自治会館・福祉交流農園「VOVO」(中原区・高津区)
- ・橋公園・溝口駅・eM/PARK・Nokuchi-Lab.(高津区)
- ・キーウィガーデン(麻生区)

開催実績：

イベント実施回数：47回(12月末現在)
イベント総参加者数：約7,000人(12月末現在)
※1月～3月もイベント実施予定(16回予定)

実施主体：

9つの企業・団体がプロジェクトに参画
(12月に任意団体「midori-ba」を設立)



4-6 実行委員会主催事業（みどりの共創プロジェクト）

●グロウガーデンの取組事例

【農体験】

作物の育成を通じて、土に触れ、自然に親し
みを持ち、食物の大切さを知る取組



サツマイモ植付け～やきいも体験
@日進町こども文化センター、大師公園

【自然体験】

自然素材を使った作品づくりなどの体験プログラム



公園にある自然素材などを使ったクリスマスリースづくり
@橘公園

【みどりのオープンスペース体験】

みどりのオープンスペースの魅力を引き出し、
地域コミュニティ醸成を図るイベント・マルシェ



たき火によるアウトドア体験
@橘公園

●トラックガーデンの取組事例 midori-ba Fes in溝ノ口(秋フェア連携)

溝口駅前キラリデッキに新しくできたステージ等を活用した
みどりの社会実験を実施し、緑化に関する意識醸成、フェア
及び“midori-ba”の認知向上を図りました。
(環境局における脱炭素アクションの取組とも連携)



ステージを緑化し、音楽と共演



みどりに関わる出展、WS実施

@溝口駅前キラリデッキ

●実施結果まとめ

- ・イベントの参加者が取組に興味を持ち、イベントの出展者側に回る事例も出てきており、みどりを通じた行動変容が起きています。
- ・野菜の育成や自然体験等を通じて、参加した親子や参加者同士のコミュニケーションが深まっています。
- ・トラックガーデンによるオープンスペースにおける緑化の創出により、緑化に関する意識醸成につながっています。
- ・令和7年度以降のプロジェクト自走化に向けて、任意団体である“midori-ba”を設立し、運営体制の構築を進めています。

4-7 実行委員会主催事業（（仮称）市制100周年の取組を未来へつなぐイベント）

市制100周年の取組の中で位置付ける「市制100周年の取組を未来へつなぐ」期間に、記念事業でチャレンジしたActionや向上したシビックプライドを未来へつないでいくため、「あたらしい川崎」を担う子どもたちをターゲットに、取組の核である全国都市緑化かわさきフェア(春)と連携しながら、子どもたちの川崎への愛着と誇りを生みだすことを目指します。

●取組概要

川崎の未来を担う子どもたちの心に残るイベントとするため、「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」が川崎にあることを活かし、22世紀の未来からやってきた「ドラえもん」を本イベントに起用するとともに、これまでの市制100周年記念事業の振り返りや、「未来」をテーマとした体験型のブース出展、パレードなどを行うことで、シビックプライド（川崎への愛着と誇り）の醸成を図ります。



4-7 実行委員会主催事業（（仮称）市制100周年の取組を未来へつなぐイベント）

●開催概要

開催日：令和7(2025)年3月29日(土)・30日(日)

場所：全国都市緑化かわさきフェア 等々力緑地会場 催し物広場

※雨天時は等々力陸上競技場屋根付きスペースで実施予定

●実施内容

①100周年のフィナーレを飾るパレードの実施

川崎の魅力的なコンテンツを活かしながら、参加型のパレードやミニセレモニーを実施します。



※イメージ

②未来を体感するブース出展

市内の企業と連携しながら、子どもたちが未来を感じることができる、体験型のブース出展を行います。



※イメージ

③100周年の取組を振り返るブース出展

100周年の取組紹介や記念商品展示など、100周年の取組を振り返ることができるブースを出展します。



※イメージ

④体験を記憶や記録に残すコンテンツ

キャラクターを活用したスタンプラリーやフォトスポットの設置など、子どもたちの記憶や記録に残るコンテンツを提供します。



※イメージ

4-8 実行委員会主催事業（提案型事業・まんなかフェス）

まんなかフェスは、市内で活躍する女性を中心となって立ち上げた「まんなかフェス実行委員会」が、「武蔵小杉でママや家族も安心して楽しめる場所・機会をつくりたい」という思いのもと、平成30年から武蔵小杉駅周辺で毎年実施しているイベントです。横のつながりが持てずに孤立して活動しているママたちに、子どもたちと一緒に楽しめる遊び場、息抜きできる場、交流ができる場を提供し、活動を知って、楽しんで、「私も！」と社会参加の第1歩を踏み出す機会となることを目指して取り組んでいます。

●「まんなかフェス2024」開催概要

「まんなかフェス2024」は、令和7年度以降の継続を見据えて一般社団法人を設立し運営母体を強化した「まんなかフェス実行委員会」が、全国都市緑化かわさきフェアを意識した『花や緑』をテーマとして、市内で活躍するハンドメイドショップや飲食店を集めたマルシェ＆ワークショップ、音楽・ダンスステージを開催しました。また、市制100周年のメモリアルな機会をみんなで一緒に祝えるように、武蔵小杉駅周辺で過去最大級の市民参加型の音楽パレード（風とリズムのパレード）にチャレンジし、参加者、来場者全員にとっての忘れ得ない体験、川崎への自信、愛着を持てる機会の創出を図りました。

開催日

令和6年9月28日（土）、29日（日）10:00～17:00

※パレード開催日は、9月28日（土）

マルシェ＆ ワークショップ

市内で活躍する飲食店や、ママも一緒に楽しめるワークショップ等が出展しました。

音楽・ダンス ステージ

市ゆかりのアーティストを公募し、音楽やダンス等イベントを盛り上げました。

市民参加型の 音楽パレード

市内のダンス・音楽スクールのメンバーでパレードを盛り上げ、多くの市民の方に体験してもらえる市民参加型のパレード（風とリズムのパレード）を実施しました。

会場

こすぎコアパーク/市道小杉町21号線・210号線/
東電私道/ コスギ サードアヴェニュー サウスパーク



4-7 実行委員会主催事業（提案型事業・まんなかフェス）

●「まんなかフェス2024」開催結果

マルシェ&ワークショップ 音楽・ダンスステージ

2日間で計101のブース出展と26グループの音楽・ダンスステージパフォーマンスで賑わった会場は、親と子どもたちが一緒に遊んで楽しめる空間となりました。2日目の29日は途中雨に見舞われましたが、全コンテンツを予定どおり実施し、2日間で延べ6万人が来場しました。

風とリズムのパレード

一時的に車両通行止めとして、約20分間行われた市制100周年を記念したパレードには、事前に実施した楽器製作ワークショップに参加した市民約80人に加え、ダンスや音楽を奏でるメンバーを合わせた総勢約200名が参加しました。パレードの沿道には、観覧者が約5,000人ほど集まるなど、多くの参加者と観覧者で市制100周年を祝いました。



歩行者空間にした道路にブースを出展



ダンス・音楽スクールの子どもたちによる
ステージパフォーマンス



パレードで持つ楽器制作ワークショップ
に参加する子どもたち



手作り楽器を持って
パレードを楽しむ子どもたち



リズムを奏でながらパレードする
洗足学園音楽大学の皆さん



花と緑をイメージした衣装で
パレードを楽しむ参加者

- 来年度以降は、本年度設立した「一般社団法人まんなかフェス」が中心となり、そのときどきにあったコンテンツを提供しながら取組を継続していく予定です。

4-9 実行委員会主催事業（提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト）

子どもたちが地域の産業や文化に触れ、自らのアイデアでエコでクリーンなまちづくりを実現する場を提供することなどにより、子どもたちの主体性とリーダーシップを育成し、持続可能な社会の実現を目指します。

●取組概要

イベント名	日時	場所	事業内容
① こどものまち仕事体験イベント （ミニたまゆり※）	令和6年 11月16日(土)・17(日) 10:00～16:00	田園調布学園大学	子どもたちが地域産業や文化を体験できる場や主体的にまちづくりに参加する場を提供する
② 共創子ども会議	令和6年6月～10月まで 全6回開催		市内の小中学生を対象とした「こどものまち仕事体験イベント（ミニたまゆり）」の準備をする子どもたちによる会議。 こども-大学生-企業・団体の3者が連携して仕事体験の内容等を検討
③ 世界こども地域合衆国サミット	令和6年11月17日(日) 13:00～15:00		ドイツ、ウクライナ、日本全国の子どもの代表を集めた国際会議を開催
④ メタバース×リアル謎解きツアー	メタバース＝ 令和6年7月～12月 リアル＝ 令和6年7月27日～8月31日	メタバース空間 7区の公園等	川崎に因んだ「謎解きツアー」をメタバース×リアルで開催

●提案・共創事業者

田園調布学園大学、一般社団法人デジタル田園都市国家構想応援団、NPO法人ミニシティ・プラス、CHEERS株式会社、一般社団法人 SDGs Innovation HUB、一般社団法人CePiCみんなの地球公園国際コミュニティ

※ミニたまゆり

ドイツのミニ・ミュンヘン子どものまちを参考にした子どもたちのためのイベント。平成17(2005)年から田園調布学園大学が中心となり開催
田園調布学園大学の最寄り駅のたまプラーザ駅・百合ヶ丘駅にちなんで命名

4-9 実行委員会主催事業（提案型事業・子どもの力で川崎の未来を変えるプロジェクト）

●実施結果まとめ

（１）こどものまち仕事体験イベント（ミニたまゆり）

市内のさまざまな企業の仕事を体験することを通じて、自分が住んでいるまちへの理解と愛着を育みました

日 時：令和6（2024）年11月16日（土）・17日（日） 10:00～16:00

場 所：田園調布学園大学キャンパス

対 象：5歳～15歳・保護者等

参加者数：約1,800人

出店企業・団体数：26団体（うち実行委員会参画団体は5団体）

仕事体験内容：銀行、宅急便、テレビ局、ユーチューバー、食品サンプルづくり、宅急便など



（２）共創こども会議

こども-大学生-企業・団体の3者が連携して、市内の小中学生を対象とした「こどものまち仕事体験イベント（ミニたまゆり）」の内容等を検討しました（全6回、延べ参加人数約450人）



（３）世界こども地域合衆国サミット

ドイツやウクライナの子どもの代表、全国の「こどものまち」の代表を招待して開催しました。川崎市の子どもへの取組や各地域の取組を紹介し、議論を行いました

日 時：令和6（2024）11月17日（日） 13:00～15:00

場 所：田園調布学園大学、メタバース等

参加者：約20名（全国10の「こどものまち」の代表者、ミュンヘン及びウクライナの代表者 等）

来場者数：約300人（こどものまち参加者及びオンラインを含む）



（４）メタバース×リアル謎解きツアー

川崎市の企業や文化等に因んだ「謎解きツアー」をメタバース×リアルで開催しました

日 時：メタバース＝令和6年7月27日（土）～12月末、リアル会場＝令和6年7月27日（土）～8月31日（土）

場 所：メタバース空間、リアル会場＝富士見公園、大師公園、夢見ヶ崎動物公園、等々力緑地、橘公園、鷺沼公園、生田緑地、王禅寺ふるさと公園 ほか

アクセス数：約4,600



・来年度以降は、今回の提案者である田園調布学園大学が中心となり取組を継続していく予定です。

5 川崎市主催事業

市主催事業は、川崎市の各局区が所管する施策・事務事業に取り組む中で、市制100周年を契機として、一步先を目指す+αのチャレンジを行うものです。

令和5（2023）年度の準備期間においては、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアの令和6（2024）年度の記念事業を見据えたプレイベントや機運醸成に向けたPRなどに取り組みました。

令和6(2024)年度については、令和5(2023)年度の取組を踏まえながら、「市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組」、「市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組」、「これからの100年を担う若年層への取組」など、各局区において、さまざまな記念事業を効果的に展開しています。

【令和6(2024)年度の取組】(157事業)

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組 (28事業)

さまざまなイベントにおいて、市制100周年を記念した特別な事業を展開します

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組 (48事業)

各区における地域の特徴や資源等を活かした特徴的な事業を展開します

○これからの100年を担う若年層への取組 (30事業)

子どもたちの成長・発達段階に応じて、市制100周年記念事業を実施します

○市制100周年のPR及びさまざまな取組 (51事業)

さまざまな機会を捉えながら、川崎の歴史を踏まえた市制100周年のPR等を実施します

5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組

●実施事例

「かわさき多摩川マラソン」の誰もが参加できる大会に向けた取組【市民文化局】

令和6（2024）年11月17日に等々力陸上競技場をメイン会場として「かわさき多摩川マラソン2024」を開催しました。ハーフマラソンやファミリーファンランニングなどに加え、2人1組で参加し合計タイムを競うペアランニング部門を新設するとともに、昨年度、100周年記念プレ事業として新設した車いすランや未就学児部門などを拡充し、世代や障害の有無に関わらず、誰もが参加でき、楽しめる大会として開催しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

車いすランや未就学児部門など、100周年を契機として始めた取組を継続して実施し、誰もが楽しめるインクルーシブな大会として開催することで、多様性を認め合い、つながりあえる機会を創出していきます。



市役所通りのライトアップ【建設緑政局】

空間を高質化し、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成を図るため、全国都市緑化かわさきフェア富士見公園会場へのアクセス路となる市役所通りの銀柳街及び銀座街との交差点から国道15号までの区間において、照明設置工事を行い、令和6（2024）年10月16日に再生可能エネルギーを活用したイチョウ並木のライトアップの点灯を開始しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

本市の目抜き通りである市役所通りのライトアップによる空間の高質化を継続するとともに、引き続き再生可能エネルギーの活用について発信し、市民の環境や脱炭素の取組への関心を高めていきます。



市制100周年記念「市制記念多摩川花火大会」【経済労働局】

令和6（2024）年10月5日に多摩川河川敷で開催し、会場には約21万人が来場しました。市制100周年を記念し、10,000発に増発するとともに、市民等から寄せられたメッセージ用紙を花火玉の包み紙として使用する「メッセージ打上花火」や市内の未就学児が描いた花火のイラストを再現する「こどもイラスト花火」を実施し、YouTubeで同時動画配信も行うことで、多くの市民が参加できる大会となりました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

多摩川花火大会を「ふるさと川崎」の意識の高揚と豊かな市民文化の創造の機会と捉え、継続して取り組んでいきます。



5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組

●実施事例

市制100周年記念「さいわいにぎわいフェス」【幸区役所】

令和6（2024）年9月27日、28日に、川崎駅西口周辺で、周辺事業者や地元町内会、商店街等と連携し、事業者の施設や公開空地、公共空間などを活用しながら、企業や地元町内会等の地域の強みを活かしたコンテンツを展開し、地域手作りのイベントとして「さいわいにぎわいフェス」を実施しました。また、アフターフェスとして翌29日に、イベント会場の美化活動を行い、更なるまちのにぎわいにつなげました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

令和7年度以降も事業を継続することで、100周年を契機に構築した、川崎駅西口周辺の事業者や地元町内会等との連携をより深めるとともに、将来的に地域が主体となり事業を実施できるよう進めていきます。



市制100周年記念「芸術・文化魅力発信事業」【麻生区役所】

市制100周年を記念して映像作品「あさお誕生ものがたり」を制作、令和6（2024）年10月12日のあさお区民まつりのイベントで上映し約250人が参加しました。また、同日夜に「しんゆり野外シネマ」で新百合ヶ丘エルミロードの壁面にダイジェスト版等を映し、約300人が鑑賞する等さまざまな団体と連携した上映会を開催し、更なる芸術・文化のまちづくりの推進を図りました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

今回のイベントは、多様な主体がつながる契機となり、地域の魅力を高め愛着を深めるとともに芸術・文化のまちづくりの更なる推進につながったため、その取組を継続・発展させていく予定です。



鷺沼駅周辺における、多様な主体と連携した公共空間づくり【まちづくり局】

令和6（2024）年10月6日に鷺沼駅前において、鷺沼駅前の再開発事業の進捗を見据えながらさざ沼商店街及び東急株式会社と連携し、公共空間等を活用した「さざ沼まつり」を開催し約16,000人が参加しました。また、2月にも引き続き駅前広場活用及び公共機能の魅力発信につながる実証実験を実施予定です。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

今後の駅前広場の有効活用や持続可能な運営体制に向けた検討を行いながら、地域で活躍する方々と連携し公共空間等を活用したイベントを継続して実施していくことで、人と人、人とまちのつながりを生み出し、鷺沼地区の魅力をより一層向上をしていくことがレガシーだと考えています。



5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○これからの100 年を担う若年層への取組

●実施事例

学校e〜ね★サミット【教育委員会】

全市立学校の子どもたちがブランドメッセージを学び、キャリア在り方生き方教育の視点の一つの「わたしたちのまち川崎」の充実を図りました。学校や地域の特色をスライドにまとめ、GIGA端末で公開し、各学校において他校の取組を学びながら交流、地域発信を行うとともに、令和6（2024）年10月23日にグランツリー武蔵小杉で代表8校による全市交流会を実施し、川崎を改めて「知って、関わって、好きになってもらう」機会としました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

交流サイトや全市交流会の仕組みを継続し、各学校で多様な教育活動を効果的に実践できるよう特色ある教育課程のカリキュラム・マネジメントに取り組み、「キャリア在り方生き方教育」のより一層の充実を図ることで、児童生徒の持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成を目指していきます。



美味しく郷土の味を知り、歴史と食を学ぶ取組【こども未来局】

市内保育施設において、川崎にちなんだ給食献立の提供を年間を通じて行い、かわさきそだちの農作物10種類の紹介と新メニュー6品を作成するとともに、川崎にちなんだ給食レシピを募集するコンテストを開催し、受賞作は令和7年度の給食として提供予定です。他にも食育紙芝居の作成・配布や、のらぼう菜普及のための取組等を実施し、まちに対する興味・関心を深める機会を提供しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

100周年を契機に考案したレシピや紙芝居を市内保育施設で継続して使用するとともに、乳幼児の食に関する広報媒体を製作し、これらの取組を掲載し、川崎の食文化と歴史を次世代に継承していきます。



若者文化を加速させる世界レベルのストリートの祭典【市民文化局】

川崎の若者文化を発信するため、令和6（2024）年11月23日、24日にラゾーナ川崎周辺及びブラチッタデッラで世界レベルのストリートの祭典「①International Street Festival KAWASAKI」をダブルダッチの大会の国際化や五輪選手による体験会・トークショーなど、各コンテンツを充実させて開催し、10月27日には川崎ルフロンでダンスコンテスト「②LeFRONT杯」を新たにソロ部門を創設して開催しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

国際大会の開催や興味を持った子どもたちがアーバンスポーツを体験できる場の提供等を通して若者が挑戦・活躍できるまちづくりを進め、国内外に発信することがレガシーだと考え、これらの取組を継続していきます。



5 川崎市主催事業（令和6(2024)年度における記念事業の実施状況）

○市制100周年のPR及びさまざまな取組

●実施事例

画像のオープンデータ公開【総務企画局】

令和6（2024）年6月4日に、「かわさき魅力ギャラリー」として1,500枚の川崎の魅力的な写真をオープンデータで公開しました。さらに、市などが主催するフォトコンテストや市制100周年記念事業、市内で撮影された新たな写真をオープンデータ化できるよう、調整を図っています。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

サイトをギャラリーのように見て楽しめるようにするとともに利用者の利便性を高め、川崎をあらためて知って、更に好きになってもらえる機会を提供できるように、公開する写真を継続して追加していきます。



川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展【環境局】

川崎の環境に対する市民の誇りを育み、脱炭素社会の更なる実現に向けた契機としていくため、環境関連の記録写真等をデジタルアーカイブ化し令和6（2024）年11月20日からウェブサイト公開しました。また、「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」を全国都市緑化かわさきフェア等で実施するとともに、同年8月6日にかわさき宙と緑の科学館の展示会場で小学生向けのワークショップを開催しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

市民・事業者からもコンテンツを募集し、デジタルアーカイブを追加・拡充するとともに、企画展の内容についても一体的にデジタル化し、環境学習用教材としても活用できるものとしていきます。



人生100年時代に備える地ケアフェア【健康福祉局】

令和6（2024）年12月8日に市役所本庁舎で「まちのひろばフェス」と合同開催し、約1,000人が来場しました。在宅医療等に関する講演や「ほっこりポスター」に登場する方々によるパネルディスカッションのほか、地域包括ケアシステム連絡協議会の参画団体協力の下、健康チェックや相談など様々なブースを設置し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を知る機会を提供しました。

【令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組】

市民向けの啓発事業について、100周年を契機に講演を主とした「市民シンポジウム」から発展させることで、より多くの方に気軽に参加いただくことが可能となり、地域包括ケアシステムの構築に向けた意識づくりに資するとともに多様な主体のつながりの場にもなるため、この取組を継続していきます。



6-1 実行委員会参画団体主催事業

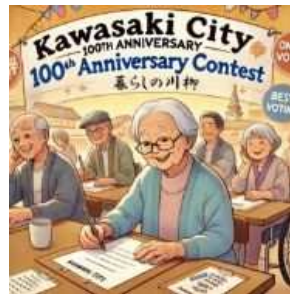
実行委員会参画団体が自ら事業を実施し、市制100周年を盛り上げるとともに、「Colors, Future! Actions」の取組が市全体に広がっていくよう機運醸成を図っています。登録いただいた事業について、公式WEBサイトでの発信や特集記事化、メールマガジンやニュースレター、ラジオ番組の活用など、多様な広報媒体にて積極的にPRを行っています。

●登録事業数：260件（12/31現在） ※前回委員会報告時（8/1現在） 166件

【取組事例】



川崎市のオープンデータを用いた
データ分析コンペの開催
(富士通株式会社×川崎市)



「花とみどり」をテーマに川柳を募集、
WEB投票で優秀作品を表彰
(川崎市老人福祉施設事業協会)



100周年を記念した
1万発の打上花火
(川崎市×市観光協会)



100周年を記念して
あじ祭りに2000人を招待
(味の素株式会社
川崎事業所)



100周年を祝う田んぼアート
(JAセレサ川崎)



市ゆかりの他ジャンルと
コラボしたコンサート開催
(東京交響楽団)



学生が15のActionテーマを網羅した広報番組を制作
(専修大学)

6-2 パートナー主催事業

市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が、記念事業に参加できるしくみとして「パートナー制度」を設け、記念事業の趣旨に賛同する多くの方に自ら事業を実施していただき、オール川崎市で市制100周年を盛り上げています。

●登録事業数 135件（12/31現在） ※前回委員会報告時（8/1現在）84件
【取組事例】



記念茶販売
（株式会社つな川）



「川崎市市制100周年記念焼のり缶」
「かわさき 香辛子海苔」限定パッケージ販売
（海苔問屋 高喜商店）



「100周年ステッカー、のぼり旗」
店頭設置
（株式会社ファミリーマート）



100周年コースター企画
（市内外17飲食店）



ご当地アイドル「川崎純情小町☆」川崎市市制100周年を勝手に祝う市
民フォーラム
が川崎市の100の魅力発信
（株式会社ホワイトウルフ）
（川崎市市制100周年を勝手に祝う
市民フォーラム実行委員会）



語りつごう！かわさきのむかし話
（かわさき民話を愛する会）



小学5年生があたらしい川崎の
ために自らアクションにチャレンジ
（麻生区の小学5年生）

6-3 市民、企業、団体等の機運醸成

実行委員会参画団体の記念事業への参加を促し、参画団体同士のつながりを創出する場として令和6(2024)年8月に交流会を開催し、参画団体の主体的な取組や参画団体間の連携促進を図りました。また、年間を通じて展開される記念事業については、WEBサイトやニュースターなどでタイムリーに発信し、市民、企業、団体等の機運を醸成しています。

交流会の様子(81団体・104名が参加)



公式WEBサイト



イベントカレンダー

ニュースター



第2号 令和6(2024)年5月発行



第3号 令和6(2024)年10月発行

7 広報について

●取組の核と連動した集中的な広報の実施

記念事業期間における広報は、**広報のコンセプト「知って、関わって、好きになってもらう」**に沿って、時期ごとに設定した「取組の核」と連動した広報集中期間を設け、事業と広報を一体的に展開しています。



7 広報について

【主な取組①】 市制100周年メインビジュアル・バリエーションビジュアルの活用

●メインビジュアル



メインビジュアルは、「市制100周年」をダイレクトに表現し、さまざまな広報物に活用しています。

●バリエーションビジュアル

バリエーションビジュアルは、まちなかで生み出される様々な「アクション」の写真を活用し、メインビジュアルとセットでデジタルサイネージやシティドレーシングなどで展開しています。



これまでに10種類のバリエーションビジュアルを作成



7 広報について

【主な取組②】 主要駅周辺等のシティドレッシング

市制100周年のメインビジュアル・バリエーションビジュアルを活用するとともに、フェア期間中はフェアの広報物と入れ替えながら市内各主要駅周辺を中心に広報物を掲出しています。



川崎駅



鹿島田駅



武蔵小杉駅



武蔵溝ノ口駅



鷺沼駅



登戸駅



新百合ヶ丘駅



緑化フェア広報

【主な取組③】 ノベルティグッズ・広報物の活用



Actionラベルシール



コースター

※市制100周年をPRしていただける市内飲食店を募集し、飲食店発の機運醸成の取組を推進



ステッカー

※参画団体の社用自動車・自転車に貼ってPRしていただくなど、参画団体も市制100周年のPRに協力



7 広報について

【主な取組④】 参画団体等と連携した広報

実行委員会参画団体などの協力で、各企業・団体の媒体を活用したオリジナルの広報や、ステッカー・のぼり旗等の広報物を活用したPRを実施していただき、オール川崎市で市制100周年の機運醸成を図っています。

【オリジナル広報の事例】

●JR東日本横浜支社

(市制100周年特別列車運行、100周年・フェア紹介車内アナウンス等)



●川崎フロンターレ後援会

(コラボタペストリーの掲出、・後援会会報誌裏封筒での市制100周年紹介等)



●日本航空株式会社

(100周年・フェア紹介機内誌・機内アナウンス等)



【広報物活用の事例】



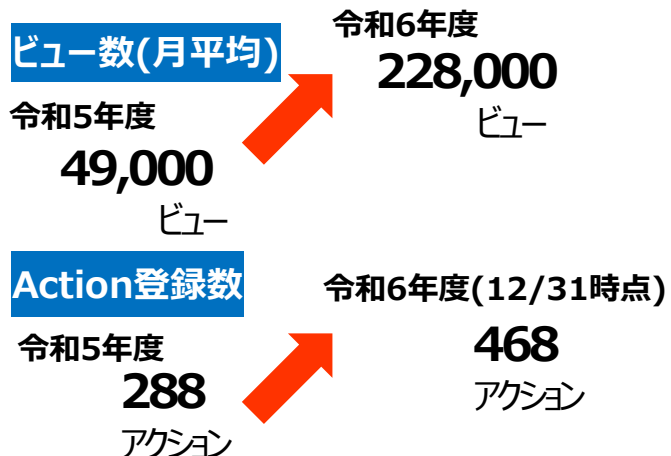
参画団体の御協力をいただき、100周年ステッカーやのぼり旗掲示

7 広報について

【主な取組⑤】 公式ウェブサイト・ニュースレター

さまざまな世代に情報が届くようウェブサイトやニュースレターなどを組み合わせて広報を展開しています。

●実行委員会公式ウェブサイト



●ニュースレター



令和6 (2024)年
1月 創刊号発行
5月 第2号発行
10月 第3号発行
令和7 (2025)年
2月 第4号発行予定

【主な取組⑥】 イベントブース出展によるPR

4月 アジアンフェスタ 5月 向丘つながるサンデー・JFEふれあい祭り



8月 なかはらコアまつり 10月 麻生区民まつり・宮前区民祭



ブース出展時に行った認知度調査結果

2024年が市制100周年であることを
知っている人の割合



7 広報について

【主な取組⑥】 映像の活用

市制100周年記念映像や実行委員会主催事業などのPR映像などを庁舎内ビジョン、デジタルサイネージ、イベント等で放映しています。

●市制100周年記念映像

YouTube川崎市チャンネルに公開。約1.6万回再生



●かわさき飛躍祭

川崎フロンターレホームゲーム大型ビジョンなどで放映



●川崎愛 遊びつくす 3日間

川崎駅北口大型ビジョンなどで放映



【主な取組⑦】 記念記録誌の発行

多くの市民に川崎のことを「知って、関わって、好きになっていただいた」市制100周年記念事業の軌跡を未来へ伝える記念記録誌を、令和7(2025)年夏頃に発行する予定です。

8 協賛について

●協賛計画

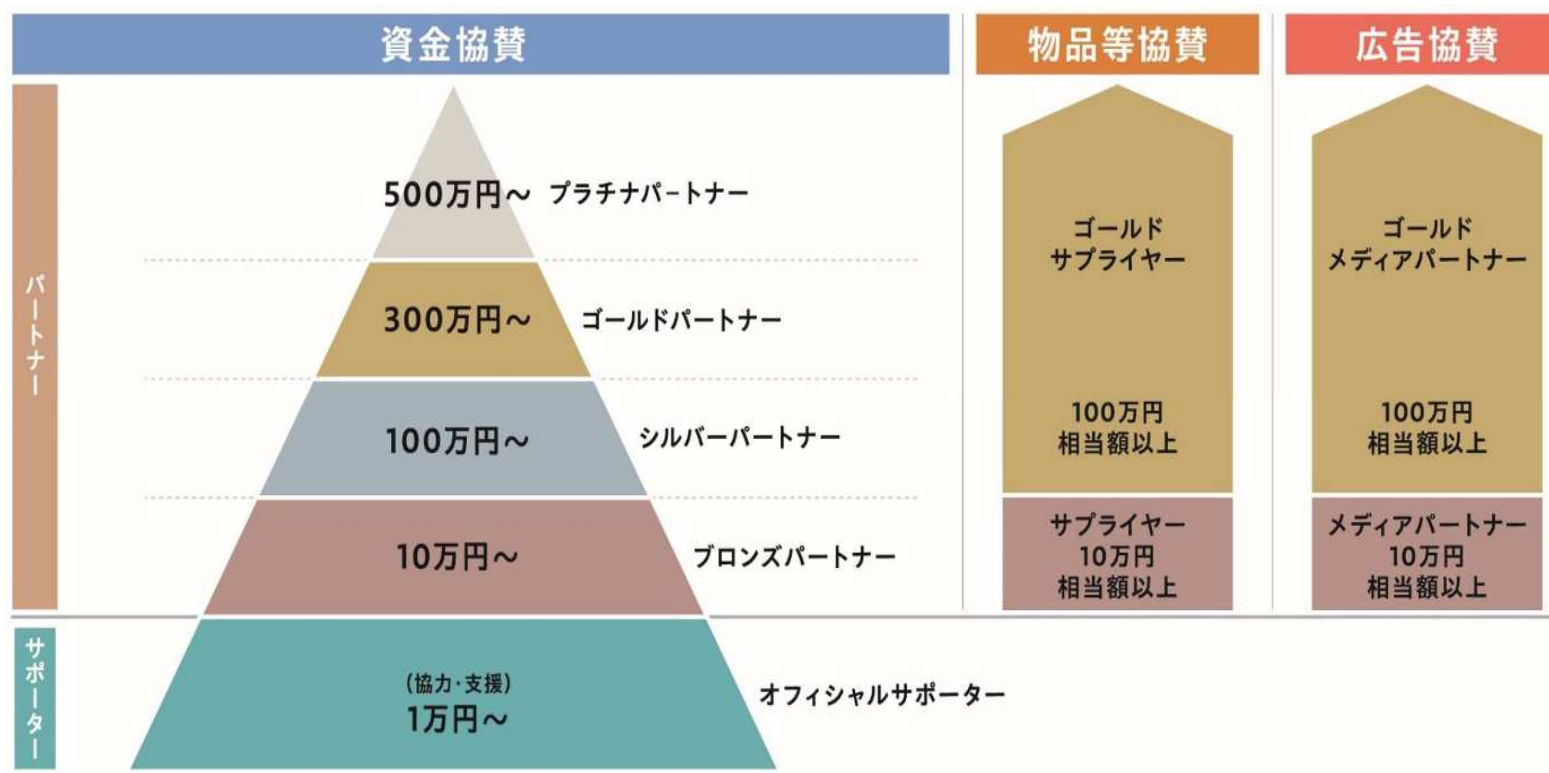
実行委員会が主催する記念事業全体への一般協賛と、実行委員会主催事業や緑化フェア事業で独自に設定する個別事業への協賛について、それぞれの趣旨に賛同していただいた個人・企業・団体等から協賛を募って記念事業に取り組んでいます。

【募集期間】

資金協賛、協力・支援 令和5(2023)年9月1日～令和6(2024)年8月31日

物品等協賛、広告協賛 令和5(2023)年9月1日～令和7(2025)年3月31日

協賛ランク



8 協賛について

●協賛等の申込状況（令和6（2024）年12月31日時点）

種別		金額（税抜き）	内 訳	
			協賛ランク	件数
協賛	資金協賛	【135先】 122,115,000円 ※申込締切 令和6(2024)年8月31日	プラチナパートナー （500万円～）	15
			ゴールドパートナー （300万円～）	3
			シルバーパートナー （100万円～）	27
			ブロンズパートナー （10万円～）	81
			オフィシャルサポーター （1万円～）	9
	物品等協賛	【47先】 84,477,208円	ゴールドサプライヤー （100万円相当額～）	33
			サプライヤー （10万円相当額～）	14
	広告協賛	【18先】 65,772,814円	ゴールドメディアパートナー （100万円相当額～）	16
			メディアパートナー （10万円相当額～）	2
寄附		203,912円	-	-
合計		272,568,934円		

8 協賛について

●協賛特典の提供状況

○公式ポスターへの企業・団体名掲載

- ・掲出時期：令和6(2024)年4月～
- ・掲載枚数：100周年：4,000枚程度 かわさきフェア：秋・春各2,000枚程度
- ・主な掲出先：実行委員会参画団体、区役所・図書館・市民館、
保育施設、小・中・高等学校、金融機関、駅、
コンビニエンスストア、高齢者施設 など



○協賛ボードへの企業・団体名掲載

・掲出事業

- かわさき飛躍祭 (6月29日)、まんなかフェス (9月28日・29日)
- Colors,Future!Summit 2024 (11月2日・3日)
- みんなの川崎祭 (11月3日)、ここから未来フェスタ (11月9日・10日)
- 子どもの力で川崎の未来をかえるプロジェクト (11月16日・17日)
- 全国都市緑化かわさきフェア (会期中)、みどりの共創プロジェクト (通年)



かわさき飛躍祭



Colors,Future!Summit 2024

○式典会場・エントランスホール内の広報、式典プログラムへの企業・団体名掲載

- ・時期：令和6(2024)年7月1日(月)
- ・場所：ミュゼ川崎シンフォニーホール
- ・内容：①協賛ボードへの企業・団体名掲載
②協賛企業のCM放映
③式典プログラムへの企業・団体名掲載



8 協賛について

○公式WEBサイトへの企業・団体名掲載・バナーリンク設定

○公式WEBサイト記事・ニュースレター・SNS等への企業・団体名掲載

公式WEBサイト、市制100周年ニュースレターにおいて、協賛企業の取組を掲載
ニュースレター（創刊号・第2号・第3号を町内会・自治会・公共施設等に各5万部配布）

○公式記録誌への企業・団体名掲載

令和7年度発刊

○実行委員会ユニフォームへの企業ロゴ掲載

令和6年秋以降の実行委員会が主催するイベントやかわさきフェアの会場スタッフが着用するユニフォームへプラチナパートナーの企業・団体ロゴを掲載

○市長受領・感謝状贈呈

プラチナパートナーを対象に市長が感謝状を贈呈

○かわさきフェア会場エリア内への企業・団体名掲載

かわさきフェアコア会場（富士見公園、等々力緑地、生田緑地）にプラチナパートナーの企業・団体名看板を設置

○かわさきフェアガイドブックへの企業・団体名掲載

かわさきフェア開催時のガイドブックに企業・団体名を掲載



9 今後のスケジュール

- ・記念事業期間の終了後の令和7(2025)年度中に実行委員会を解散します。
- ・記念事業後の令和7(2025)年度以降も、記念事業の成果等の継続・発展に向けて取組を進めます。

	項目	令和6(2024)年度				令和7(2025)年度		令和8(2026)年度
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～9月	10～3月	
体制	総会	第5回(8/28)		第6回(3/24)		第7回(解散)	—	—
	市制100周年幹事会	連携 隔月程度開催予定					—	—
	緑化フェア幹事会	年2～3回程度会議開催の他、適宜、個別ヒアリング等を実施					—	—
取組	市制100周年 記念事業	①実行委員会主催事業/ ②市主催事業 ③参画団体主催事業 / ④パートナー主催事業 の実施						
		飛躍祭 6/29 まんなか フェス 9/28,29 CFS 11/2, 3 音楽 プロジェクト 11/9 記念式典 7/1 脱炭素 6/17～8/31 みんかわ 11/3 こども サミット 11/16・17 未来 イベント 3/29・30				推進ビジョン 策定 取組の 継続・発展		
		シティドレッシングやアクション発信等の広報の実施						
		協賛募集				記録誌 発行		
	全国都市緑化 かわさきフェア	協働推進・ボランティア募集等						
		市制100周年と連携した広報の実施						
		会場準備						
		プレイバントの実施						
		協賛募集						
		かわさき フェア開催 (秋) 10/19～ 11/17				かわさき フェア開催 (春) 3/22～ 4/13		取組の 継続・発展

●市制100周年記念事業 令和6年度市主催事業

別紙

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組（28事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
001	総務企画局	シティプロモーション推進室	かわさきスペシャルサポーターとのコラボ事業	市制100周年を契機として、川崎への愛着・誇りの醸成、川崎の認知度やイメージ向上を図るため、令和5（2023）年度に実施した、若年層を中心とした市民等によるワークショップの結果等を踏まえながら、若い世代から絶大な支持と発信力のある、スペシャルサポーター「SHISHAMO」、「sumika」、「KADOKAWA DREAMS」と連携し、ラジオ番組をはじめとしたコラボ事業を実施します。	6月22日、23日 12月1日～1月31日	市内各所	6月22日、23日に、市内ラジオ局かわさきFMにて、かわさきスペシャルサポーターであるSHISHAMO、sumikaがリスナーとともに川崎を語り尽くすオリジナルのラジオ番組「すべさぼ談話室」を各1回放映した。ラジオについては、2月以降も継続して放映予定である。 また、12月1日から1月31日までの期間、市役所本庁舎1階情報発信スペースで、「すべさぼ写真館」を開催中。SHISHAMO、sumikaが市内で実施したライブの様子の写真や、今年6月29日に等々力緑地内・等々力球場で開催した、「かわさき100フェス」で、SHISHAMO、sumikaが実際に着用した衣装などを展示している。	若い世代から絶大な支持と発信力があり、川崎市にゆかりのある著名人と連携した取組を進めることで、若者とのつながりが生まれ、川崎を、より知って、好きになってもらうきっかけになると考えられる。 現在就任中のかわさきスペシャルサポーターは令和7（2025）年8月末をもって任期満了となるが、それ以降においても、これまで実施してきたコラボ事業や広報施策の実績を活かし、様々な手法で、若年層をターゲットとしたシビックプライドの醸成や都市イメージアップの向上を図る取組を推進していく。
002	総務企画局	SDGs・国際連携推進担当	「SDGsウィーク」を創設 集中的SDGsイベント	SDGsの意識の醸成を図るため、令和6年（2024）度に「SDGsウィーク」期間を設定し、期間内に、多くのSDGsパートナーとの連携によるSDGsイベントや普及啓発などの取組を集中的に展開します。	9月1日～10月31日	市内各所	・実施期間をWeek（週間）からMonth（月間）へと変更し、「SDGs Month」の周知に向けて、8月23日からアゼリアビジョンで広報を行うとともに、庁内のSDGs取組をリーフレットにまとめ、「SDGs Month」期間中に区役所や公共施設、イベント等にて5,000部配布し、広く市民へ周知・広報を行った。 ・さらに、「SDGs Month」のメインイベントとして、「かわさきSDGs大賞(10月16日)」と「かわさきSDGsパートナーまつり（10月12日）」をそれぞれ開催した。	SDGsそのものの認知度は近年大幅に向上したこと等を踏まえ、「SDGs Month（旧事業名：SDGsウィーク）」によるSDGs強化期間の設定は行わない。 ただし、SDGs Monthのメインイベントである「かわさきSDGs/パートナーまつり（主催者：NECロボロ倶楽部）」や「かわさきSDGs大賞（主催者：川崎市SDGsプラットフォーム）」については、多くのSDGs/パートナーや市民を巻き込んだSDGs取組として有効であることから、主催者の意向も踏まえつつ、本市としては令和7（2025）年度以降も共催者として取組を継続していく予定である。
003	総務企画局	SDGs・国際連携推進担当	姉妹・友好都市を知って もっとKAWASAKIを 好きになろう！	・100周年記念式典やイベント等で、姉妹・友好都市の市長のビデオメッセージを放映します。 ・緑化フェアと連携し、川崎市と姉妹・友好都市にゆかりのある花木で作成したアーティフィシャルフラワーや、各都市を紹介するパネルの展示を行います。 ・川崎市の魅力等を、姉妹・友好都市等の海外都市へPRします。	①7月1日、6日、11月17日 ②10月19日～11月17日、3月22日～4月13日 ③年間を通して	①100周年記念式典会場、国際交流センター等 ②緑化フェア会場 ③市内各所	①7月1日の100周年記念式典や7月6日の多文化共生フォーラムコンサート等において、姉妹・友好都市の市長のビデオメッセージを放映した。また、川崎市のHP上にもビデオメッセージの内容を掲載した。 ②緑化フェアにおいて、川崎市と姉妹・友好都市にゆかりのある花木で作成したアーティフィシャルフラワーや、各都市を紹介するパネルの展示を行った。 ③緑化フェアの視察やその他市内施設の視察等、各姉妹・友好都市等とのあらゆる交流の機会をとらえて本市の魅力をPRしていく。	各姉妹・友好都市の市長からの100周年祝賀ビデオメッセージや親書等のやりとりを通じ、すべての都市との友好関係を再確認することができた。また、今後予定している全国都市緑化フェアの時期の各都市の受入等を通じ、姉妹都市との友好関係をさらに深めることができると考えている。令和7（2025）年度以降も、100周年を契機に深まった友好関係をもとに、行政、市民等による国際交流を維持・発展させていく。
004	総務企画局	庁舎管理課	第2庁舎跡地広場完成記念式典等の実施	一連の新北庁舎整備事業の締めくりとなる第2庁舎跡地広場の完成・供用開始を多くの市民と共に祝うとともに、市制100周年の取組を未来へつなぐことを目的として、広場の完成式典及び「憩い・うるおい・賑わい」の創出イベントを実施します。	3月下旬	第2庁舎跡地広場	第2庁舎跡地広場完成記念式典等企画実施業務委託の公募型プロポーザルについて12月9日に公告した。今後、3月下旬の式典及びイベントの開催に向けて調整を進める。	第2庁舎跡地は、市役所通りと京急通りの結節点であると共にJR川崎駅から富士見公園を結ぶ市役所通りの中間地点に位置していることから、憩い、うるおい、賑わいを創出する多様な使い方ができる広場として運用していく。
005	市民文化局	市民スポーツ室	「かわさき多摩川マラソン」の誰もが参加できる大会に向けた取組	子どもから大人まで幅広い世代が、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加できる大会となるよう、車いすランや未就学児部門などを拡充して、「かわさき多摩川マラソン」を開催します。	11月17日	Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu（等々力陸上競技場）	11月17日に等々力陸上競技場をメイン会場として、ハーフマラソンやファミリーファンランニングなど多様な種目を実施する「かわさき多摩川マラソン2024」を開催した。 今年度は市制100周年を記念して、2人1組で参加し合計タイムを競うペアランニング部門を新設するとともに、車いすランや未就学児部門などの参加枠を拡充し、子どもから大人まで幅広い世代が、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加でき、楽しめる大会として開催した。	「かわさき多摩川マラソン」は、市制100周年という歴史的な節目に、車いすランや未就学児が親子で走ることができるファミリーファンランニング部門の新設を行うなど、参加者満足度の向上を図り、誰もが楽しめるインクルーシブな大会を開催することで、市民のシビックプライド（川崎への愛着と誇り）を醸成するとともに、多様性を認め合い、つながりあうことができる機会を創出する。次年度以降も、車いすランや未就学児が走れる部門を継続して実施し、だれもが楽しめるインクルーシブな大会として開催する。
006	市民文化局	市民スポーツ室	障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツを楽しめるイベント	障害者や子どもなど誰もがスポーツを楽しめるまちづくりに向けて、ポッチャ大会の開催や、スポーツフェスタにおける多様なバラスポーツ体験ブースの設置などの取組を進めます。	①スポーツフェスタ 10月14日 ②ポッチャオープンチャンピオンシップ 9月10日、13日、28日、29日	等々力緑地周辺など	【スポーツフェスタ】 10月14日に等々力緑地に開催した。 バラスポーツを含む多種多様なスポーツ体験やワークショップを実施したほか、今年度は市制100周年を記念し川崎市で活躍する選手によるスポーツステージを実施した。 【ポッチャオープンチャンピオンシップ】 9月28日、29日にカルッツかわさきで「第4回ポッチャオープンチャンピオンシップ」を開催した。今年度は市制100周年を記念し、大会のPRをするため9月10日に市立大島小学校和田島支援学校でポッチャの体験会を開催したほか、9月13日に川崎フロンターレのホームゲームでポッチャの体験ブースを出展した。	・「スポーツフェスタ」は、子ども向けに多様なスポーツに触れ、スポーツを始める機会とするとともに、継続的にスポーツを実施するきっかけづくりやスポーツ好きの子どもたちを増やすことを目的に開催している。また、保護者も併せて参加することで、多世代へスポーツの楽しさを体験する機会を提供する。次年度以降、スポーツのまちとして今後さらに発展していく取組を継続的に実施していく。 ・市制100周年を契機として、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指す共生社会の実現に向けて、より一層取り組んでおり、その一環として、障害のあるなしに関わらず誰もが一緒に楽しく暮らすことのできるポッチャの普及に向け取り組んでいく必要がある。特にポッチャオープンチャンピオンシップは、市制100周年を契機に本市に誘致した大会である。本大会は、全国から障害のある有力選手が集まり、その技術などを披露することで、市内外にポッチャの魅力を大いに発信することができるとともに、障害の理解を深めることができると考えている。こうした考えから次年度以降も引き続き本市で開催したい。
007	市民文化局	市民文化振興室	川崎市映像アーカイブを活用し、川崎の過去・未来を考え「まちの記憶を共有財産」にする取組	市が保有する「市政ニュース映画」などの過去の記録映像を活用した上映会やワークショップなどを実施し、市制100周年を機に市の過去・未来を考え、映像を通して新たなつながりを作る機会を創出します（①）。また、市制90周年事業として当時10歳の小学生から募集した記録映像を「二十歳を祝うつどい」等で上映します（②）。	①年間を通して ②1月13日	①市内各所 ②とどろきアリーナ	①今年度15回の開催を予定している映像アーカイブ上映会について、「なかはらっぱ祭り」や「幸区民祭」など各区と連携した取組として9回、老人福祉センター等の高齢者施設で2回、上映会を開催した。引き続き、本庁舎2階ホールをはじめ、残り4つの会場での実施に向け準備、調整している。 ②「二十歳を祝うつどい」の会場での上映に向け、市制90周年事業として当時10歳の小学生から募集した15秒の記録映像130作品の編集作業と、「10年後の私」として当時の応募者への取材・撮影を行い、新たに映像を制作した。併せて、上映に向けた機材手配等を行い、「二十歳を祝うつどい」の式典会場及び催し物広場に設置したビジョントラックで放映するとともに、その一部をホームページでも公開した。	市が保有する「市政ニュース映画」などの過去の記録映像は、市民が市の歩んできた過去、これからの未来を考える一助となる貴重な財産であり、次の100年に向け、引き続き映像アーカイブの管理・運用に取り組むとともに、その映像を活用する機会等を提供していく。

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組（28事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
008	市民文化局	市民スポーツ室	NECレッドロケッツ川崎との市制100周年連携事業	これまで川崎市をホームタウンとして活躍してきた「NECレッドロケッツ川崎」とのコラボにより、ホームゲームにおけるさまざまな企画やSNSによる発信など、効果的な市制100周年のPRを実施します。	10月13日	とどろきアリーナ	10月13日にとどろきアリーナで開催されたSVリーグの公式戦（対埼玉上尾メディックス戦）を「川崎市市制100周年記念試合」として開催した。市民招待や市関連ブースの出展の他、市民参加型イベントとしてキッズエスコートやお仕事体験（運営クルー、アナウンス、VOMインタビュー）、記念写真撮影、バレーボール体験を実施した。	リーグ屈指の人気と実力を兼ね備え、長きに渡り積極的に川崎市で活動をしているNECレッドロケッツ川崎とのコラボにより、Vリーグの公式戦を冠協賛し「市制100周年記念試合」として開催することで、記念すべき市制100周年を盛り上げ、そしてその知名度を活かした市制100周年のPR、100周年の機運醸成、市民のシビックプライドの醸成に繋げるものである。次年度以降、記念試合は開催しないが、かわさきスポーツパートナーである同チームとの連携は続くとともに、市民招待は継続する予定である。
009	市民文化局	市民スポーツ室	川崎ブレιβサンダースとの市制100周年連携事業	これまで川崎市をホームタウンとして活躍してきた「川崎ブレιβサンダース」とのコラボにより、ホームゲームにおけるさまざまな企画やSNSでの発信など、効果的な市制100周年のPRを実施します。	3月22日、23日	とどろきアリーナ	3月22日、23日にとどろきアリーナで開催されるBリーグの公式戦（対大阪エヴェッサ戦）を「川崎市市制100周年記念試合」として開催予定である。当日選手が着用するシューティングシャツデザインコンテストの他、市民招待や市民参加型イベント（選手コート入場時ハイタッチ花道、オープニングセレモニーフォト、超プレッシャーチャレンジ、記念写真撮影等）を実施予定である。	リーグ屈指の人気と実力を兼ね備え、また、プロスポーツチーム屈指の広報力がある川崎ブレιβサンダースとのコラボにより、Bリーグの公式戦を冠協賛し、「市制100周年記念試合」として開催することで、記念すべき市制100周年を盛り上げ、そしてその知名度を活かした市制100周年のPR、100周年の機運醸成、市民のシビックプライドの醸成に繋げるものである。次年度以降、記念試合は開催しないが、かわさきスポーツパートナーである同チームとの連携は続くとともに、市民招待は継続する予定である。
010	市民文化局	市民スポーツ室	川崎フロンターレホームゲームでの「スポーツのまち・かわさき」「音楽のまち・かわさき」PRイベント	川崎フロンターレホームゲームと川崎が誇る多様なプレーヤーの連携により、川崎のスポーツや音楽などの魅力や価値に触れることができるイベントを実施します。	6月29日	等々力緑地周辺	6月29日に等々力緑地において、『かわさき飛躍祭』（①かわさきゆかりのアーティストが出演する音楽フェス「かわさき100フェス」②川崎にこだわったスポーツ・食などのイベントを行う「アット（@/at）等々力フェス」③川崎フロンターレの「市制100周年記念試合」④航空自衛隊ブルーインパルスによる「展示飛行」）を開催し、約18万人の市民が来場した。	6月29日に等々力緑地全体を活用して、多様な主体が参画し、約18万人が来場するイベント（かわさき飛躍祭「川崎フロンターレ市制100周年記念試合、等々力球場での音楽フェス、ブルーインパルス展示飛行等」）を実施することで、市民にあらためて「川崎はすごい」「最高に楽しかった」という体験と記憶を残し、シビックプライドの醸成を図る。当該イベントは今年度で終了するが、コンテンツの一部である、川崎フロンターレ市制記念試合は、令和7（2025）年度も継続実施していく予定である。
011	市民文化局	市民文化振興室	市制100周年記念「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッかしんゆり）」	川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッかしんゆり）において、「緑」をテーマとした公演や、緑地等での会場にあった手法でオープンエアコンサートを開催するなど、市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアのコンセプトに合う取組を実施します。	4月4日～5月12日	麻生区のホールや緑地等	4月4日から5月12日まで開催した川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッかしんゆり）において、「緑と水のアート」と題し幼稚園や生田緑地、商業施設等で、フルートの演奏やブレイキン、ダブルダッチのパフォーマンス、体験会を行うなど、市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアのコンセプトに合う取組を実施した。そのほか、合わせて41演目59公演を行い、合計20,074人が来場した。	麻生区の新百合ヶ丘地域を中心に、文化・芸術を愛する市民が主体となり、地域の力で芸術をつくり、育てようと始まった川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッかしんゆり）は、令和6（2024）年で16回目を迎え、多彩なジャンルの演目を揃えた総合芸術祭として地域に根付いていることから、次の100年に向けて、引き続きその取組を支援していく。
012	市民文化局	市民文化振興室	市制100周年記念「花展」	①市内文化関係団体や学校が市制100周年や緑化フェアをテーマに生け花やフラワーデザインなどの作品を川崎アゼリアで展示し、次の100年に向けた思いや「みどり」について考える機会を提供します。 ②本庁舎エントランスホールにおいて、お迎え花として年間を通していけ花を展示することで、伝統文化の継承や花文化を身近に感じる機会を提供します。	①11月16日、17日 ②年間を通して	①川崎アゼリア ②本庁舎エントランスホール	①11月16日、17日に市内文化関係団体や学校が制作した市制100周年や緑化フェアをテーマにしたいけ花やフラワーデザインなどの作品を川崎アゼリアに67作品展示するとともに、市制100周年記念として、いけ花やフラワーデザインの体験ワークショップを実施し、数多くの方に文化に触れる機会を提供した。 ②川崎市茶華道協会との連携事業として、本庁舎エントランスホールに過替わりで様々な流派のいけ花を展示している。	①川崎アゼリアでの花展については、次の100年に向け、伝統文化であるいけ花やフラワーデザイン等を次世代へ継承するため、市民主体での実施に向けた調整を行う。 ②本庁舎エントランスホールでの展示については、花文化に触れる機会として引き続き実施していく。
013	市民文化局	多文化共生推進課	市制100周年記念／国際交流センター開設30周年記念「2024多文化共生フォーラム・コンサートinカワサキ」	国際交流・多文化共生の推進に向け、ステージや展示などを実施している「インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」のプレイベントとして「2024多文化共生フォーラム・コンサートinカワサキ」を実施し、これからの多文化共生の地域づくりを考える機会を創出します。	7月6日、11月17日	国際交流センター	7月6日に国際交流センターにおいて、これからの多文化共生の地域づくりを考える機会として基調講演、パネルディスカッション及びコンサートを実施し、定員200人のところ363人からの応募があり、当日は219人（関係者、別会場でオンライン視聴含む）が参加した。また、11月17日に開催した「2024インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」においても、多文化共生の推進に向けたステージショーを実施した。（イベント来場者延べ8,000人）	100周年を記念して実施した今回のイベントは、多文化共生の推進に向けた新たなチャレンジであり、今後も必要な取組だと考えている。本イベントは令和6年（2024）度のみとなるが、今後も例年開催している「インターナショナル・フェスティバルinカワサキ」等の場を活用するなど、今回のイベントとは違った形で令和7（2025）年度以降も取組を継続していく予定である。
014	市民文化局	市民文化振興室	市制100周年・音楽のまち20周年記念事業	市制100周年とともに20周年を迎える「音楽のまち・かわさき」を祝い、盛り上げ、次の100年につなげていくため、第10回目の開催となる「かわさきジャズ」を始め、多世代が楽しめる大合奏プロジェクト(①みんなのかわさき大合唱)や市民参加型で音楽を作るワークショップ（②）など、関連団体や市民とともにこの記念すべき1年にふさわしい事業を展開します。	①3月16日 ②年間を通して	①カルッツかわさき ②市内全域	①「みんなのかわさき大合奏 ～プラスジャンボリー@in川崎～」を3月16日にカルッツかわさき大体育室で実施する。9月25日付で、川崎市・「音楽のまち・かわさき」推進協議会・かわさきジャズ実行委員会による3者協定書を締結済み。10月31日付で、開催概要及びサポートの募集を報道発表。1月15日から参加者を募集中。当日の運営に向けて関係者との調整を行っている。 ②「8小節プロジェクトわたしの『かわさきのうた』」を実施し、計16回のワークショップを市内13か所で開催した。ワークショップおよび一般公募による「かわさきのCMコンテスト」には109作品が集まり、11月に行った一般投票でグランプリと準グランプリを決定し、12月よりかわさきFMでのCM放映などを実施している。	次の100年につなげていくため、多世代が楽しめる音楽プロジェクトや市民参加型で音楽を作るワークショップにおいて、新たなつながりを生み出すとともに、その成果として関連団体や市民との連携をより一層深めて、音楽のまちづくりを推進していく。 令和6（2024）年度に作成した「かわさきのうた」は、「音楽のまち・かわさき」推進協議会の広報（CM動画での使用や、FMかわさきにて発信）に活用していく。
015	市民文化局	バラムーブメント推進担当	かわさきバラムーブメントインクルーシブ音楽プロジェクトいろいろねいろ	市内の学校、施設、イベント等の身近な場所で、多くの市民がインクルーシブな音楽に触れる活動（ワークショップ・音楽ライブ・人材育成講座）を展開します。	6月22日～2月11日	川崎市内	市内の学校、施設、イベント等の身近な場所でワークショップ20回、音楽ライブ2回、人材育成講座5回を実施予定である。	100周年を契機に、「いろいろねいろ」をキーメッセージに、音楽を通じて多様性や包摂について楽しみながら感じられるプログラムを実施することで、多くの市民にかわさきバラムーブメントが目指す共生社会への理解につなげていくことができると考えている。その取組を令和7（2025）年度以降も継続して実施することが100周年のレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降も取組を継続・発展させながら進めていく予定である。

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組（28事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
016	市民文化局	市民スポーツ室	富士通フロンティアーズ（Xリーグ）冠試合「市制100周年記念試合」	市制100周年記念試合を実施します。 Xリーグとの協力により、川崎ゆかりのチーム同士の対戦カード（＝Xリーグ公式戦）に「川崎市市制100周年記念試合」と冠付けを行うもの。 富士通フロンティアーズ対オリエンタルバイオシルバスター（※対象：1試合）	9月16日	富士通スタジアム川崎	9月16日に開催されたXリーグ公式戦、富士通フロンティアーズ対オリエンタルバイオシルバスターの試合が「川崎市市制100周年記念試合」として開催された。（Xリーグの主催事業）	社会人アメリカンフットボール協会（Xリーグ）との連携により、アメフトの聖地である富士通スタジアム川崎で実施する公式戦のうち、川崎ゆかりの2チームの試合を「市制100周年記念試合」として実施し、記念すべき市制100周年を盛り上げるものである。次年度以降、記念試合は開催しないが、同協会との連携はこれまでどおり続けていく予定である。
017	市民文化局	協働・連携推進課	まちのひろばフェス	川崎市のこれまでのコミュニティの振り返りや「100人のほっこりポスター企画」と連動したイベントとして、「まちのひろばフェス」を開催します。	12月8日	川崎市役所本庁舎	12月8日川崎市役所本庁舎にて、ほっこりポスターに登場した市民が飲食やワークショップの来店等を行うイベントを実施し、約1,000人が来場した。	まちのひろばフェスを開催して地域での支えあいやコミュニティの活動、つながりの価値を伝えることで、地域の活動に関心がある人の地域活動への参加を後押しすると考えている。今後は既存の地域イベントやソーシャルデザインセンター等と連携し、コミュニティ施策の普及啓発や機運醸成を進めていく予定である。
018	経済労働局	観光・地域活力推進部	市制100周年記念「市制記念多摩川花火大会」	市制100周年を記念し、花火の玉数を約10,000発に増やし、動画配信や市民参加型のプログラムなどの新たな取組を実施するなど、例年より内容を充実させた特別な大会として実施し、ふるさと川崎の更なる意識の高揚につなげます。	10月5日	多摩川河川敷	・10月5日に開催し、あいにくの雨天だったが、約21万人が来場。 ・打上発数を例年の約6,000発から約10,000発に増発した。 ・メッセージ打上花火は応募いただいた1,630件のメッセージ用紙を花火玉の包み紙として使用し、大会当日に打ち上げた。 ・子どもイラスト花火は応募数675作品のうち、5作品をモチーフに花火で再現した。 ・ガバメントクラウドファンディングは、延べ49人・法人から993,500円の御寄附をいただいた。 ・動画配信については、観光協会のYoutubeアカウントを利用しての配信を行った。また、本庁舎1階アトリウムでの同時刻配信を行った。	多摩川花火大会として、「ふるさと川崎」の意識の高揚と豊かな市民文化の創造をレガシーと捉え、今年度は市制100周年記念として特別企画を実施することで、多くの市民が参加する機会を確保し、レガシーの創出を促進する。
019	経済労働局	観光・地域活力推進部	市制100周年記念「第45回かわさき市民祭り」	市制100周年を記念し、全国都市緑化かわさきフェアの会場のひとつである富士見公園を会場とし、秋と春の全国都市緑化かわさきフェアをつなぎ、市制100周年を市民の皆さんと盛り上げるイベントとし、歴史ある市内最大級のお祭りを次の100年に向けて発展させていきます。	12月7日、8日	富士見公園一帯	・再編整備後の富士見公園一帯で開催した。天候にも恵まれ、100周年特別企画もあり、2日間で約45万人が来場した。 ・開催時期の冬ならではの企画として、カーリング体験や雪遊び体験を実施した。 ・開催時間を19時まで延長（例年16時30分まで）し、フотスポットのイルミネーションや、各出店者による特典があるハッピーアワー、市ゆかりの特別ゲストによるパフォーマンス、JAZZステージを実施した。 ・緑化フェアの秋開催と春開催の間をつなぐイベントとして、みどりを感じる装飾やフотスポットを設置した。また、緑化フェアの花苗を活用し、会場各所に設置した。 ・上記のほか、100周年特別企画として、かわさき推しメシグランプリ店等による「かわさきフードゾーン」、次世代ARスポーツ「HADON」体験、大道芸パフォーマンス、会場を巡る「ARウォークラリー」を実施した。 ・能登半島地震被災者支援等寄附金を活用し、奥能登4市町の出店と伝統芸能の披露を実施した。	「つくろう みんなのひろば」を合言葉に、川崎を広く内外に誇れるものとし、より豊かな市民文化の創造と地域経済の活性化を推進することをレガシーと捉え、本年度は市制100周年を記念する特別企画の実施や例年と異なる開催時期等を活かした趣向をこらすことで、多くの市民の来場及び市内団体等のイベント参加の機会を確保していく。
020	経済労働局	イノベーション推進部	川崎国際環境技術展を核としたビジネス創出支援事業	市制100周年の節目にふさわしい国際環境技術展とするため、開催意義である「ビジネスマッチング・交流を通じた環境ビジネスの創出」に、これからの100年に向けて求められる「国際協業」「次世代人材育成」「サプライチェーン連携強化」の要素を付加し、市内企業の持続可能な経営を促進します。	11月13日、14日	カルッツかわさき	11月13日・14日に開催した第17回川崎国際環境技術展において、市制100周年特別企画としてこれからの100年に向けて求められる要素となる「国際」「若者」「協業」のキーワードに即したイベントを実施した。 併せて、市制100周年の象徴となるテーマによる記念シンポジウム、基調講演、特別セミナーを実施した。	市制100周年を記念して設定した3つのコンテンツ「国際」「若者」「協業」について、第17回の内容を踏まえ継続して実施するとともに、市制100周年を記念して実施したシンポジウムやセミナーのテーマを次回以降の川崎国際環境技術展における時宜にかなったテーマとして継承し、講演やコンテンツを実施する。
021	経済労働局	観光・地域活力推進部	第3回川崎夜市	地元の食を楽しめるソウルフード屋台の出店やDJやトリビュートバンドによるライブパフォーマンスを実施するとともに100周年を祝う関連企画を実施する。あわせて川崎駅東口を中心とするバル祭りを開催する。	10月28日～11月4日	川崎駅東口一帯	・運営主体、参加店舗等との調整の上、以下の日程にて実施した。 ①川崎ソウルフード屋台：11月3日（日）※11月2日（土）は荒天中止 ②川崎駅前バル祭り：10月28日（月）～11月4日（月・祝） ・「川崎愛 遊びつくす3日間」と題し、市制100周年を盛り上げる4大イベントとして広報等連携し実施した。	川崎夜市を自立的に持続する取組へと進化させ、夜間における他の賑わい創出を含め、本市のナイトタイムエコノミーを一体的にブランディングしていく。
022	環境局	脱炭素戦略推進室	脱炭素アクションみぞのくち	脱炭素アクションみぞのくちのイベント（R5名称「まるっとサステナフェスティバル」）を、市制100周年・緑化フェアと連動し開催します。令和5（2023）年度プレ事業で木質化した武蔵溝ノ口駅南北自由通路をメイン会場とすることで、“脱炭素×木質化”を紹介するとともに、脱炭素アクションみぞのくち推進会議のメンバーや地元飲食店などと連携し街ぐるみでのイベントとします。 （「脱炭素アクションみぞのくち」のPR業務の一環として実施）	11月16日	武蔵溝ノ口駅・溝の口駅周辺	・「まるっとサステナフェスティバル」の一環として、脱炭素アクションみぞのくち推進会議会員団体等と連携し、昨年度木質化したJR武蔵溝ノ口南北自由通路を会場に体験型ワークショップを実施した。 ・また、今年度竣工したキラリデキステージでサステナブルファッションショーを開催するとともに、地元飲食店・農家と連携したグルメイベント「まるっとサステナグルメウィーク」も開催した。	脱炭素社会の実現に向け、引き続き脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を脱炭素アクションみぞのくちのイベントで発信するとともに、市民参加型のワークショップや飲食店等と連携したイベント等を開催するなど、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進していく。
023	健康福祉局	障害者社会参加・就労支援課	市制100周年記念事業「NHK手話ニュースキャスターがやってきた in 川崎」	市制100周年記念事業として、NHK横浜放送局と本市（健康福祉局・市民文化局バラムーブメント推進担当）とで、「NHK手話ニュース」に出演中のキャスター達による、ろう者も難聴者も聴者も楽しめる、手話エンターテインメント・トークショーを開催するもので、聴覚障害者への理解に対する普及・啓発を図ります。	3月8日	高津市民館	4月にNHK横浜放送局と本市（健康福祉局・市民文化局バラムーブメント推進担当）とで対面の打合せ、11月に高津市民館にて下見を実施。1月から観覧の募集を開始しつつ、イベント当日に向けて、調整を行っている。	障害のある人もない人も、お互いを理解し尊重していく、自立と共生の地域社会の実現に向けて、引き続き、聴覚障害者への理解に対する普及・啓発を図る。

○市制100周年を祝い、盛り上げるイベント開催などの取組（28事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
024	まちづくり局	企画課	100周年記念・拡大版「優しい木のひろば」	市制100周年の今回、全国都市緑化かわさきフェアと連携しながら、木材利用促進イベント「優しい木のひろば」の取組を拡大して各区において実施し、より木の良さや木材利用の意義を広く知っていただくための取組を進めます。	8月17日～3月2日	中原区（グランツリー武蔵小杉）、宮前区（東高値森林公園パークセンター）、川崎区（川崎市役所本庁舎広場）、幸区（ラゾーナ川崎プラザ）、麻生区（新百合丘オーバ）、高津区（武蔵溝ノ口駅南北自由通路）、多摩区（かわさき宙と緑の科学館）	「子ども達が日常で木に触れる習慣、大人達が生活に木を取り入れる文化」を目指し、国産木材でできた木のおもちゃで遊ぶイベント「やさちい き のひろば」を市内全7区で実施予定であり、3月1日、2日に開催予定の多摩区（かわさき宙と緑の科学館）を除き6区で実施した。 イベントの中でアンケートも実施し、これまでに約1,600件の回答を得ており、木材利用促進の普及啓発につなげることができた。	市制100周年を契機に、令和元（2019）年度から川崎駅前で行っている木材利用促進イベント「優しい木のひろば」の取組を拡大して各区においてイベントを実施することで、木の良さや木材利用の意義をより多くの市民に知ってもらう機会を創出するが、令和7（2025）年度以降も継続してイベントを実施し、普及啓発を図ることが100周年のレガシーであると考えている。
025	建設緑政局	企画課	市役所通りのライトアップ	市制100周年を契機として、全国都市緑化かわさきフェアや公共空間の活用等と連携しながら、市役所通りを再生可能エネルギーによりライトアップすることで、空間を高質化し、都市イメージの向上やシックブライドの醸成につなげます。	10月16日～	市役所通り	市役所通りの銀柳街及び銀座街との交差点から国道15号までの区間において、照明設置工事を行い、再生可能エネルギー（川崎未来エナジー株式会社から供給）を活用したイチョウ並木のライトアップの点灯を、10月16日に開始した。	100周年のレガシーとして、本市の目抜き通りである市役所通りのライトアップによる空間の高質化を継続するとともに、引き続き、再生可能エネルギーの活用について発信し、市民の環境や脱炭素の取組への関心を高めていく。
026	建設緑政局	みどり・多摩川協働推進課	「登戸の渡し」の復活イベント	古くから多摩川にあった渡し場の一つである「登戸の渡し」を、市制100周年を契機に市民協働で復活させ、他のイベントと連携しながら、多摩川の歴史文化を子どもたちに伝える取組を進めます。	10月26日	（川崎市側会場） ニヶ領せせらぎ館周辺 （狛江市側会場） 多摩川緑地公園グランド周辺	100周年記念として登戸の渡しの乗船体験の他、展示・体験及びワークショップなど多摩川の歴史文化等を楽しく学ぶことができる取組を10月26日に実施し、約1,000人が来場した。	今年度と同じ実施方法、規模感の場合、渡し船の運搬や船着き場設置にかかわる経費や労力の確保の点などから、地域主体で実施することは難しいため、令和7（2025）年度以降は地域団体の既存事業の中で、川船の代わりにラフティングボートなどを使い、費用をおさえた方法で実施するなど、地域団体が主体として取組を継続できるよう調整を行う予定である。
027	教育委員会事務局	市民館 図書館 生涯学習推進課	リアル謎解きイベント「謎走中！」	市制100周年を契機として、市内の市民館・図書館が連携し、全市合同での謎解きイベントを企画から市民協働で実施し、謎の作成やイベントへの参加等を通じた地域愛の醸成や地域の中のつながりづくりの促進を図ります。	4月～11月	各市民館、生田緑地等	4月21日に謎づくり講座を実施し、3会場56人が参加した。9月1日から10月31日まで実施した謎解きラリーでは、500人以上の市民が参加し、市内の新たな魅力を発見できた。11月10日実施の生田緑地イベントでは、謎解きを対面で実施したことで職員と市民が直接コミュニケーションをとることができた。	選定した謎を図書館の資料として公開・保存することで、レガシーになると考えている。公開する資料については、広く市民に活用してもらえるように、保存方法等について検討していく。
028	議会局	庶務課	市制100周年記念対談	市制100周年を記念して正副議長が著名人と対談を行い、対談の様子を議会広報紙に掲載し市民の議会に対する関心を高める機会とすることで、市民に身近な開かれた議会の更なる推進を図ります。	3月初旬	市議会議場等	令和6（2024）年度に世界で活躍したブレイキンの半井重幸選手と正副議長との間で「挑戦」をテーマに対談を行うに当たり、実施時期等を調整中である。	当該事業を実施することにより、これまで議会に関心がなかった市民に対してアプローチすることができ、より多くの市民に議会への関心を持ってもらえるようになることがレガシーであると考えている。 100周年で実施した取組は終了するが、引き続き、幅広い年代への広報を行うことにより、市民に身近な開かれた議会の更なる推進を図っていく。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組（48事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
029	経済労働局	経営支援課	市制100周年記念「住工共生に向けた工場見学」	高津区久地・宇名根や宮内・下野毛などの住宅と工場が混在する地域において、市制100周年を契機に、より一層地域住民のものづくりへの理解を深めるため、官民連携で100周年を記念した市内の工場見学イベントなどの事業を実施することで、住工共生のまちづくりを推進します。	11月2日、9日 3月1日(予定)	高津区久地・宇名根や宮内・下野毛などの、住宅と工場が混在する地域及び等々力緑地	・オープンファクトリーは北工業会を11月2日、下野毛工業協同組合を11月9日に実施。スタンブリー、地元飲食店での特設メニュー提供や100周年PRブースの出店、100にちなんだものづくり体験などを行った。 ・川崎ものづくりフェアは、他都市連携の取組として、中小製造業で有名な燕三条と連携したものづくり体験や、川崎100周年にちなんだ、ものづくり体験等を当初9月27日の開催を予定していたが、荒天により中止したため、3月1日に延期実施予定である。	100周年を契機に、これまで事業に参加していなかった工業者以外との連携（今回は地元飲食店との連携）という新たな取組を開始するが、その取組を令和7年度以降も継続して実施することが100周年のレガシーであると考えている。また、100周年を記念して、他都市と市外連携し、地域の方々とともに地域資源を活かしながら新たなイベントを実施することで、これまでつなぐりのなかった市民に、川崎を知って、関わってもらい、川崎を好きになる市民を増加させることができると考えている。令和7年度以降も取組を継続・発展させながら進めていく予定。
030	経済労働局	北部市場管理課	市制100周年記念市場活性化イベント	市制100周年を契機として、市場の活性化させるとともに、より一層市民に親しまれる市場となるよう、市場事業者と連携しながら朝市を開催し、飲食店等の関連事業者による市民向けのメニューや商品の販売などを実施し、市場への理解を醸成します。	11月2日	北部市場内	場内4部門（青果・水産・花卉・関連）全てが参加する「市制100周年記念 北部市場 食彩まつり」として、野菜の詰め放題販売、マグロの解体ショー＆販売、花の模擬セリ販売、各種フード販売、ステージイベントなどを実施した。交通広告などを活用した大規模な広報や、無料シャトルバスの運行を行い、雨天にもかかわらず、約8,200人の来場者を集め、北部市場に対する市民の理解の醸成につながった。	令和6（2024）年度の取組（100周年記念食彩まつりの実施）により得られた市場に対する市民の理解の醸成にさらに取り組むことで、市場の活性化、生鮮食料品等の安定供給を通じて、安全・安心かつ豊かな市民生活が実現することと考えている。
031	環境局	減量推進課	清掃イベント等による地域等と連携したまち美化の推進	これからの100年を担う若年層がより地域の環境美化に関心を持ち、高齢化等で担い手不足が課題となる地域等（地域や企業、ボランティア活動団体等）と繋がり合い、将来に向けて美化活動に参加するきっかけとなる清掃イベント等を実施し、地域等と行政が連携しながら「ポイ捨てのない、きれいなまちづくり」を推進します。	①11月10日 ②3月	高津区溝口周辺	・11月10日に、地域やボランティア団体、事業者、若者等、約120人に参加いただき、清掃イベント（【第一部】ごみ拾い・交流（溝口周辺）を開催した。また、【第二部】として、高津高校で市長との車座集会を実施した。 ・SDG s パートナーに協賛品を募集し参加者に配布した。 ・広報用YouTube動画、リーフレットを作成した。 ・3月に清掃イベントを再度実施予定である。	100周年を契機に、地域等（地域や企業、ボランティア活動団体、高齢者層等）や若年層とともに清掃イベントを実施することで、これまでつなぐりのなかった各主体の取組を知ってもらい、美化活動に関心をもつ市民を増やすことができると考えている。 令和6（2024）年度に実施したイベントや車座集会での意見、他都市の状況等を踏まえ、今後のポイ捨て対策や美化活動など、地域等との連携強化を図る具体的な取組を行っていく。なお、3月に実施予定の清掃イベントは、車座集会での意見を踏まえ、曜日や時間帯を変えて実施する。
032	まちづくり局	拠点整備推進室	川崎駅周辺における、地域資源を活かした、誰もが笑顔で過ごせる都市空間の創出	実行委員会主催事業である「みんなの川崎祭」や他の100周年記念イベント等と連携しながら、川崎駅周辺における地域資源などを活かした、食、音楽・アート、スポーツ、モビリティ、新たな技術などを体験する場を創出し、まちづくりを担う人材発掘の契機とするとともに、持続可能で魅力的なまちづくりを推進します。	7月～2月	川崎駅周辺	7月から2月の間で、令和5（2023）年度にリニューアルした稲毛公園において「みんなの川崎祭」をはじめ、様々な催しと連携し、イベントを複数回実施することで市制100周年を盛り上げるとともに、賑わいの創出など駅周辺のまちづくりに寄与する取組を行った。 ・7月28日：ゆるミュージック&キッチンカー ・10月19日：ご近所オートムフェス ・1月26日：稲毛公園お掃除デイ（予定） ・2月23日：稲毛公園お掃除デイ（予定）	リニューアルした稲毛公園を活用して、様々なコンテンツを実験的に行うことで、イベントとしての賑わい創出だけでなく、市民や地域事業者等の活動の場や交流の場として活用されるなどの一定の効果が得られた。一方で、リニューアル後の利用増加にあたり、ゴミのポイ捨て等の新たな課題も生じている。このため、地域と連携したイベントの中で清掃の取組を行うことで、意識醸成を図ることができた。引き続き、一層の賑わい創出に向けて、継続的な取組に加え、まちづくりを担う人材発掘を通じ、地域主体の運用を目指した仕組み作りを検討していく。
033	まちづくり局	拠点整備推進室	川崎駅周辺における、アートを活用した地域活性化	市制100周年に合わせて令和5（2023）年度に実施したウォールアートをはじめとした、川崎駅周辺のアート資源を活用したイベント開催や情報発信など、アートを活用したまちづくりを展開し、更なる地域活性化を図ります。	10月～11月	川崎駅周辺	10月19日～11月3日に、複数の公共空間等を活用した社会実験を実施した。アート、スポーツ、音楽、飲食など、様々な層を対象としたコンテンツを実施し、回遊性の向上や面的な賑わいの創出に寄与した。	川崎駅周辺から多摩川河川敷において、公共空間等を利活用し、様々な層を対象としたコンテンツ（アートやスポーツ、音楽、飲食など）を複数の場所で社会実験を実施し、まちの賑わいや回遊性の向上に寄与した。取組に際しては、駅周辺の多様なステークホルダーや地域団体、地域イベントと連携することで、地域のまちづくりに対する機運も高めることができた。引き続き、民間事業者等と連携し、一層の賑わいの創出、公共空間の利活用によるさらなる回遊性の向上等につなげていくための取組とともに、持続可能な体制づくりに向けて検討していく。
034	まちづくり局	拠点整備推進室	川崎駅周辺の多摩川のリバーサイドゾーンの上質な空間化に向けた取組	今後活用の幅が広がると想定される川崎駅周辺の多摩川リバーサイドゾーンを活用し、都市の中の自然と触れ合える貴重な公共空間として実験的にイベントを開催するとともに河川敷の環境美化を行うなど、上質な空間の創出に向けた取組を進めます。	10月～11月	多摩川河川敷（川崎駅周辺）	11月9日、10日の2日間で、これまでの再開発事業等で創出した公共空間等を活用したイベントを開催した。 街中に広がるアートやマルシェ、アーティストによるパフォーマンス、みんなでつくった未来マップや散歩の達人とのまち歩き、こすぎ公園でのスケボー体験教室などを実施し、延べ約3,000人が来場した。こすぎのみらいマップづくりに関しては、事前ワークショップを9月7日に開催し、イベント当日にその成果品を披露して多くの方にご覧いただいた。 また、令和6（2024）年3月には本イベントに先駆けプレとしてのまち歩きイベントを実施・事前周知を行うことで、企画への興味や関心が高いことを確認でき、多くの参加につながることができた。	100周年を契機に小杉駅北口エリアの公共空間等を活用したイベントを実施して地域の機運が高まったことから、数年間継続的に実施することにより、地域の自主的な取組へ展開していく。併せて、この取組により地域や事業者等との関係性を一層深めることで、小杉駅北口駅前広場再編等事業の推進にもつなげる。 これらの取組により、さらなる人と人との交流・地域への愛着の向上等、持続可能で魅力的なまちづくりを進めていく。
035	まちづくり局	拠点整備推進室	小杉駅周辺における、公共空間を活用したにぎわい等の創出	市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアを契機として、多様な主体と連携し駅周辺の公共空間等を活用したイベント等を実施し、まちの一層の賑わい・交流の創出を図ります。	11月9日、10日	小杉駅周辺	11月9日、10日の2日間で、これまでの再開発事業等で創出した公共空間等を活用したイベントを開催した。 街中に広がるアートやマルシェ、アーティストによるパフォーマンス、みんなでつくった未来マップや散歩の達人とのまち歩き、こすぎ公園でのスケボー体験教室などを実施し、延べ約3,000人が来場した。こすぎのみらいマップづくりに関しては、事前ワークショップを9月7日に開催し、イベント当日にその成果品を披露して多くの方にご覧いただいた。 また、令和6（2024）年3月には本イベントに先駆けプレとしてのまち歩きイベントを実施・事前周知を行うことで、企画への興味や関心が高いことを確認でき、多くの参加につながることができた。	100周年を契機に小杉駅北口エリアの公共空間等を活用したイベントを実施して地域の機運が高まったことから、数年間継続的に実施することにより、地域の自主的な取組へ展開していく。併せて、この取組により地域や事業者等との関係性を一層深めることで、小杉駅北口駅前広場再編等事業の推進にもつなげる。 これらの取組により、さらなる人と人との交流・地域への愛着の向上等、持続可能で魅力的なまちづくりを進めていく。
036	まちづくり局	地域整備推進課	鷺沼駅周辺における、多様な主体と連携した公共空間づくり	鷺沼駅前の再開発事業の進捗を見据えながら、市制100周年のタイミングに合わせて、地域のさまざまな主体と連携しながら公共空間等を活用したイベントの規模等を拡大し、次の100年も継続可能なまちの賑わい創出を図ります。	10月6日 2月14日、15日	鷺沼駅前駐車場	・東急（株）及びさぎ沼商店会と連携し、鷺沼駅前にて「さぎ沼まつり」を10月6日に開催した。 ・鷺沼駅前にて、宮前区役所、教育委員会と連携し、駅前広場活用及び公共機能の魅力発信につながる実証実験を2月14日、15日に実施予定で、宮前区のミライづくりプロジェクトの活動周知のためのオープンハウス型説明会も併せて開催予定である。 ・12月23日に公募型プロポーザル方式により業者を選定し、現在開催に向けたコンテンツ内容等を協議中である。	公共空間等を活用した魅力ある読書空間を提供するなど、鷺沼駅前地区再開発事業に伴う公共機能の集約を見据えながら、鷺沼地区の商店会主催のお祭りとも連携し、100周年を記念したイベントを実施することで、再開発事業により駅前に新たに整備される公共機能の魅力を発信し、シビックプライドの醸成、地域資源の新たな発掘や新たな地域とのつながりを生み出すとともに、持続可能なエリアマネジメントの機運醸成となると考えている。 今後も地域で活躍する方々と連携し、公共空間等を活用したイベントを継続して実施することで、今後の駅前広場の有効活用や持続可能な運営体制に向けた検討や課題整理を行いながら、人と人、人とまちのつながりを生み出し、鷺沼地区の魅力をより一層向上をしていくことが100周年のレガシーであると考えている。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組（48事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
037	まちづくり局	登戸区画整理事務所	登戸駅周辺における、人やまち、自然をつなぐ公共空間づくり	登戸駅周辺の公共空間等を活用し、全国都市緑化かわさきフェアや他の100周年記念イベントと連携しながら、多様な主体と連携し、地域の文化、食や生田緑地などを身近に感じる機会を提供し、多くの人をまちに呼び込むとともに、人々の回遊性及びまちの価値の向上につなげます。	3月	登戸駅周辺	秋の緑化フェアの期間中である10月27日に、登戸2号線と登栄会商店街等の公共空間を活用したイベントを地域主体で開催した。また、秋の緑化フェアの期間中（10月19日～11月17日）に、造園家による緑の展示「動く森展」を開催し週2回地域と水やりを実施した。 春の緑化フェア期間に合わせて遊園南駅前広場や登戸2号線において社会実験等を実施予定である。社会実験の内容等については地元のまちづくり団体や権利者、交通管理者等と協議・調整中で、その他、登戸駅からの生田緑地へのルート上の小田急高架の壁面にアートを制作し、まちの回遊性を向上させる取組を実施予定である。	100周年や緑化フェアを契機にした公共空間の活用イベントを通じて、公共空間の活用に対する認知を広げ、人々のつながりや活動を促進する。令和7（2025）年度以降は、地元のまちづくり団体などの民間が自立して公共空間を有効活用することで、地域の賑わいの創出や魅力を高め、まちの価値向上を目指す。
038	まちづくり局	交通政策室	J R 稲田堤駅自由通路開通式典	地域要望から始まった橋上駅舎化及び自由通路の完成を記念して、地域住民や鉄道事業者とともに次の100年を担う新たな街の玄関口の完成を祝う記念式典を開催します。	6月2日	JR稲田堤駅周辺	JR稲田堤駅近くのJAセレサ川崎菅支店のホールを会場として使用し、自由通路の開通式典を行った。川崎市主催のもと、川崎市議、神奈川県議、国会議員、施工関係者及び地元関係者約50名程度に出席いただき、稲田堤駅と中継を結びながら、式典会場でのテープカットと同時に自由通路の全面開通を行うとともに、会場では、発車メロディの音源を制作した県立多摩高校（40名程度）による生演奏も行い、次の100年を担う新たな街の玄関口の完成を祝うことができた。 100周年で実施した取組は終了するが、今後も地域のシンボルとして愛着を醸成していく予定。	自由通路の完成を記念して地域の方々や鉄道事業者とともに式典を開催し、次の100年を担う新たな街の玄関口の完成を祝うことができた。 100周年で実施した取組は終了するが、今後も街の玄関口として愛着を醸成していく予定である。
039	まちづくり局	地域整備推進課	多様な主体と連携した公共空間づくり【新百合ヶ丘駅周辺地区】	万福寺檜山公園において、その立地やポテンシャルを活かし、継続的な活用にあたっての課題やニーズ等を把握するとともに、活用の仕組みの検討、今後の有効活用の方角性の整理を行うため、まちの新たな魅力や賑わいに繋がる実証実験を実施。	7月18日～20日、9月21日、10月12日、13日、11月30日	万福寺檜山公園	万福寺檜山公園を活用し、地域の方と連携したイベントや公園におけるオープンカフェなどを下記の日程で実施し、当該公園における滞留空間の創出などを通じて魅力ある場づくりや公共空間の利活用の可能性を見出した。 ・ひのきやまPARK～HINOKIYAMA CAFE & BAR～：7月18日～20日 ・ひのきやまPARK～もしもに備える防災・減災～：9月21日 ・HINOKIYAMAPARK～ART & PLAY～：10月12,13日 ・HINOKIYAMAPARK～CHRISTMAS MARKET～：11月30日	駅から至近である立地性や自然豊かな原風景が残る万福寺檜山公園の高いポテンシャルを最大限に活かし、本市の広域拠点である新百合ヶ丘駅周辺において日常的な賑わいの創出や地域コミュニティの醸成、地域活動の活性化を目指して、100周年を記念したイベントを実施することで、シビックプライドの醸成、地域資源の新たな魅力や新たな地域とのつながりを生み出すとともに、持続可能な地域主導での活用の機運醸成を行ってきた。これらの取組を令和7（2025）年度以降も継続して実施することで、人と人、人とまちのつながりを生み出し、新百合ヶ丘駅周辺の魅力をより一層向上していくことが、100周年のレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降も取組を継続・発展させながら進めていく予定である。
040	港湾局	誘致振興課	市制100周年記念「川崎みなと祭り」	川崎の次の100年に向けて、ドローンショー等を実施するとともに川崎みなと祭りに参加する船等が一斉に汽笛を吹鳴するセレモニーを開催することにより、川崎みなと祭りを訪れた市民の市制100周年に対する祝賀感を醸成するとともに更なるシビックプライドの醸成を図ります。	10月12日	川崎区東扇島	市制100周年記念第51回川崎みなと祭りの1日目にあたる10月12日に、市制100周年を記念したドローンショー及び一斉吹鳴（川崎みなと祭りに参加する船等が一斉に汽笛を吹鳴するセレモニー）を実施した。	100周年を記念して、市民の記憶に残るような新しいイベントを実施することで、これまで川崎港に馴染みがなかった市民に、川崎港を知って、川崎港の魅力に気づいてもらうことで、川崎を好きになり誇りに思う市民を増加させることができると考えている。100周年で実施したイベントは終了するが、例年開催する川崎みなと祭りに活かしていく予定である。
041	川崎区役所	企画課	多様性や多文化を体験するイベント	市制100周年を契機として、地域団体や関係団体等と連携し、多様性や多文化をスポーツやアートで体験できるイベントを実施し、相互理解の機会を創出します。	10月14日	カルッツかわさき	10月14日に「カルッツ★バラスポ オータムフェスタ」において、障害の有無にかかわらず、だれでもバラスポーツ及びアートが体験できるイベントを開催した。 体験型バラスポーツイベントとして「車椅子バスケ」「車椅子アメフト」「バラ卓球」を開催し約250名が参加、同時に「カルバラ杯カローリング・ポッチャ大会」も開催し、36チーム122名が参加した。 また、「多様性・多文化」をコンセプトに、「壁画アート」「ボトルキャップアート」の体験会に訳100名が参加、多文化スポーツとして「モルック」「クッパ」「ダーカウ」「セバタクロー」の体験会に約120名が参加した。	カルッツ★バラスポ（主催：カルッツかわさき）での一部連携の取組など、継続できるものは継続していき、多様性・多文化に触れることのできる機会を引き続き設けていく。
042	川崎区役所	企画課	100人を超える市民の笑顔の写真展「未来につながるかわさきそだち」	令和5（2023）年度に収集した、市民の、かわさきそだち（川崎産の花や野菜）を持った写真やメッセージを活用して動画やパネルを作成し、区内各所で放映・展示を行うことで、お祝いムードを演出するとともに、次の100年を考えるきっかけとなる取組を進めます。	パネル展示：10月19日～2月28日（予定） 動画放映：8月23日～12月27日	カルッツかわさき、教育文化会館、大師支所、田島支所、イトーヨーカドー川崎港町店、川崎信用金庫本店（予定）、市役所第三庁舎1階ロビー（予定）、アゼリアビジョン、河川情報表示板、かわさききたテラス	令和5（2023）年度に収集した、市民の、かわさきそだち（川崎産の花や野菜）を持った写真やメッセージを活用して動画やパネルを作成し、10月19日の全国都市緑化フェア開会式典会場での展示をはじめとして、区内各所で放映・展示を行うことで、お祝いムードを演出した。	100周年記念事業を通じて「川崎の好きなところ」や「みどり」に目を向けてもらったが、今後も様々なイベントのなかで、小さなことでも川崎を好きになってもらう取組を行っていく。
043	川崎区役所	企画課	川崎区の花「ピオラ」を活用したフラワーアート	川崎区の花の一つであり、多様な色をもつピオラを活用し、地域住民等と協力し、稲毛公園においてフラワーアートを作成し、全国都市緑化かわさきフェアの秋開催期間中の展示を行います。	10月19日～11月17日 （全国都市緑化かわさきフェア秋開催期間中）	稲毛公園	10月19日～11月17日の間に稲毛公園において、仮設花壇を設置して地域ボランティアの方のデザインによるフラワーアートを展示した。 展示最終日には、使用した花苗（約500株）を公園来場の方に無料配布した。	アートデザインや表現方法を変えるなどして、稲毛公園等のイベントと併せて開催していく。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組（48事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
044	川崎区役所	地域振興課	東海道川崎宿の魅力に触れるイベント	東海道川崎宿起立400年の令和5（2023）年度に東海道沿道に設置した100基を超える中間灯をはじめとした東海道川崎宿の魅力に触れるイベントを実施し、川崎の新たな観光資源としてのPRをするとともに市民のシビックプライド醸成を図ります。	10月15日～11月17日	川崎駅周辺	まちの飲食店や令和5年（2023）に設置した120基の中間灯などの東海道の魅力を、市制100周年を契機に体感できる「カワサキ百鬼夜行スタンプラリー」を開催した。中間灯の一部に二次元コードを貼り、うち7箇所を読み込んだ参加者に、川崎浮世絵ギャラリーや東田商店町飲食店割引などの特典を付与した。 さらに、オプション企画として夜2回と昼1回の街歩きツアーを開催し、夜コースでは、ラッチタデッラのマルシェ、飲食店（酒屋、ホテル、ビアバー、喫茶店）、昼コースでは、浮世絵ギャラリー、はんこ屋、和菓子店等を巡った。各店舗では試飲のサービス、店主からは店舗の説明やまちへの思い等の話をしてもらった。中間灯を通してまちを知るきっかけづくりとなる事業となった。	「カワサキ百鬼夜行」という新たなツールができたことで、今後は商店街や民間等の地域が主体となり、中間灯を活用した取組が継続されることを期待するとともに補助金制度の案内などの働きかけを行っていく。
045	幸区役所	企画課	市制100周年記念「さいわいにぎわいフェス」	プレイベントとして実施した令和5（2023）年度を取組を踏まえ、川崎駅西口周辺の事業者や地元町内会、商店街等と連携し、事業者の施設や公開空地、公共空間などを活用しながら、子どもから大人まで多世代が楽しむことができるイベントを開催します。	9月27日、28日	川崎駅西口周辺	9月末の開催に向け、実務者レベルの幹事会を毎月開催して、企画内容を調整し7月に幹事会の親会である実行委員会にて決定した。 9月27日、28日に、地元町内会や企業等の地域の強みを活かしたコンテンツを展開し、地域手作りのイベントとして「さいわいにぎわいフェス」を実施した。また、アフターフェスとして9月29日には、イベント会場の美化活動を実施し、3日間で大いに「にぎわい」を創出した。	100周年を契機に、川崎駅西口周辺の事業者や地元町内会等との連携を構築することができたため、令和7（2025）年度以降も事業を継続し、連携をより深めるとともに、将来的には地域が主体となって事業が実施できるよう進めていく予定である。
046	幸区役所	地域振興課	多様な主体との連携による花壇の整備や「花手水」等の活用	令和5（2023）年度を取組に加え、区内の町内会や商店街、企業、学生等と連携し、花壇の整備や川崎駅西口周辺等に「花手水」を設置するなど、緑化の取組みを通じて地元への愛着をより醸成し、花や緑に包まれた、うるおいと緑あるまちづくりを推進します。	10月～11月	幸区内	9月27日、28日に行われた「さいわいにぎわいフェス」において花手水を設置するとともに、「花手水フォトコンテスト」を実施して花手水の写真を来場者に募集し、1月から応募作品（全86作品）を幸区役所、日吉出張所において展示した。 また、11月3日さいわいふるさと公園において実施された「さいわい縁むす日」において花手水を設置するとともに来場した子ども達に花手水の作成を体験してもらう取組を実施した。	事業を通して得た「花手水」や「フラワーウォール」に関するノウハウや物品を活用して、今後も様々なイベントの中で取組を継続・発展させながら進めていく予定である。
047	幸区役所	企画課	絵本作家「かこさとし」さんの魅力発信	令和5（2023）年度を取組を踏まえながら、幸区内の学校や障害者施設等と連携したイベント等を開催し、幸区にゆかりのある絵本作家「かこさとし」さんが大切にしていた「個性」や「多様性」についての理解の定着化に向けた取組を進めます。	3月頃	古市場・鹿島田周辺	かこさんの作品をより多くの子どもたちに知ってもらうため、令和4（2022）年度に藤嶋昭先生から寄贈いただいたかこさんの絵本について、区内保育所に8月から貸出を行った。 また、かこさんと幸区のつながりを広く伝えるため、かこさんがかつて活動を行っていた古市場第2公園への案内として鹿島田駅周辺の案内サインの盤面変更をする予定で調整を行っている。	100周年を契機に、かこさんと幸区のつながりを広く周知し、幸区への愛着心や誇りの醸成、魅力の向上につなげるため、かこさんがかつてセツルメント(社会福祉)活動を行った公園を紹介する案内板を設置するなど、街なかにかこさんの作品に触れやすい環境作りを進め、令和7（2025）年度末にはかこさんの生誕100周年を迎えることから、次年度以降も、かこさんとのつながりがあった方や古市場・鹿島田周辺の地域住民等と連携・協力しながら取組を進める予定である。
048	中原区役所	地域ケア推進課	市制100周年記念なかはらアート作品創作事業	「市制100周年でやってみたいこと」等、区民のメッセージを集め、このまちのために動きたい、このまちが好きになるような、市のブランドロゴをモチーフとしたアート作品を、市民参加型で創作します。「なかはらコアまつり」でアート作品を完成後、区内のイベント等でも展示して多くの方に見てもらい、市制100周年のPRを継続します。	年間を通して	中原区役所ほか	8月24日のなかはらコアまつりにて、市民協働で作品を完成させた。その後、8月中原区役所1階、10月区民祭、11月なかはら子ども未来フェスタ、なかはら福祉健康まつり、Colors かわさき 2024展、12月なかはらランニングフェスタ、1月In Unity2025、まなPフォーラムで作品の展示を行い、今後も2月中原スポーツまつり、3月なかはらSDGsまつりで展示する予定である。	アート作品の創作・展示は本年度限りで終了するが、アート作品の創作・展示を通じて、ブランドメッセージを市民に周知するとともに、中原区民のColors,Future! Actionsを可視化することで、区民の中原区への愛着を醸成することができると考えている。また、多様な主体が創作に参画することで、共生意識の醸成、コミュニティづくりのきっかけにつなげていく。
049	中原区役所	地域振興課	市制100周年記念中原区役所花壇の整備	区民と協働で管理している区役所敷地内花壇等を市制100周年記念バージョンに装飾し、花壇等を協働による交流の場とするとともに、緑化を推進します。	5月～3月	中原区役所ほか	5月21日に「花植えボランティア体験講座」、11月30日に「キッズ花植え体験」を実施し、一般参加者と一緒に市制100周年記念花壇への植替え及び装飾を実施した。 6月28日には点灯式を開催し、6月28日～7月31日、8月19日～8月25日、9月20日～11月17日に花壇のライトアップを実施した。2月20日～3月30日も実施予定である。また7月1日～31日、10月21日～11月15日にはSNSシェアキャンペーンも実施した。	本事業は、中原区花クラブ実行委員会との協働により、区役所等の花壇の植栽及びその維持管理を行い、地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ること、さらに、市制100周年記念事業及び全国都市緑化かわさきフェアの開催を通じて、広く市民・区民へのPR及び緑化の推進を目的とするものである。令和7（2025）年度以降も中原区花クラブ実行委員会と協働で取組を進めていく予定である。 ※中原区花クラブ実行委員会：公募で集まった花壇管理のボランティア団体で、平成12（2000）年から活動がスタート、区内5箇所の花壇の維持管理をしている。
050	中原区役所	企画課	市制100周年記念「なかはらコアまつり」	地域主体による区の魅力発信活動を推進し、区民の地元への愛着や関心を高めるため、武蔵小杉駅周辺の公共的空間を活用したイベント「川崎市市制100周年記念 なかはらコアまつり」を開催します。	8月24日	こすぎコアパーク及びその周辺	8月24日にこすぎコアパーク及びその周辺で、地域の商店街や町内会、企業、市民団体等を連携しながら、昨年よりも規模を拡大してイベントを開催した。会場では、中原区ならではの飲食ブースや物販ブース、誰もが楽しめる体験ブース、ステージ演出等のコンテンツに加え、市制100周年記念企画として、昨年も好評の来場者参加型の「100」にちなんだ大合奏やアート作品の創作・展示、クライマックスは道路上で盆踊りを実施し、約30,000人の方々が来場した。	100周年を記念して、地域の方々とともに地域資源と活かしながら新たなイベントを実施し、区民の皆さまに、中原区を知って、関わってもらうことで、地元意識や地域への愛着を深めてもらうことができると考えている。100周年で実施した取組は終了するが、今後の地域イベントなどの取組に活かしていく予定である。
051	高津区役所	道路公園センター	溝口駅前キラリデッキのリニューアル	市制100周年を契機として 駅や周辺施設、脱炭素の取組等と調和を図りながらキラリデッキをリニューアルし、多くの区民にとって快適で使いやすく、区の玄関にふさわしい個性と魅力ある空間に再生します。	10月31日	溝口駅前キラリデッキ	ステージの整備に合わせて転落防止柵や木質ベンチの設置及び既存花壇内芝生化工事などハード整備を10月末までに完了させた。	緑を感じられる地域の憩いの場を目指し、ハード面の取組としては、暑い日差しを和らげ過ごしやすさを演出するパーゴラや木製ベンチ等の設置、みどりを通じて季節の移ろいを楽しめる多様な植栽の整備を予定。 また、ソフト面の取組としては、実行委員会主催事業として設置したステージについて、地域の文化活動の場として定着を図るため、実行委員会と協働でイベント等企画を実施する。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組（48事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
052	高津区役所	企画課	古写真を使って高津区の地域の歴史を学ぶ企画	「高津ふるさとアーカイブ」で収集した古写真を活用しながら、市制100周年を機に地域の歴史資源に触れ、地域の歴史を振り返る企画として、謎解きイベント①やガイドツアー②を開催するなど、関心の高さに応じたイベントを実施し、ふるさと意識を醸成や地域への関心を高めます。	①12月2日～1月31日 ②12月5日	①大山街道周辺 ②下作延周辺	①高津区にゆかりのある住民と協働の下、謎解きの冊子を作成した。現在配布して実施中である。 ②地域住民のガイドと協働の下、地域の歴史を知るガイドツアーを企画し実施した。	「高津ふるさとアーカイブ」を活用した謎解きイベントやガイドツアーを実施して、100周年を機に多くの方に地域の魅力を伝えることに役立ったと考えている。当該事業で集めた写真等は、町内会の広報誌や小学校の授業で使われる等、これまでも多くの方に利用頂き、地域への理解や愛着に寄与しており、今後も利用状況や他の取組との連携を考えながら、効果的に取組を進めていく予定である。
053	高津区役所	企画課	高津区民祭等民間イベントでの周知	令和5年（2023）度の取組を踏まえながら、高津区民祭①や溝口駅前キラデッキイルミネーション②等集客の多い民間イベントを活用し、幅広い市民層への市制100周年の周知を図るデザインとするなど、地域への愛着を深める取組を進めます。	①7月②11月～1月	①区内大山街道②溝口駅前キラデッキ	①10月27日開催予定として準備を行っていたが、衆議院議員選挙となり中止になった。 ②11月8日から1月31日の期間で100周年デザインのイルミネーションを掲出した。	引き続き、多くの市民が目にする機会が多い①・②の広報を通じ、地域への愛着を深める取り組みを行う。
054	高津区役所	企画課	「エコシティたかつ」推進事業における「緑の里親」とレインガーデン整備公開	「緑の里親」により増えた植物を緑ヶ丘霊園に返還するとともに、レインガーデンを地域住民や墓参者の憩いの場として公開します。またレインガーデンの公開時には、地域住民や緑の里親を招いた植樹イベントを開催します。	10～12月頃	緑ヶ丘霊園他	緑ヶ丘霊園内湧水地について、6月に指定管理者が整備工事を行い、久本小寺子屋にて、「みどりの里親」として植栽活動を実施した。また11月に地元町内会、昨年度「緑の里親」により株分けした市民の協力のもと、植樹イベントを開催した。	令和7（2025）年度以降も引き続き、レインガーデンを地域住民や墓参者の憩いの場としての取り組みを行う。
055	宮前区役所	地域振興課	東名川崎IC周辺のみどりの景観づくり	市制100周年を契機に、美しいまちづくりによるジビックプライドの醸成がより一層進むよう、川崎の北の玄関口である東名川崎インターチェンジ前の花壇において、地域の町内会や子ども会などさまざまな団体と連携しながら、「100」にちなんだ花壇の整備や装飾等を実施します。	春：6月1日、8日 秋：10月19日、26日 ※花壇の記念装飾は3月まで継続予定	東名川崎IC前花壇	・6月1日、8日に花植えイベントを実施した。地域の緑化活動団体との協働作業で花壇中心部に100の花文字を演出したほか、尻手黒川道路沿いフェンスに100周年の記念横断幕を掲出した。 ・10月19日、26日に花植えイベントと記念装飾（ソーラーライトによるライトアップや記念看板）等を実施した。	令和6（2024）年度は市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアを記念した特別イベントの実施等により、これまで地域の緑化活動に関わりがなかった市民層の注目・関心を惹きつけ、活動への参加者の裾野を拡げていくことを目指す。令和7（2025）年度以降は、参加者の拡がりが持続的且つ安定的な団体運営に繋がっていくよう、日常的な緑化活動に対して必要なサポートを継続して行っていく予定である。
056	宮前区役所	地域振興課	宮前区の公共用地を活用した花壇づくり	公園などの公共用地の花壇に市制100周年の表示を実施するとともに、花苗の配布に係る説明会の開催と合わせて市制100周年を記念した講座や交流会を実施するなど、市制100周年や全国都市緑化かわさきフェアと連携しながら、緑化活動を通じた地域コミュニティの活性化を図ります。	・記念イベント：10月7日 深町貴子さん講師 ・花苗配布：11月1日～29日	宮前区内の公共用地花壇	・8月1日～23日に区内公共用地花壇を管理する緑化団体からの花苗申請を募集した。11月1日～29日に申請のあった区内35の緑化団体に9,811株の花苗を配布、合わせて100周年記念でチューリップの球根を各団体に配布した。 ・10月7日に園芸家 深町貴子さんを講師に招き記念講演会を開催した。「花とみどりの力～このまちでみどりを楽しむ暮らし」をテーマに90分の講演を行い約120人が参加した。来場した緑化団体に100周年記念の花壇プレート等を配布した。	令和6（2024）年度は市制100周年及び全国都市緑化かわさきフェアを記念した特別イベントの実施等により、これまで地域の緑化活動に関わりがなかった市民層の注目・関心を惹きつけ、活動への参加者の裾野を拡げていくことを目指す。令和7（2025）年度以降は、参加者の拡がりが持続的且つ安定的な団体運営に繋がっていくよう、日常的な緑化活動に対して必要なサポートを継続して行っていく予定である。
057	宮前区役所	総務課	宮前区役所市民広場への100周年記念ベンチの設置	宮前区役所の市民広場において、地域の子どもたちや地元アーティストと一緒に、老朽化が進む既存のベンチをリニューアルし、記念ベンチとして設置し、市民の憩いの場に新しい価値を創造し地域への愛着心を醸成します。	4月1日～10月31日	宮前区役所市民広場	6月2日と6月30日の2日間ワークショップを開催し、ワークショップでベンチのデザインや装飾を行い、それぞれ約100人が参加した。8月17日にお披露目会を実施した。	市民広場は地域の憩いの場やイベント会場として、多くの区民が訪れる場所であり、100周年を記念したベンチを設置することで、有形のレガシーとして地域に新しい価値を創造するとともに、子どもたちが地元アーティストとともにベンチをペインティングするというアート体験は、将来にわたって記憶に残り、地域への愛着心を醸成する無形のレガシーだと考えている。令和7（2025）年度以降、ベンチの修繕等は既存事業費で対応する予定である。
058	宮前区役所	企画課	宮前区のみどりの散歩コースのリニューアル	市制100周年を契機に、これまで関係団体とともに作成してきた豊かな自然や名所などを巡る散歩コースを再編成し、かわさきイベントアプリで公開するなど、みどりと地元に対する愛着心の醸成や健康寿命の延伸を図ります。	年間を通して	主に宮前区内	・お散歩コースを再編成し、7月1日からかわさきイベントアプリでお散歩コースを公開した。 ・9月24日から「かわさきTEKTEK」でお散歩コースを公開した。 ・9月24日から12月14日まで中央卸売市場北部市場や県立東高根森林公園と連携し、お散歩コースを歩く特典が貰えるキャンペーンを実施した。	多くの世代が健康を意識し、みどり豊かな地域を知ること、健康増進や地元への愛着心醸成のきっかけとなっていくことが100周年のレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降もこの取組を継続させながら進めていく予定である。
059	多摩区役所	地域振興課	市制100周年記念「多摩区スポーツフェスタ」	市制100周年を記念して、「多摩区スポーツフェスタ」を多摩スポーツセンター、Anker フロントウン生田の2か所で開催し、川崎フロンターレ等のかわさきスポーツパートナーと連携した多世代が楽しめる取組、パラスポーツ体験、トップアスリートとの交流などを実施します。	10月14日	多摩スポーツセンター Anker フロントウン生田	100周年記念種目のリレートリアルやトップアスリートによる走り方教室など30種目52体験教室を実施し、2会場合計4,026人が参加した。種目に参加し実際に体を動かすほか、参加者から400件近くの「川崎市の次の100年に向けたメッセージ」が寄せられるなど、100周年ならではの雰囲気の中、多くの方に楽しい時間を過ごしてもらうことができた。	令和7（2025）年度以降も多摩区スポーツフェスタ事業を実施する。2会場開催は今回（100周年記念事業）のみとするが、多くの人にスポーツの楽しさやスポーツを通じたつながりの大切さを感じてもらうことができたと考えており、そこで高まった機運をさらに広げていくため、今後もイベントによるスポーツに触れる機会の提供を継続していく。
060	多摩区役所	地域振興課	まち歩き謎解きゲーム「緑のまちと重成の謎 多摩区を巡る、2匹とあなたの物語」	源頼朝の重臣「稲毛 三郎重成」を題材にしたまち歩き謎解きゲーム「SHIGENARI」を市制100周年の特別編「緑のまちと重成の謎 多摩区を巡る、2匹とあなたの物語」として開催し、イベントに参加しながら多摩区の魅力や川崎市の100年の歩みに触れることで、参加者の区及び市の知識を深め、魅力を再発見してもらう取組を実施します。	10月25日～11月24日	多摩区内	より広く多摩区内を知ってもらうために「菅稲田堤エリア」と「登戸・宿河原エリア」の2コースを設定して、10月25日から11月24日の期間で事業を実施し、約1,100人が参加した。参加者アンケートにおけるイベントの満足度は92.9%と評価の高いイベントとなった。	100周年記念として拡大して行う謎解きゲームを通じて、参加者に多摩区の魅力と川崎市のこれまでの100年の歩みに触れてもらうことで、多摩区や川崎市への愛着が増すことができたと考えている。拡大版イベントは終了するが、多摩区を訪れた一人ひとりが多摩区の魅力を発信してくれることを目指し、引き続きPR事業などの取組に活かしていく予定である。
061	多摩区役所	生田出張所	生田地区における100周年記念植樹	令和6（2024）年度に地域利用を開始した生田出張所新広場において、市制100周年を記念した植樹を行い、協働による維持管理や広場活用を促し、より一層の地域コミュニティ拠点形成の加速につながるよう取組を実施します。	10月5日	生田出張所新広場	10月5日に生田出張所新広場において、「市制100周年記念事業・市民150万本植樹運動『生田出張所新広場植樹祭』」を開催し、地域との協働による植樹を行った。また、地域団体による出展イベント（飲食・ワークショップ・ステージ）を同会場で実施し、記念植樹と合わせて約150人が参加した。	100周年の記念植樹を契機に、地域住民との協働による植栽の手入れなどの活動に向けた取組を進めることで、地域の人々の交流を生み、より一層のコミュニティ拠点の形成を加速していく。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組（48事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
062	麻生区役所	企画課	麻生区グリーンツーリズム	市制100周年を契機に、麻生区の貴重な農業資源や環境資源を活用した体験イベント等を実施することで、市内外へのPRを行い、地域の魅力を知ることによって地域への関心を高め、都市農業の振興や地域活性化を図ります。	6月30日、7月30日、10月12日、20日、11月9日	麻生区内	・6月30日に【岡上地域グリーンツーリズム】「初夏の岡上ぐるりツアー」を実施した。麻生区をはじめ、多摩区、高津区、中原区から10代から70代以上の18組28名が参加し、自然・里山、農業など岡上の魅力を満喫した。 ・7月30日に【黒川地域グリーンツーリズム】「麻生区黒川産夏野菜の収穫体験」を実施した。小学3年生から中学3年生とその保護者39名が参加し、黒川産夏野菜の収穫体験を通じて、麻生区の貴重な里地・里山を体感した。 ・10月20日に【黒川地域 秋のグリーンツーリズム】「西光寺の天井絵特別拝観とサツマイモ収穫体験」を実施した。36名が参加し、西光寺の天井絵雲龍図特別公開やサツマイモの収穫体験を通じ、麻生区の文化や自然を学んだ。 ・JAセレサ川崎と連携して岡上で田んぼアートを実施し、10月12日には親子収穫体験を行い約100名が参加した。また、1月8日の麻生区賀詞交歓会では収穫したお米を参加者にふるまうとともに、作成した記念映像を上映した。 ・【早野地域グリーンツーリズム】11月9日に行われた「虹のまちにわフェス」で早野産野菜の直売とクラフトビールの販売及び製作過程の動画紹介を行った。	緑化フェア及び100周年を契機として、多様な団体と連携・協力しながら、区内の貴重な農業資源や環境資源を知り、地域の魅力を感じて愛着を持つことで、地域への関心を高め、地域活性化につなげる取組を継続する。
063	麻生区役所	地域振興課	あさお境界トレイルハイク	令和5（2023）年度に実施した「あさお境界トレイルハイク」の結果を踏まえ、麻生区の境界に沿ってウォーキングしながら、スタンプラリー形式で区を一周するなど、区の環境やまちの歴史・発展を感じつつ、歴史を振り返りながら、ハイキング等を楽しむことができる取組を進めます。	3月1日	麻生区内	第1回実行委員会を7月12日に実施し、今年度の実施概要を決定した。麻生区のスポーツ推進委員の協力を得て、複数回にわたり試歩を実施し、今年度の新ルート及びチェックポイントを確定し、12月15日より参加者の募集を開始した（2月10日まで）。2月14日に第2回実行委員会を実施し、当日の役割分担等を確認した上で、3月1日イベント当日、近隣自治体のスポーツ推進委員会の協力を得て、スタート・ゴールやチェックポイントの運営等を行う。	本イベントをきっかけに、境界付近に魅力的な散策路があることを知ってもらい、今後も日常的に利用してもらうことで、健康の維持増進につなげる。イベントとしては終了するが、今後も近隣自治体スポーツ推進委員会と継続的に連携し、地域全体の活性化を図っていく。
064	麻生区役所	地域振興課	あさお区新歩け歩け運動	市民協働の「歩け歩け運動」と連携し、史跡やまちの成り立ち、100年の歴史を振り返りながら、区内各所や隣接地域を巡るウォーキングを、令和5年（2023）度の取組を踏まえて拡大実施するなど、地元への愛着等を深めながら、健康づくりにつながる取組を進めます。	6月16日、11月3日	6月：生田緑地周辺 11月：岡上地域周辺	6月16日の実施では、生田緑地とその周辺の寺院を巡った。途中の各スポットで麻生歴史観光ガイドの会による解説があった。参加者は46人であった。11月3日の実施では、主に岡上地域の寺社仏閣等を巡った。途中の各スポットで麻生歴史観光ガイドの会による解説があった。参加者は40人であった。	本イベント実施に際して培った団体間の連携を維持し、定期的に連携事業を実施する。麻生区を深く知り、愛着につなげる取組を継続する。
065	麻生区役所	地域振興課	市制100周年記念「あさお花いっぱい推進事業」	公園などの公共用地の花壇を管理している地域団体と区内を花で飾る取組を実施するとともに、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアをPRしながら、次の100年に向けて麻生区の美しい景観の維持を目指します。	10月～12月 2月～3月	麻生区内	公共的空間にある花壇等を継続的に管理している美化団体に花苗と緑化フェアをPRしたプレートを配布するために団体の募集を行い27の団体に花苗のプレートを配布をした。区民まつりの来場者に市制100周年と緑化フェアをPRしながら、300株の花苗とチラシを配布した。2月～3月にかけても、同様に花苗の配布を予定している。	事業を通して区民の緑化や美化に対する意識を向上させ、花いっぱいで美しい景観を麻生区全域に広げる。
066	麻生区役所	地域振興課	市制100周年記念「なつやすみ野外上映会」	市制100周年を記念し、夏の夜の校庭で映画の上映や、上映とあわせて市制100周年を記念した企画の実施など、市制100周年を盛り上げ、区民の芸術・文化のまちづくりへの理解と共感を高めるイベントを実施します。	2月15日 （8月31日は荒天中止となり代替上映を実施）	片平小学校体育館	川崎フロンターレや地域の団体、キッチンカー等の出店、お祝いムード醸成のためのグッズ配布を予定していたが、台風の影響で8月31日の開催を中止した。代替として2月15日に体育館で上映する。屋台の出店等は行わないが、作成したグッズを来場者に配布し100周年をお祝いする。	継続的に事業を実施し、映画をきっかけに、区民の芸術・文化のまちづくりへの理解と共感を高め、より一層の参加を促進する。
067	麻生区役所	企画課	子どもたちと一緒に花を育てる取組	小学生と地域の方々が一緒に花を植え、育てる取組を実施し、子どもたちが花植えを通してみどりや地域に親しむ機会を創出します。	3月	麻生区内	実施方法・場所等の検討を協働で実施する麻生区ソーシャルデザインセンターと協議・調整を行っている。	緑化フェア及び100周年を記念して、地域の方々が一緒になって緑化活動を行うことで、これまでつながりのなかった市民に、川崎を知って、関わってもらうことができ、川崎の魅力を感じ、川崎を好きになる市民を増加させる。100周年で実施した取組を今後のソーシャルデザインセンターの取組に生かす。
068	麻生区役所	企画課	麻生区における川崎をもっと知って、関わって、好きになるイベント	麻生区に関わる行政・市民・企業などの協働により、美化・植栽活動や絵画展などのイベントを実施することで、市制100周年を市民全体で祝う機運を高めるとともに、身近なコミュニティの形成、地域への愛着の醸成を図ります。	年間を通して	麻生区内	・5月25日に新百合ヶ丘駅周辺クリーンアップ大作戦を開催し、過去最大の190名の区民・地元企業従業員等が参加した。11月2日開催予定分については悪天候のため中止となったが、代替イベントについて協議・調整を行っている。 ・6月～8月にかけて麻生区の「推し！」を描く絵画を募集し、133作品の応募作品を新百合ヶ丘駅周辺で展示するとともに、29団体・企業からの協賛により受賞作品を決定し、10月12日のあさお区民まつりプレイベント内で表彰を行った。 ・全国都市緑化かわさきフェアPR用のオブジェを、10月～11月に新百合ヶ丘駅南口ベストランデッキ上に設置し、また川崎市造園建設業協同組合の協力により、花壇2基を9月から区役所前広場に設置した。 ・市内各地の公園で行われるイベントをつなぐ「あさお公園スタンプラリー」を開催した。【対象イベント ※（）内はスタンプ日と参加者】①ひのきやまPARK（10月13日、約120名）、②森展（11月4日、約50名）、③虹のまちにわフェス（11月9日、約30名）、④サトヤマアートサンボin岡上（11月17日、約20名）、⑤緑と道の美術展in黒川（11月24日、約60名）、⑥ひのきやまPARK（11月30日、約50名）、⑦グリーンフレンズフェア（12月15日、約130名）	緑化フェア及び100周年を記念して、地域のさまざまな団体と連携し、区内の地域資源を活かしながら、新たなイベントを実施することで、これまでつながりのなかった新たな団体・市民同士の連携が生まれ、より魅力的な麻生区のまちづくりにつながると考えている。100周年で実施した取組は終了するが、今後の農と環境を活かしたまちづくりなどの取組に活かしていく予定である。

○市制100周年を彩る、地域ごとの特徴ある取組（48事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
069	麻生区役所	企画課	市制100周年記念「芸術・文化魅力発信事業」	市制100周年を盛り上げるため、麻生区の豊富な芸術・文化に関連する地域資源を活用し、さまざまな団体と連携しながら、市制100周年を記念したイベントを開催するなど、地域の魅力を高め、地域への愛着を深めるとともに、更なる芸術・文化のまちづくりの推進を図ります。	10月12日～2月2日	麻生区内	・市制100周年を記念して映像作品「あさお誕生ものがたり」を制作し、10月12日のあさお区民まつりのプレイベントで上映し約250人が参加した。また、同日夜に「しんゆり野外シネマ」で新百合ヶ丘エルロードの壁面にダイジェスト版等を映し、約300人が鑑賞するとともに「しんゆりナイトマルシェ」（30店舗参加）を開催し、更なる芸術・文化のまちづくりの推進を図った。 ・10月13日のあさお区民まつりでは、地域で活躍する音楽団体が出演する「市制100周年記念コンサート」を開催し、約300名が参加した。 ・10月15日～18日に区内の33の飲食店が参加し、食べ歩き・飲み歩きする「あさおバルウォーク」を実施した。 ・11月16日に「kirara@アートしんゆり」の点灯式を実施し、約500名が参加した。100周年を祝うイルミネーションを2月14日まで実施予定である。 ・11月23日にイオンシネマ新百合ヶ丘にて、『「あさお誕生ものがたり」「かわさきーあの日あの時ー」特別上映会』を実施し、345名が参加した。 ・2月1日、2日の「あさおの川崎100周年祭」では、川崎市でロケが行われた『シン・ゴジラ』や、麻生区ゆかりの川北紘一監督にちなみ、ゴジラをテーマに市制100周年をコンサートや上映会などを開催予定である。また年度末に向けて、区内で活動する団体が一体となって、麻生区役所・麻生市民館・新百合トウェンティワンビルの3会場でさまざまなイベントを開催するため、関係団体・企業と調整を行っている。	100周年を契機に、これまで一堂に会することがなかった地域の芸術文化団体や企業、大学と一緒に地域資源を活かしながら、新たなイベントを実施することで、多様な主体がつながる契機となり、芸術・文化のまちづくりの更なる推進につながった。その取組を令和7年度以降も継続して実施することが100周年のレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降も取組を継続・発展させながら進めていく予定である。
070	麻生区役所	地域振興課	麻生音楽祭100周年記念演奏	麻生音楽祭の各日程の中で、100周年を記念し、川崎にゆかりのある曲（市歌、かがやいて麻生等）を各部門（オーケストラ・管弦楽・電子楽器・コーラス等）で演奏します。	6月15日、22日、30日、 7月1日、6日、7日、13日	麻生市民館ホール	6月15日オープニングコンサート、22日スクールコンサート、30日コーラスのついで、7月1日かなでようあさおの響き、6日アンサンブルのついで、7日ファミリーコンサート、13日ボビュラーミュージックショーの全7公演を開催した。それぞれの公演では、川崎市や麻生区にゆかりの曲を演奏したり、MCで市制100周年に触れるなどして盛り上げた。	継続的に事業を実施し、音楽をきっかけに、区民の芸術・文化のまちづくりへの理解と共感を高め、より一層の参加を促進する。
071	麻生区役所	地域振興課	あさお芸術のまちコンサート	年間を通して数回開催するコンサートで、市制100周年記念をPRします。 特に、1月に開催する「新春のハーモニー」では、公募で集まった合唱団と、麻生区にゆかりのある演奏家で構成された室内アンサンブルで、100周年を記念して「かわさきのないろ」を演奏します。	9月8日、11月17日、1月19日、2月1日	麻生市民館ホール、新百合トウェンティワンホールほか	9月のコンサートでは開演前に市制100周年記念映像を放映した。11月のコンサートでは、川崎市にゆかりのある曲を演奏した。1月のコンサートでは、公募で集めた合唱団と麻生区ゆかりの演奏家による合奏団で「かわさきのないろ」を演奏予定である。2月は芸術・文化魅力発信事業内の「あさおの川崎100周年祭」で実施予定である。	継続的に事業を実施し、音楽をきっかけに、区民の芸術・文化のまちづくりへの理解と共感を高め、より一層の参加を促進する。
072	病院局	市立井田病院	井田病院院内コンサートの開催	1階外来待合にて、市制100周年記念院内コンサートを開催します。内容は、川崎にゆかりのあるものにします。	5月29日	市立井田病院	5月29日に東京交響楽団による院内コンサート実施した。当日は、病室からベッドや車いすなどで参加された入院患者さん、たまたま音色を聞きつけて立ち止まられた外来患者さん、患者さんの御家族など、約90名の方がコンサートを楽しんだ。	東京交響楽団メンバーによる巡回コンサートによる院内コンサートを実施し、患者・家族にとって心とむ時間を創出する機会になった。今回実施したイベント内容を検証し、診療・治療中の患者とその家族にとってより良いイベントとなるよう継続して活動していく。
073	教育委員会事務局	文化財課	橋樹官衙遺跡群保存活用事業 歴史公園オープン記念式典	古代の川崎市役所である「橋樹官衙遺跡群」内で整備した歴史公園のオープン記念式典の中で、「雅楽」の実演を通して古代の川崎を体感する機会を設けるなど、次の100年もある史跡となるよう、郷土への関心・愛着の醸成を図ります。	5月18日	橋樹歴史公園	5月18日に、橋樹歴史公園において、100周年記念としてオープン記念式典を開催し、地元町会・町内会や関連団体及び市長、議長、文化庁鑑査官等を招待するとともに、雅楽の上演等も行い、市内外の人々約460人が参加した。	100周年を記念し、地域の方々とともに橋樹官衙遺跡群や周辺の文化財等の歴史的価値や魅力を発信するための新たなイベント等を実施するとともに、新しい技術を用いることで、これまで興味のなかった市民に、郷土を知り、関心をもってもらうことで、川崎への愛着を深めてもらうことができると考えている。100周年として実施した取組は、今後橋樹官衙遺跡群に関連する事業に活かしていく。
074	教育委員会事務局	日本民家園	100周年記念伝統芸能公演	市制100周年を記念し、隔年で実施している通常の「農村歌舞伎」では使わない「回り舞台」を使用した大掛かりな公演を行い、文化財の古民家や伝統芸能など、川崎で100年単位で引き継がれているものの良さを感じてもらうことで、シビックプライドの醸成を図ります。	11月3日	日本民家園	11月3日の民家園まつりで、秋川歌舞伎保存会と連携しながら、100周年記念として通常は使用しない「回り舞台」を用いた農村歌舞伎公演を実施し、民家園まつりには5,035人が来園、農村歌舞伎公演は166人が観覧した。	古来より引き継がれてきた伝統芸能を公演し、後世へつないでいくことがレガシーであると考え。令和7（2025）年度以降は、農村歌舞伎と人形浄瑠璃を隔年で行っていく予定である。
075	教育委員会事務局	日本民家園	日本民家園における桜の植樹	日本民家園において、100周年を契機にソメイヨシノ等を植樹し、多くの人が来園する桜の時期に古民家と共に楽しめる環境を作ること、川崎の魅力を向上し、シビックプライドの醸成を図ります。	3月上旬	日本民家園	3月上旬の植樹に向けて、園内の植樹場所を決定し、周辺の草刈りなどを実施した。	ソメイヨシノ等を植樹し、園内に新たな名所を作ることによって、川崎市の魅力向上に寄与できると考えている。令和7（2025）年度以降は、植樹したソメイヨシノ等の管理を適切に行い、開花の季節には訪れた人に古民家と桜の景色を楽しんでいただける取組を行っていく予定である。
076	教育委員会事務局	青少年科学館	市制100周年企画かわさきの星空100年	100年間の天文現象を川崎市の歴史とともに振り返るプラネタリウム番組を制作し、公開します。	7月	青少年科学館	7月1日から31日までプラネタリウム一般向け投影「かわさきの星空100年」を実施した。川崎市が誕生した大正13（1924）年に遡って星空を再現し、その後の市の発展を画像とともに振り返りつつ、この間に起きたハレー彗星、金環日食などの大きな話題となった天文現象を解説した。	川崎市100年の歴史を天文現象とともに振り返る番組を制作し投影することによって、市民の川崎市への興味関心を深めることができると考えている。令和7（2025）年度以降は、番組を制作するに当たり行った調査研究や、収集した資料、制作した素材等を活用し、更なる調査研究や展示、教育普及事業を行っていく。

○これからの100年を担う若年層への取組（30事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
077	市民文化局	市民スポーツ室	ブレイキンの聖地「Kawasaki」を盛り上げる取組	次の100年に向けて、本市で盛んであるストリートカルチャーなどの若者文化を盛り上げ、「若者が挑戦できるまち」としていくため、ブレイキンの世界大会や国内予選などの誘致や、その開催の支援を行います。	年間を通して	市内各所	ブレイキンの世界大会や国内大会などの誘致については、3月にブレイキンの大学日本一決定戦「KING OF COLLEGE」が川崎ルフロンで開催される予定である。 なお、今年のブレイキンの世界大会（BOTY WORLD）が中止となり、8月に川崎で開催予定であった国内予選（BOTY JAPAN）も中止となった。	ブレイキンについては川崎を拠点として活動する選手のバリ五輪での活躍があり、また100周年と連携した取組を行うことで、更なる機運の盛り上がりが期待されている。国内外のトップレベルの対戦を間近に見る機会を提供することにより、こうした盛り上がりを一過性とすることなく、取組を継続し、定着させ、若者文化の発信に繋げていくことが、レガシーであると考えている。
078	市民文化局	市民スポーツ室	新たな若者文化(ダブルダッチ&シンガルー)のシーンを創出	次の100年に向けて、本市で盛んであるストリートカルチャーなどの若者文化を盛り上げ、「若者が挑戦できるまち」としていくため、ダブルダッチをはじめとするジャンプローブの大会誘致や、その機運醸成に向けた体験会などを実施します。	年間を通して	市内各所	ジャンプローブのアジア選手権大会を、7月24～28日にカルッツかわさきで開催し、アジアの10の国と地域から約740人の選手が出場した。小学校でのダブルダッチの体験会は12月末時点で市内の小学校10校で実施している。	100周年やジャンプローブのアジア選手権、令和7（2025）年度の世界選手権を契機に、機運の盛り上がりが期待されているため、小学校における体験会等、若い世代に競技を体験してもらうことにより、将来の担い手を生み出し、裾野を広げることがレガシーだと考えている。世界選手権が開催される令和7（2025）年度まで、これらの取組を継続する。
079	市民文化局	市民スポーツ室	若者文化を加速させる世界レベルのストリートの祭典	市制100周年を機に、更に川崎の若者文化を発信し活力あるまちとしていくため、世界レベルのストリートの祭典「①International Street Festival KAWASAKI」についてはダブルダッチの大会の国際化及び五輪選手による体験会・トークショーなど、各コンテンツを充実させるとともに、ダンスコンテスト「②LeFRONT杯」は、部門を拡大(新たにソロ部門を創設)して開催します。	①11月23日・24日 ②10月27日	①ラゾーナ川崎周辺及び ラッチタデッラ ②川崎ルフロン周辺	「①International Street Festival KAWASAKI」については、11月23,24日にラゾーナ川崎周辺及びラッチタデッラで開催した。 「②LeFRONT杯」については、10月27日に川崎ルフロンで開催した。	100周年やバリ五輪を契機に、ブレイキンをはじめとするアーバンスポーツの盛り上がりが期待されているため、川崎の若者文化の象徴ともいえる I S F KAWASAKIを拡充し、世界各国の代表が集う国際大会の開催や、それらを通して興味を持った子どもたちがアーバンスポーツを実際に体験できる場の提供などによる裾野の拡大などを通して、若者が挑戦できる・活躍できるまちづくりを進め、国内外に発信していくことがレガシーだと考えており、引き続きこれらの取組を継続する。
080	市民文化局	市民文化振興室	若者文化を加速させるミューラルアート	誰もが気軽に若者文化に触れられる環境を目指し、川崎駅周辺で醸成されてきたアート資源を活かしながら、川崎駅周辺において、東京電力地上用機器にミューラルアートを実施します。	令和6（2024）年度内完成	川崎駅周辺	東京電力地上機器へのミューラルアートに関して、川崎駅周辺10箇所機器について、順次、設置を行っている。 市内の子どもたちとアーティストが共同して制作するワークショップ及び公開制作を8月21日に教育文化会館で開催した。	落書き等により景観を損ねている壁面等に、地域の特色を活かしたミューラルアートを施すことにより、新たな地域資源としての地域への愛着と誇りを醸成するとともに、回遊性の強化など、街全体の賑わいの創出に繋げていく。
081	経済労働局	イノベーション推進部	アントレプレナーシップを育成する次世代産業人材育成プログラム	市制100周年を契機に、次世代産業の人材育成を目的としたプログラムを拡大し、これからの川崎を担う高校生等を対象に、アントレプレナーシップを育む原体験となる講座や、科学技術を活用して社会課題の解決に挑戦するプログラムを、市内企業と連携して実施します。	体験講座：12月21日 実践講座：2月1日、8日、11日、15日、23日	かわさき新産業創造センター他	本事業は、体験講座（半日のみの講座）と実践講座（5日間の連続講座）の2本立てで、12月に体験講座を実施し、市内在住・在学の高校生・大学生11名が参加した。 現在、2月に予定している実践講座について、協力企業との調整を進めているところである。 なお、令和7（2025）年度以降の進め方については、今年度の実施結果を踏まえて判断する予定である。	100周年を契機に、これまで小・中学生を対象としていたアントレプレナーシップ教育プログラムに加え、新たに高校・大学生向けの実践的なプログラムの実施について、市内企業の参画・協力の体制を構築の上、今年度の後半に実施する計画である。令和7（2025）年度以降は、今後の100周年記念事業での市内企業との協力体制等を踏まえつつ、より市内企業の関与度を高めた体制、内容での同趣旨の事業実施に向けた調整を行う予定である。
082	こども未来局	保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当	美味しく郷土の味を知り、歴史と食を学ぶ取組(みんな美味しい！郷土の味)	市内保育施設において、川崎の伝統的な郷土料理のアレンジレシピを考案し、紙芝居などで「食」を楽しみながらまちの歴史を学ぶことで、まちに対する興味・関心を深める機会を提供するとともに、乳幼児の食に関する広報媒体を制作するなど子育て世帯に役立つ情報を広める取組を実施します。	年間を通して	・オンライン（のらぼう菜の種全員プレゼント企画・レシピコンテスト） ・幸区役所（レシピコンテスト審査会場） ・多摩区保育・子育て総合支援センター（オリジナル食育紙芝居完成披露イベント） ・市内保育施設（給食の提供・のらぼう菜の栽培・食育紙芝居） ・公立保育所（かわさきそだちの野菜パズル）	川崎にちなんだ給食献立の提供は年間を通じて行い、かわさきそだちの農作物10種類の紹介と6品の新メニュー作成を実施した。のらぼう菜を普及させるため、8月に希望した市内の児童福祉施設約200施設に栽培キットを配布した。また、広く一般に向けて川崎にちなんだ給食レシピコンテストを12月25日から1月31日まで開催し、受賞レシピは令和7（2025）年度の給食として提供予定である。 さらに、公立保育所職員が作文・作画した川崎の歴史と食を伝える食育紙芝居を希望した市内の保育施設約200施設に2月に配布予定で、食育紙芝居の完成披露イベントは、2月17日に多摩区保育・子育て総合支援センターで実施予定である。昨年度に引き続き、かわさきそだちの農作物を子どもに伝えるため、保育園で遊べる手作りパズルキットの配布も行った。 各保育施設での子どもたちの様子は、3月に実施レポートとしてホームページに掲載予定である。さらに、乳幼児の食に関する広報媒体を制作するため、川崎にちなんだ給食献立等の宣材写真撮影の業務委託を3月に実施予定である。	100周年を記念して考案した川崎にちなんだレシピ（令和5（2023）年度：9品、令和6（2024）年度：6品、コンテスト受賞作6品）は、市内保育所の給食で継続して使用し、長く愛されるレシピとして定着させる。これにより、地域の食文化を次世代に伝える基盤を築く。 また、作成した食育紙芝居は、市内保育施設で未永く使用されることを目指し、今後も保育施設での活用を啓発する。保育施設で紙芝居を読んでもらうことで、地域の歴史と文化に興味を持つきっかけを提供する。 さらに、市内保育施設で実施したこれらの取組をまとめ、未来へ伝えていけるよう、乳幼児の食に関する広報媒体としてホームページを製作する。このホームページは、市内の子育て世帯に役立つ情報を広めるプラットフォームとして機能し、地域全体の子育て支援に貢献する。これらの取組を通じて、川崎の食文化と歴史を次世代に継承していく。
083	こども未来局	保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当	園児向けのポッチャ大会（Colors,Future!ポッチャ！）	バラスポーツであるポッチャについて、子どもを中心とした交流会を開催し、川崎市長杯ポッチャ大会と連携しながら、100周年を契機に誰もが活躍できるという経験やチームで取り組む楽しさ等を知ってもらう機会を創出します。	6月5日～11月19日	公立保育所	公立保育所でポッチャ交流会を開催し、民間保育所の園児と一緒にポッチャを楽しんだ。また川崎市長杯ポッチャ大会（1月18日）には市内民間保育所から1チーム参加した。	公立保育所でポッチャ交流会を通し、年齢や障害に関わらず楽しくスポーツに参加し、地域の人や園児と交流することができた。導入したポッチャは引き続き市内保育所で保育の中で楽しむ。
084	こども未来局	保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当	園児と身近な「100」を探し、まちを知る取組（園児と身近な100探検）	保育園児がまちの中にある身近な“100”にまつわるものを発見したり、まちの歴史や昔の知恵と工夫を学んだりする機会等を提供するとともに、取組内容を事例集にとりまとめて市内に展開するなど、子どもたちのシビックプライドの醸成を図る取組を実施します。	年間を通して	公立保育所等	各園で地域や園の中で身近な100にまつわるものを発見したり、地域を知り、関わることで、交流の機会も広がっている。各地区の特色や事象等を含め、親しんだり関わったりした内容を活動の取りまとめとして作成しホームページに掲載予定である。	保育園児が地域や園の生活の中にある100にまつわる取組を通して、地域を知る、地域と関わる機会となった。、100周年としての取組は終了するが、今後も地域に関心を持ち、地域交流を深める取組に生かしていく予定である。
085	こども未来局	保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当	子育て関連のさまざまな空間におけるみどりつつながりづくり（子育てスペース×bloomimg）	100年先の未来に向けて、地域の中で大人と子どもがともにみどりを育むことで、いつもの身近な場所が「お気に入りの場所」になるよう、令和5（2023）年度の取組を踏まえつつ全国都市緑化かわさきフェアと連携した取組を進めます。	年間を通して	公立保育所 地域子育て支援センター（公立）	・緑化フェアと連携し、緑化フェア時期に合わせ、9月24日～11月29日まで身近な緑や花に親しんでもらえるようスタンプカードの取組みを実施した。カードは5,000枚配布。親子で緑探しのきっかけとなったり、併せて花や野菜の種の配布したことで、家庭や民間保育施設でも緑を育てる機会となっている。（実施施設：公立保育園、公立地域子育て支援センター 対象：地域親子、民間保育施設） ・各園で緑や花を育んだり、園のコンポストで作成した肥料を道路公園センターに提供したりして、緑を介した地域交流を継続して進めている。	市内保育施設・地域子育て支援センター・公園等、地域と共に緑や花に親しむ活動やイベントを通して、地域住民や子育て親子と共に緑の輪を広げ、つながりを深めるきっかけとなっている。100周年としての取組は終了するが、コンポストで作った肥料を公園の緑育成に生かしたり、取れた種を地域配布する等継続予定である。

○これからの100年を担う若年層への取組（30事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
086	こども未来局	保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当	子どもたちが考える未来のかわさをデザイン（未来のかわさをデザイン「こんなまちになったらいいな♪」を実現）	誰もがお互いを尊重できる100年先の未来の実現に向けて、令和5（2023）年度から始めた、子どもたちの「こんなまちになったらいいな」というアイデアをみんなで話し合いを継続し、引き続きその具現化に向けた取組を進めます。	①1月20日～1月27日 ②2月21日～2月26日	①多摩区役所 1 階アトリウム ②高津市民ギャラリー	・日本理化学工業から物品協賛を受け、キットバス等を活用し1年以上かけて未来の街の人々や動物、建物、自然を想像し、色とりどりのワクワクする未来の川崎を表現し、未来の街づくりを実現した。未来の街づくりをテーマとした表現活動には、近隣の民間保育所や地域の親子も誘い、地域で一緒に取り組んだ。 ・こどもがデザインした未来の街は、緑化フェア（秋）で展示したほか、作品展として高津市民ギャラリー等でも企画展示を行う。	園児がかわさきの未来を想像して、キットバス等を使用し様々な素材に自由に表現し、素敵な未来のかわさを思い描くことができた。100周年としてのキットバスとの連携は令和7（2025）年3月で終了するが、今後も保育の中で身近な街の未来を想像して、未来に希望持てることを育てていく。
087	こども未来局	保育・子育て推進部運営支援・人材育成担当	持続可能な社会に向けた廃材を使用しておもちゃ作り	使われなくなった身近にあるものを材料にしたおもちゃ作りなどの体験型のイベントを通して、SDGsやエコロジーへの意識を高め、100 年先の未来のために、環境への意識を高める取組を進めます。	6月3日～9月28日	土橋保育園、生田保育園、白山保育園、藤崎保育園、中丸子保育園、蟹ヶ谷保育園、土淵保育園、地域子育て支援センターつちはし、地域子育て支援センターみなみゆりがおか、地域子育て支援センターおおしま、地域子育て支援センターなかはら、地域子育て支援センターかじがや、地域子育て支援センターふるいちば	6月に公立保育所や地域子育て支援センターで環境局と連携したふれあい出張講座を開催した。園児及び地域の親子が延べ約730名参加した。 また、7月～9月に廃材を使用したおもちゃ作り講座を実施し、地域の親子約110組270名が参加した。	廃材を使ったおもちゃ作りやスケルトンごみ収集車の見学等の取組をきっかけに、未来のために資源を大切にすることを参加した多くの親子に知ってもらうことができた。100周年としての取組は縮小し今後も地域子育て支援センターを中心に地域の親子に向けて資源の大切さを伝えていく。
088	こども未来局	青少年支援室	「うんこドリル」で子どもの権利を学ぶ取組	子どもの権利に関する条例を全国で初めて制定した本市が、令和5（2023）年度に子どもたちを中心としたワークショップ等を通じて作成した子どもの権利に関する教材を活用し、子どもの権利に関するワークショップを開催するなど、次の100年、更に子どもの権利が認知され大切にされることを目指します。	年間を通して	市内各所	うんこドリルの完成に伴うお披露目イベントとして、7月1日によりうりランドで、7月27日にグランツリー武蔵小杉で、7月28日にラゾーナ川崎プラザで、それぞれステージショーを実施し、合計約2,000名の方々に参加いただき、「子どもの権利」の普及・啓発へと繋がった。また、今年度中に市内施設において、うんこドリルを活用したワークショップを実施予定である。	うんこドリルを活用したイベントやワークショップの開催等を行うことで、市民において更に子どもの権利が認知され、大切にされるものと考えている。また、うんこドリルを活用し、市内の保育所等の施設においては職員研修や保護者への配布等も行われ、子どものみでなく大人側においても子どもの権利への理解がさらに進んだものと考えている。今後においても、在庫により対応可能な範囲でドリルを活用した広報啓発を行いたいと考えている。
089	こども未来局	青少年支援室	市制記念日におけるこども文化センター及びわくわくプラザでのイベント等の実施	市制記念日である7月1日に、市内58箇所のこども文化センターと114箇所のわくわくプラザの全館・全室で、普段とは違った子どもたちの記憶に残る100周年を祝うイベント等を実施します。	7月1日	全こども文化センター及びわくわくプラザ	6月1日から7月1日に、100周年を記念したモザイクアートのポスターを作成するために、全こども文化センター・わくわくプラザにおいて、利用者の写真撮影を実施し、1 施設あたり50枚ほどの写真を撮影した。9月にポスターが完成し、各こども文化センターやわくわくプラザで掲示をした。 また、7月1日には、全こども文化センターをオンラインで繋ぎ、こども文化センター対抗ビンゴ大会を実施し、わくわくプラザからの参加者を合わせて、全館合計3,729人が参加した。ビンゴの司会者からの説明や、館内の装飾により、100周年の記念イベントであることを周知した。なお、賞品については、全てのこども文化センターに行き渡る形で実施したところで、こども文化センターごとに欲しい遊び道具等が異なるため、利用者等の意見を聞きながら、遊び道具等の選定を行っている。	100周年を記念して、運営法人全体で新たなイベントを実施することで、これまで合同でイベントを実施することのなかった法人同士のつながりができたと考えている。100周年で実施した取組は終了するが、今後の運営に活かしていく予定である。
090	建設緑政局	総務部企画課	高校生向け道路の役割や歴史を学び、将来像を考える機会の提供	市制100周年を契機として、道路行政や今後のまちづくりへの理解の促進を図るため、次世代を担う高校生を対象に、道路の役割や歴史、本市の取組などを学び、将来像を考える機会を提供します。	年間を通して	市立高校	総合科学高校と連携し、生徒への道路の役割や歴史等についての授業や研究テーマについての意見交換、研究テーマに関する現場視察を実施するなど、生徒の研究支援を行った。今後は、研究成果の発表機会の提供や広報支援を行っていく。	100周年を契機としたこの取組をきっかけに、教育委員会及び高校との関係性を継続していくことが100周年のレガシーであると考えている。1 0 0 周年で実施した取組は終了するが、令和7（2025）年度以降も学校や生徒の希望に応じて研究や活動の支援を行っていく。
091	港湾局	経営企画課 港湾管理課	川崎マリエン・中公園植樹プロジェクト	市制100周年を機に、川崎マリエンと中公園に社会科見学で訪れる市内小学校3年生に海辺の木や花を植えてもらう取組を実施し、市制100周年の記憶を形として残すとともに、川崎マリエンと中公園を花咲く公園として川崎港の魅力を創出します。	5月27日、6月6日、14日、7月3日、4日	川崎区東扇島	5月から7月にかけて市内小学校5校の3年生を対象とした海辺の草木であるハマボウとハマカンゾウの植樹体験を東扇島中公園で実施した。 また、学校名を記載した看板を花壇に設置した。	100周年を機に参加小学生に海辺の木や花を植えてもらうことで、川崎マリエンと中公園が花咲く魅力的な場となることが100周年のレガシーであると考え。今後は、植えてもらった木や花の維持管理を続けるとともに、参加小学生に育成状況等の情報発信を行う予定である。
092	港湾局	誘致振興課	中高生向け港の仕事体験プログラム	次の100年を担う中高生に向け、令和5年（2023）度に作成した港湾の仕事に関するデジタルコンテンツを活用するとともに、港湾物流に携わる企業と連携して仕事体験会を実施し、未来の港湾物流の担い手の確保につながる取組を進めます。	11月20日、12月3日、1月17日	川崎港	10月から1月までの間、川崎の港湾物流に携わる企業と連携・協力して、市内中学2年生向けに仕事体験会を実施した。	100周年を契機に、中学生向け職場体験プログラムを初めて港湾物流に携わる企業と連携・協力して実施することが、未来の港湾物流の担い手の確保につながり、100周年のレガシーになると考えている。令和7（2025）年度以降は高校生を対象として仕事体験の取組を進めていく予定である。

○これからの100年を担う若年層への取組（30事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
093	臨海部国際戦略本部	①キングスカイフロントマネジメントセンター ②事業推進部	市制100周年記念・川崎臨海部の未来を考えるシンポジウム	次の100年に向けて変革を進める川崎臨海部への理解を深める機会を創出するため、①市民公開講座や②市立高校の研究グループによるSDGs等をテーマとした自主研究発表や有識者による講演等を行うシンポジウムを開催します。	①6月2日 ②1月16日	①川崎市コンベンションホール ②カルッツかわさき	①6月2日、川崎市コンベンションホールにおいて、市制100周年及び国立医薬品食品衛生研究所創立150周年を記念して、市民に身近な感染症・食の安全・健康寿命等について分かりやすく伝える合同市民公開講座を開催し、約200人が来場した。 ②1月16日に、カルッツかわさきにて、市制100周年記念シンポジウム～川崎臨海部の未来を考える～を市立高等学校の生徒を対象に開催し、1,552名の生徒が来場した。令和元（2019）年にリチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞された、旭化成株式会社・名誉フェローの吉野彰氏による御講演をいただき、市立高等学校5校の代表グループ（各校1グループ）によるSDGs・環境問題・川崎臨海部・産業等をテーマとした自主研究発表、さらに、吉野彰名誉フェローと各校代表の高校生による意見交換を行った。	①市制100周年及び国立医薬品食品衛生研究所創立150周年を記念して、市民に身近な感染症・食の安全・健康寿命等について分かりやすく伝える合同市民公開講座を開催した。キングスカイフロントで行われているライフサイエンス分野の研究活動等について市民に知ってもらうことで、川崎を好きになる市民を増加することができたと考えている。100周年で実施した取組は終了するが、機会を捉えて引き続き市民認知度向上に向けた取組を実施していく。 ②市立高等学校の自主研究活動（総合的な探究の時間等）は継続するため、既存の行事やイベント等を活用した自主研究成果の発表の場の設定について検討を行う。その際の企業講演などで、今後も臨海部国際戦略本部と教育委員会事務局が連携していく。
094	臨海部国際戦略本部	①キングスカイフロントマネジメントセンター ②事業推進部	施設見学・体験イベント「川崎臨海部OPEN 2 DAYS」	様々な分野で高度な産業が集積する川崎臨海部の企業等と連携し、事業所・研究機関等の施設見学・体験イベントを開催します。 市制100周年を契機として川崎の未来を担う子どもたちが「ものづくりや科学の楽しさ・面白さ」に触れ、「川崎臨海部の今とこれから創り出す未来」を体験する機会を創出します。	①3月26日 ②3月27日	臨海部立地企業等（事業所・工場・研究所）	川崎臨海部全体では、基幹工場等での製造現場や最新鋭設備の見学とあわせて橋やバス・船などエリアの魅力に幅広く接する機会を、キングスカイフロントでは研究所の見学や最先端技術体験などを提供予定である。 ①3月26日（水） キングスカイフロントOPEN DAY ②3月27日（木） 川崎臨海部OPEN DAY	これからの100年を担う子どもたちが「ものづくりや科学の楽しさ・面白さ」に触れたり臨海部の「進化する今とこれから創り出す未来」を体験することで、川崎のまちの礎であり未来でもある川崎臨海部に対する認知度や理解度、期待が高まっていくものとする。
095	病院局	市立川崎病院	川崎病院キッズセミナーの開催	令和元（2019）年まで実施していたキッズセミナーを、市制100周年記念として復活させ、基幹病院として、高度・特殊・急性期医療や救急医療だけでなく、地域において多様な機能・役割を担う医療現場の取組を体験を通じて学んでもらう機会とします。	12月27日	市立川崎病院	12月27日に市内在住の小学生4年生～6年生を対象とした川崎病院の取組・魅力を体験する川崎病院キッズセミナーを実施した。 当日は29名が内視鏡カメラ操作の疑似体験やリハビリテーション体験、屋上ヘリポート見学等を行った。	100周年を契機に、令和元（2019）年まで実施していた、医療現場の取組を体験を通じて学んでもらうキッズセミナーを復活させた。令和7（2025）年度以降も今回実施したイベント内容を検討・再構築し、体験、施設見学を通じて次の100年の医療を担う子どもたちに医療の魅力を伝えていく。
096	教育委員会事務局	教育政策室	学校e～ね★サミット	市制100周年を契機に、全市立学校の子どもたちがブランドメッセージに込められた意義を学び、キャリア在り方生き方教育の視点の一つである「わたしたちのまち川崎」の取組の充実を図ります。自分たちの学校や地域の様々な特色を学校ごとにスライドにまとめ、各学校の取組を全学校で共有し（①）、地域への発信（②）、代表校による発表会の開催（③）などを実施します。取組を通して、子どもたちが様々な「かわさき」を知り、興味をもって関わることで、シビックプライドの醸成を図ります。	①②年間を通して ③10月23日	①②各学校 ③グランツリー武蔵小杉	①各学校が作成したスライドを一覧化した「学校e～ね★サミット交流サイト」を、4月25日からGIGA端末上で公開した。児童生徒は、授業等で交流サイトを閲覧し、他校のスライドを通して、様々な学校の取組等を学んでいる。また、サイトのコメント機能を活用して、感想を送り合っている。 ②各学校でまとめたスライドや、学校間で交流したことをもとに、学習発表会や文化祭など、各学校のそれぞれの方法で地域に発信している。 ③「学校e～ね★サミット全市交流会」を10月23日にグランツリー武蔵小杉で開催し、参加校8校の児童生徒が各学校の取組を発表した後、市長・教育長とともに感想交流を行い、川崎のために何ができるか考える機会とした。	本事業は、「キャリア在り方生き方教育」の視点の一つである「わたしたちのまち川崎」に位置付けて実施するものであり、今後も「キャリア在り方生き方教育」のより一層の充実を図り、児童生徒の持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成を目指していくことがレガシーであると考えている。 令和6（2024）年度は、ブランドメッセージの意味を考える学習や、地域課題の解決に取り組む学習等、児童生徒の社会参画意識の向上やシビックプライドの醸成につながる取組を実施している。 令和7（2025）年度以降は、交流サイトや全市交流会の仕組みを継続し、各学校が、さらに多様な教育活動の中で効果的に実践できるよう、特色ある教育課程のカリキュラム・マネジメントに取り組む。年3回開催しているキャリア在り方生き方教育担当者研修会や、要請研修等で支援していく。
097	教育委員会事務局	地域教育推進課	放課後等の時間を活用した多様な体験・経験ができる環境づくり「カラフル☆タイムプロジェクト」	令和5（2023）年度の取組を踏まえ、放課後等の時間を活用し、子どもの“やりたい”をベースとした体験イベント等をきっかけに、新たな地域人材の発掘及び育成に取り組むとともに、次の100年を担う子どもたちを見守り・支える地域人材があらゆる地域で増えるよう、好事例の横展開を図ります。	年間を通して	富士見中学校区地域教育会議管内の学校ほか	富士見中学校区地域教育会議への取組では、令和5（2023）年度の取組である「野遊びフェス」の協力団体と連携するとともに、形骸化していたこれまでの活動内容の見直しに向けて定例的に話し合いを行い、新たな担い手を迎えた活動方針を決めることができた。 また、7月31日に宮前小学校でワークショップを開催し、約20人の児童が参加し、校庭遊びに関する子どもたちのニーズ把握を行った。あわせて、地域団体に呼びかけ、9月7日に市役所で校庭遊びに関するディスカッションを行い、子どものワークショップの意見とあわせて、イメージイラストを作成した。 さらに、地域の寺子屋事業への取組では、寺子屋を支える地域人材からのヒアリングを行い、新たな人材発掘の弊害となっている課題把握や解決に向けた方向性の検討を行った。	100周年をきっかけに、放課後等の時間を活用し、次の100年を担う子どもたちを見守り・支える地域人材の発掘及び育成をすることが、レガシーになると考えている。 令和7（2025）年度以降は、令和5（2023）、6（2024）年度に得たノウハウを生かして他の地域への横展開などを行うことで、さらに子どもたちを見守り・支える地域人材を増やしていく。
098	教育委員会事務局	健康給食推進室	学校給食を通じたSDGs学習	市制100周年を契機に、なら茶めしや多摩川梨のゼリーなどの川崎にゆかりのある献立を提供するなど、持続可能な社会に向けた地産地消などのSDGsの取組を学ぶ場を提供します。	年間を通して	市立学校	6月26日から28日にかけて、市内産多摩川梨を使った「かわさきそだち」のなしゼリーを小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒に提供するとともに、提供に合わせて、児童生徒は多摩川梨の歴史や栽培の様子、SDGsに関する取組などを紹介した動画を視聴した。	100周年を記念して、学校給食においてSDGsに関わる給食献立を提供し、川崎市の未来を担う児童生徒が持続可能なまちづくりやよりよい川崎の未来づくりなど、SDGsにつながる学びを推進するが、その取組を令和7（2025）年度以降も継続して実施することが100周年のレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降も、取組を継続・発展させながら進めていく予定である。
099	教育委員会事務局	情報・視聴覚センター	市制100周年かわさきGIGAフェスティバル	令和4（2022）年度から開催している「かわさきGIGAフェスティバル」の市制100周年記念大会として、GIGA端末を利用した「検索クイズ」や「タイピングコンテスト」において、児童生徒が100年間を振り返る問題に挑戦するとともに、ICT関連企業の方々からの講演を聴講することにより、未来の川崎市を創る児童生徒を育成します。	①9月7日 ②11月9日	①Google渋谷オフィス ②NEC玉川ルネッサンスシティホール	①児童生徒が、GIGA端末を活用して市の魅力をスライドにまとめ発表したほか、ICT関連企業の方の講演やオフィスツアーを実施した。参加した児童生徒・保護者ともに満足度が高く、継続開催を望む声が多数聞かれた。 ②100周年に関する文書のタイピングコンテストや検索クイズ、ICT関連企業の方からの講演があり、参加した児童生徒の満足度が高かった。中でも「タイピングコンテスト」は、1分間で500文字を入力する等レベルの高いコンテストとなり、児童生徒の情報活用能力の高まりを感じることができ、継続開催を望む声も多く聞かれた。	100周年を契機に、GIGA端末を活用して川崎市の魅力をスライドにまとめたり、川崎市や自分自身の未来について考えたことを継続することが、Society5.0の世界に向けて、川崎市を好きになり、未来に夢や希望をもてる児童生徒を育成することにつながり、レガシーになると考えている。令和7（2025）年度以降も規模を縮小し持続可能な形で継続して取り組んでいく。

○これからの100年を担う若年層への取組（30事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
100	教育委員会事務局	カリキュラムセンター	市制100周年に関連する学習の展開	副読本かわさきに市制100周年記念特集ページを作成し、児童が学習する際に、100年の歴史に目を向け理解を深め、愛着をもてるようにします。	令和6年（2024）度中	各学校内や校外学習先	副読本「かわさき2024」では、「市制100周年をむかえる川崎市」という特集ページを作成し、発行をした。	副読本かわさきに市制100周年を迎えた特集ページを掲載していくことがレガシーであると考えている。児童が川崎に関わる地域教材を通して学習する際に、その特集ページを活用し、これまで以上に川崎への理解を深め、愛着をもてるようにする。
101	教育委員会事務局	指導課	100周年オーケストラ鑑賞・子どもの音楽の祭典	市制100周年を記念して、オーケストラ鑑賞については、引き続き、川崎市歌の演奏を鑑賞するとともに、子どもの音楽の祭典においても川崎市にゆかりの深い曲を演目とすることで、市制100周年を契機として、川崎市への愛着や音楽を中心とした芸術への興味関心を高めることにつなげます。	10月7日、8日、11月27日、1月26日	ミューザ川崎等	10月7日、8日、11月27日にオーケストラ鑑賞を開催した。 1月26日の子どもの音楽の祭典本番に向け、第1部参加者の練習を始めるなど準備・調整を進めている。	100周年を記念して、引き続き川崎市にゆかりの深い曲を鑑賞、演目とすることで、子どもたちが川崎市への愛着や音楽を中心とした芸術への興味関心を高めることにつながっていると考える。令和7年度以降も、取組を継続して実施する予定である。
102	教育委員会事務局	教育政策室	キャリア在り方生き方ノート	市制100周年に関するページを追加した「キャリア在り方生き方ノート」を小学1・3・5年生と中学1年と高校1年に継続配布します。	令和6（2024）年4月以降	各学校	市制100周年に関するページを追加した「キャリア在り方生き方」ノートを市立学校の小学1・3・5年と中学1年・高校1年の児童生徒に、4月に配布した。各学校は、市制100周年に関するページを、実態に応じて活用している。	本事業は、子どもたちの社会的・職業的自立に向け、必要な資質・能力の育成を目指す「キャリア在り方生き方教育」の推進のために全市立学校の児童生徒へ配布しているものであり、今後も、持続可能な社会の創り手としての資質・能力の育成を目指す上で、「自分をつくる」「みんな一緒に生きている」「わたしたちのまち川崎」の3つの視点を通して取り組む「キャリア在り方生き方教育」の一層の充実がレガシーであると考えてる。令和7（2025）年度以降も、川崎市のブランドメッセージ等の考え方を踏まえ、ノートの作成、配布を継続する。
103	教育委員会事務局	指導課	各学校図書館に100周年記念本コーナーを設置する	各学校に市制100周年を記念した図書コーナーを設置し、川崎市への愛着や興味関心を高めることにつなげます。	令和6（2024）年度中	各学校図書館	全校の学校図書館で、設置が完了している。	100周年を記念して、川崎市の歴史や地域に関連する図書コーナーを設けたことで、子どもたちが川崎市への愛着や興味関心を高めることにつながっていると考える。令和7（2025）年度以降も、取組を継続して実施する予定である。
104	教育委員会事務局	教育政策室	文詩集かわさき	市制100周年記念号として、小学校国語研究会と連携し「文詩集かわさき」を発行します。	令和6（2024）年4月以降	各学校	本年度中に発行する「文詩集かわさき」の作成に向けて、4月26日の担当者会にて周知した。各小学校から10月に原稿集約し、12月末に原稿の選定を終了した。今後は1月末に配布を予定している。	本事業は、川崎市の小学校に通う子どもたちの表現の場として、また、楽しい読み物として、学習教材として多くの子どもたちに愛されており、「このまち 大すき」という課題作文を通して、今後もシビックプライドの醸成やキャリア在り方生き方教育の推進につなげていくことがレガシーであると考えてる。令和6（2024）年度は、市制100周年という節目であることを改めて各校に周知することで、より良い作品が生まれることを目指しているが、令和7（2025）年度も引き続き「このまち 大すき」をテーマに文集の作品を募集、作成する予定である。
105	選挙管理委員会事務局	選挙課	おもしろ選挙体験【教育×選挙】でのPR	教育文化会館で活動する学生主体のボランティア団体と協力し、児童を対象にした、面白く・わかりやすい架空選挙を実施し、選挙への興味関心等を高めることを目的とする事業です。台本等に100周年に関する事項を含ませ、市制100周年を迎えることをPRします。	8月16日	教育文化会館	募集時にはチラシに100周年ロゴを掲載して周知するとともに、当日は「究極の選択！夏VS冬！？」をテーマに仮想の選挙を実施し、教材に100周年ロゴ等を掲載するとともに、川崎市が市制100周年を迎えたことをシナリオにも含めることで、参加者に対してPRした。	100周年に関係する事項を含ませたテーマで児童が選挙体験することは、これからの未来を作る児童達にとって、政治や選挙を次世代の主権者の一員として考える、きっかけ作りになると考えている。主権者教育については、ますます重要になってくることから、令和7年度以降も本事業を継続・発展させながら進めていく予定である。
106	議会局	広報・報道担当	市制100周年記念デジタル副読本「私たちの川崎市議会」	市制100周年を機に、「あたらしい川崎」を担う子どもたちに自分の住むまちの市議会の仕組みや活動内容について詳しく、楽しく知ってもらい、まちづくりに参画するきっかけとなるよう、中学生を対象としたデジタル副読本を制作し、GIGA端末上で活用いただくとともに、市ホームページで公開します。	10月8日	インターネット上	市制100周年を機に、市議会の仕組みや活動内容について詳しく・楽しく知っていただけるよう写真やイラストを多く使用した中学3年生を推奨学年とするデジタル副読本を制作し、市議会ホームページ及びGIGA端末のブックマーク「副読本ポータルサイト」で公開した。デジタル副読本の内容は、学習の場で利用いただけるよう憲法、地方自治法等に基づいて制作するとともに、普段見ることができない議場や委員会室を豊富な写真や動画をを用いながら紹介している。	子どもたちも先生も使いやすい教材として、令和7（2025）年度以降も市議会への理解や関心を高められるコンテンツとして機能するよう、取組を継続・発展させていく。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組（51事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
107	総務企画局	シティプロモーション推進室	画像のオープンデータ公開	市制100周年を契機として、川崎を知ってさらに好きになってもらうため、川崎の魅力的な写真をオープンデータとしてインターネット上（かわさき魅力ギャラリー）で公開します。ギャラリーには、川崎の自然やまちの風景など1,500枚の写真を公開します。見て楽しいサイトであるとともに、公開する写真はクレジットを表示することで、チラシやホームページ、冊子などで、誰でも使用することができるようになります。	6月4日公開	インターネット上	6月4日に「かわさき魅力ギャラリー」として1,500枚の写真をオープンデータで公開した。公開後は、市内のフォトコンテストと連携した入賞作品のオープンデータ化や市制100周年記念事業の写真をオープンデータ化できるよう、各所管課と協議・調整を行っている。	市内のフォトコンテストと連携した入賞作品のオープンデータ化や市制100周年記念事業の写真をオープンデータ化していくことで、市民参加とサイトの充実化に繋がると考えている。令和7（2025）年度以降も、公開する写真を継続して追加することで、使用できる写真の幅を広め、使用者の利便性を高めるとともに、職員が資料作成で写真を使用する場合の手間を軽減し、業務の効率化に繋げていく。また、写真の種類が豊富になることで、サイトをギャラリーのように見て楽しむ要素が高まるため、川崎をあらためて知って、さらに好きになってもらえる機会を提供できるサイトの運営を継続していくことは、100周年のレガシーであると考えている。
108	総務企画局	公文書館	市制 100 周年を契機とした新しいカタチの川崎市史の制作	市制100周年を契機に、川崎市を「知って、関わって、好きになって」もらうことを目指し、親しみやすく、手に取りやすい「新しいカタチの川崎市史（記念市史）」を3年間かけて制作します。 記念市史を通して、市民に本市の歴史や文化を知ってもらい、制作プロセスにかかわってもらうほか、次世代につなげていきます。 掲載テーマ（目次）や、書名（書籍のタイトル）、表紙等について、市民が集まるイベントなど市内各地でアンケートやワークショップを実施します。また、さまざまな経験・知見をもつ方を委員とした編集懇談会を開催し、掲載テーマの選定や、構成、内容等に対しアドバイスや意見をいただきながら制作していきます。 その他、記念市史が出来上がっていく様子や制作過程を順を追って、ホームページやSNS等を活用して情報発信を行っていきます。	令和6（2024）年度～令和8（2026）年度末	市内各所	記念市史の制作にあたり、市民に制作プロセスに関わってもらう機会を設け、アイデアや意見を反映させていく。 【令和6（2024）年度の進捗状況】は次のとおり。 ①アンケート Colors,Futures Summit2024、みんなの川崎祭、緑化フェアの3会場で、11月2日、3日、9日、10日、16日、17日の合計6日間にわたり、掲載テーマ（目次）について2種類のアンケートを実施したところ、合計で3,000件を上回る回答があった。 ②ワークショップ 川崎市内の南部・中部・北部の各会場で、1月25日、2月1日、8日の3日間・全3回で、市民参加型ワークショップを実施し、タイトルや掲載テーマについてアイデアや意見を募った。 ③編集懇談会 会場は総合自治会館内の会議室で、10月31日と12月26日に、記念市史を届けたい対象、届ける手法（媒体）、掲載テーマ等を議題として、出席した委員からアドバイスや意見を募った。	記念市史は、令和6（2024）年度から制作を開始し3年間をかけ令和8年度末に完成・公表する予定である。 本市の歴史や文化をこれからの100年を担う次世代に向けて発信を行っていく。また、10年後に再び読んでもらえるよう取り組んでいく。
109	財政局	税制課	税務広報ポスター等での市制100周年記念のPR	令和5（2023）年度と同様の税務広報ポスターによるPRに加え、納税通知書等の送付用封筒に市制100周年記念のロゴマークを印字し、市制100周年記念をPRします。	7月、10月	南武線・市バス車内や市施設等	・税務広報ポスターにおいて、100周年記念PRを実施した。（7月・10月分） ・市制100周年記念のロゴマークを印字した送付用封筒を使用して、納税通知書等を送出した。（4月以降随時）	市制100周年記念及び緑化フェアのPRを通じて、ブランドメッセージを広く浸透させた。
110	財政局	資金課	市制100周年記念及び緑化フェアにおける各局事業の財源調達ツールとしての提供によるPR	関東・中部・東北自治宝くじの図柄及びふるさと納税制度（返礼品、ガバメントクラウドファンディング）について、前年度の取組状況を踏まえた取組を実施し、各事業のPRにつなげます。	①宝くじ発売期間9月25日～10月15日 ②宝くじ抽選会（TV放送）10月18日	① 34自治体（1道・22県・11指定都市）の宝くじ売場 ②テレビ神奈川	市制100周年記念及び緑化フェアに関連付けた図柄の関東・中部・東北自治宝くじを発売し、テレビ、SNS、市HP等でPRを行った。 ふるさと納税制度（返礼品、ガバメントクラウドファンディング）を市制100周年記念及び緑化フェアにおける各局事業での財源調達ツールとして提供している。なお、緑化フェア及び市制記念花火大会におけるクラウドファンディングを実施した。	関東・中部・東北自治宝くじについて、市制100周年記念や緑化フェアに関連付けた図柄の宝くじを販売してPRするとともに、当該収益金を福祉、芸術、環境等に活用する。 ふるさと納税について、レガシーは本市出身の方や本市の施策に賛同くださる方の想いをふるさと納税にのせ本市を応援してもらうことである。返礼品やクラウドファンディングを通じて、寄附者に川崎らしさを体感・再発見してもらうとともに、寄附金は福祉や芸術・文化、環境をはじめさまざまな分野に活用する。
111	市民文化局	市民文化振興室	アートを介したコミュニティ形成事業～アートでつながるまち～	東京藝術大学と連携し、公募で集まったアートコミュニケータに必要なノウハウを習得するための講座や実践を交えながら、地域の社会的課題の解決を目指して様々な活動を行います。 また、川崎市のこれからの100年を見据え、社会的課題の解決を目指し、アートを介したコミュニティ形成に係るオープンレクチャーやフォーラム等を100周年記念事業として開催します。	令和6（2024）年度中	川崎市内	昨年度、選考したアートコミュニケータ「ことうら」40名にて、4月から始動した。基礎講座を4月から6月まで隔週で実施し全6回開催した。7月以降、選択制の講義3コースを各6回程度、実践的な活動を行う実践講座を実施した。また、自主的に企画を立てる「ことうラボ」も7月以降活動を開始した。また、令和7（2025）年度から活動する「ことうら」の募集に際して、12月15日にオープンレクチャーを開催し、1月11日フォーラムを開催した。	100周年を迎える令和6年（2024）度から本格始動したアートコミュニティ形成プロジェクト「こと！こと？かわさき」は、誰もが文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向け、市内の文化芸術資源等をフィールドに、アートコミュニケータ「ことうら」による活動や、一般市民を対象としたオープンレクチャーやフォーラム等の取組を進めていく。
112	市民文化局	パラムーブメント推進担当	川崎市×富士通 DE&I 連携事業	市民ワークショップで出されたアイデアを基に制作されたプロトタイプを市制100周年記念事業など注目される場所で、多くの市民に体験してもらいます。	11月2日、3日 1月11日～16日	ラゾーナ川崎ルーファ広場、市役所本庁舎展望スペース	令和5（2023）年8月に行った市民ワークショップで出されたアイデアを基に、「未来の川崎」をモニター等に表示させるムービングプロトタイプを制作した。 完成したプロトタイプは、市制100周年記念事業などの場において、多くの市民に見ていただき、対話のきっかけとなった。	100周年を記念して、地域の方々とともに川崎市のウェルビーイングの未来に向けた新たな可能性を考えるワークショップを実施し、その際に出たアイデアを“ムービングプロトタイプ”という形で具現化した。完成したプロトタイプを展示し、実際に体感していただくことで、多くの市民にその体験から生まれるDE&Iへの問いを通して市民の行動変容を促し、共生社会実現を目指すムーブメントの1つにできると考えている。100周年記念事業として実施した取組は終了するが、今後のかわさきパラムーブメントが取り組む共生社会づくりの取組に活かしていく予定である。
113	市民文化局	市民文化振興室	川崎市藤子・F・ミュージアム市民招待デー	市民2,400人の特別招待とし、事前申込を行い当選した方を招待します。	7月1日	藤子・F・不二雄ミュージアム	7月1日の市制記念日に、事前申込で当選した市民を川崎市藤子・F・不二雄ミュージアムに無料招待する『市民招待デー』を実施し、当日は1,533人が来場した。	今後も市を代表する文化施設として、川崎市にゆかりのある藤子・F・不二雄氏の作品の展示等を通じ、市民に文化芸術に触れてもらう機会を提供していく。また、国内外からも多くの来館者が見込まれることから、本市の魅力発信施設としての取組を推進していく。
114	市民文化局	川崎市市民ミュージアム	市制100周年記念展	市制100周年を契機に文化芸術をより一層身近に感じていただくため、川崎ゆかりのアーティストによる企画展や、まちなかにおける展示、川崎の歴史を掘り下げる企画展などを実施します。	年間を通して	アートガーデンかわさき、川崎駅周辺の街頭、東海道かわさき宿交流館等	川崎市ゆかりの芸術家による企画展「川崎市市制100周年記念展 曽谷朝絵 Colorings」について、川崎市アートガーデンで8月3日～8月16日を会期として開催し、1,297人が来場した。 また、川崎の100年のあゆみを回顧する企画展「爆誕!! かわさき100年物語」については、前期を東海道かわさき宿交流館で10月11日～12月13日に開催し、現在後期を大山街道ふるさと館にて11月30日～2月24日までを会期とし、開催中である。	100周年を記念して、川崎市ゆかりの作家による企画展を実施するとともに、川崎駅を鮮やかに彩ることで、機運の醸成や川崎市民の記憶に残すことができると考えている。また、かわさき100年物語と題した企画展では、昔の街並みの写真をデジタルアーカイブにすることで、記録にも繋がる。100周年で実施した取組は終了するが、デジタルアーカイブを活かした取組を実施していく予定である。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組（51事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
115	市民文化局	協働・連携推進課	100人100通りのほっこりポスター	市制100周年を契機として、市内全体のムードをより「つながり志向」「支えあい志向」に変えていくため、つながりや支えあいの大切さを感じられる100人100通りのポスターを作成し、さまざまな場所への掲出及びSNS等での広報を展開します。	年間を通して	市内各所	対象者の60名を決定し、取材・撮影を行い、すべてのポスターが完成した。12月8日に実施した「まちのひろばフェス」では、完成した100枚のポスターを市役所本庁舎に一斉展示した。また、ポスター登場者に関係のある場所や市内公共施設等への掲出及び特設ページやSNS上で公開した。	100人100通りのポスターの作成・掲出の取組を行うことで、つながりや支えあいの大切さに共感する市民を増加させることができると考えている。100周年記念で実施した取組は終了するが、共感により生まれた類似事例へのサポートを継続するとともに、SNS等を活用して地域の素敵な活動の見える化を進めていく予定である。
116	市民文化局	平和館	川崎大空襲や戦時下のモノクロ写真のカラー化	川崎市制100周年を記念し、川崎の過去・現在・未来の平和を考える機会とするため、川崎大空襲や戦時下の生活を写したモノクロ写真をカラー化し、平和館における「川崎大空襲記録展」に展示するなど、次の100年の恒久平和に資する戦争の記憶を継承する取組を実施します。	令和7（2025）年3月～5月	平和館	カラー化するモノクロ写真を選定し、体験者にヒアリングを行っている。カラー化写真については、2月中に完成し、3月上旬に開催予定の「川崎大空襲記録展」で展示する。	川崎市制100周年を記念し、カラー化した写真は、戦争の記憶を継承する貴重な資料として管理・運用していく。令和7（2025）年度以降も巡回平和展や市のイベントなどで展示し活用していく予定である。
117	市民文化局	戸籍住民サービス課	市制100周年記念事業ロゴ入り改ざん防止用紙による証明書交付	改ざん防止用紙に市制100周年記念のロゴマークを印字し、市制100周年記念をPRします。	9月11日～3月31日	区役所、支所、出張所、行政サービスコーナー、市税事務所	市制100周年記念事業ロゴ入り改ざん防止用紙による証明書交付を9月11日から実施している。	市民等が利用する証明書を通じて、市制100周年を多くの市民等知ってもらうことができた。今回の取組は令和6（2024）年度末で終了する。
118	経済労働局	観光・地域活力推進部	サステナブルコンテンツ造成事業	100周年記念事業及び全国都市緑化フェアの各種取組と連動し、事業を通し「環境」「文化」「経済」の観点で、持続可能かつ発展性のある産業の一つとしての観光を目指します。本事業では観光に初となるサステナブルな視点を取り入れコンテンツ(ツアー)を造成し、収益を確保すると共に、将来的には旅行会社等がコンテンツの造成・運営することの実現可能性を検証します。	9月～3月	市内の緑地や観光施設、臨海部など	・企業の環境技術を見せる工場夜景や緑化フェアの会場を組み入れたツアーなど、18本のコンテンツを企画し、9月から12月にかけて9本のコンテンツを実施、1月から3月まで4本のコンテンツを実施予定である。 ・神奈川新聞や市政だより、観光協会HP等で適宜広報した。	サステナブルをテーマとした実証事業を通して、次年度以降は民間主導による国内向けのツアー販売に繋げるほか、インバウンド向けコンテンツとしても商品化を検討していく。
119	経済労働局	イノベーション推進部	高齢者や障害者、福祉現場のスタッフや企業が共につくる福祉製品の開発	社会的バリアの解消に向けた意識の共有をめざすため、市制100周年を契機に福祉現場の課題・ニーズから収集したアイデアをもとに、福祉施設職員や有識者と連携しながら、高齢者や障害者が求める福祉製品の開発の促進に取り組みます。	年間を通して	ウェルテック他	本事業の公募を5月14日から6月28日まで実施したところ、8件の応募があり、その中から知的・精神・発達障害者が情報を発信・取得する際の特性を把握するアプリ(仮)情報保障アプリ」の開発を選定した。開発に並行し「共創」の取組として専門職へのヒアリング等による伴走支援を実施し、12月24日に障害者を雇用する企業や専門職等を対象にした中間報告会を行い、アプリの開発状況の報告と、アプリ操作対象の障害者も交えてのデモンストレーション体験を実施した。ヒアリングした意見等は今後の開発に反映させる予定である。2月末までに成果品を完成させ、3月4日のウェルフェアイノベーションフォーラムで成果発表を予定している。	市制100周年を契機に、当事者（高齢者・障害者・福祉施設職員等）・専門家・開発企業等の様々な関係者が参加して「共創」する新たな福祉製品の開発に取り組んだ。その取組により新たな福祉製品が開発されたことに加え、その過程で得られた新たなつながりや各開発工程での知見等を活かし、令和7（2025）年度以降も継続して「共創」による取組を進めることがレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降についても、市制100周年事業で開発した製品の販促支援や「共創」による取組を継続・発展させながら進めていく予定である。
120	経済労働局	労働雇用部	「かわさきマイスター」による市制100周年を記念した特別な製品・作品の制作	市内最高峰の匠である「かわさきマイスター」などの高度な技術を活かしながら、市制100周年に相応しいテーマで製品を作成し、技術の継承や後継者の育成につなげます。	1月完成予定	川崎市内	6月26日にプロポーザルによる事業者選定を実施し、受託事業者を決定した。12月開催の市民祭りで「かわさきマイスター」のコラボレーションにより完成したスツールとヒーリングの2つの製品をプレ展示した。12月25日に制作マイスターによる市長表敬を行い実施報告を行った。2月1日から、スツール、ヒーリング、スイーツ、クロックの完成した4つの記念品すべてを、本庁舎1階で期間展示予定である。	市内の優れた技術・技能を市内外へアピールするとともに、次世代に継承させるため、製品をイベント等での展示や市民がふれあえる場への設置等を行うとともに、製作したマイスターとしても、海外展開（越境EC等）やふるさと納税等の返礼品等として活用できるものとし、市もその販路開拓等の支援を行っていく。
121	経済労働局	農業技術支援センター	SDGs栽培体験	市民と連携した栽培体験（①）や農機展示（②）等を通じて、「のらぼう菜」などの古くから伝わる郷土野菜を次世代に継承するとともに、持続可能な農業を学び、SDGsへの理解向上を図る取組を進めます。	①年間を通して ②年間を通して	①市内各所 ②農業技術支援センター	①のらぼう菜については、公立保育所24か所に9月以降、種・苗を配布している。また、民間保育所約100か所に、種を配布している。10月下旬に久末小で栽培体験を実施（150株）するとともに老人福祉施設1個所で栽培体験を実施中である。岩ちゃん豆については、生産者3名が栽培を復活し、11月の南部市場市場祭りで販売している。 ②農業技術支援センターに来所する生産者を対象に、器具の特徴や操作方法について、適宜デモンストレーションを実施中である。（12月末現在延べ30名）	地域の方々に栽培体験をしていただくことにより、郷土野菜への理解を深めてもらうことができると考えている。また、最新型の電動農機具を生産者に紹介することにより、環境への負荷を軽減し、作業効率のアップも見込めると考えている。100周年で実施した取組は終了するが、今後も郷土野菜の普及及び電動農機具の紹介等を進めていく予定である。
122	環境局	廃棄物政策担当	市制100周年記念事業や全国都市緑化かわさきフェアと連携したプラスチック循環	市制100周年を契機とした市民・事業者のプラスチック循環ムーブメントを創出するため、市内で回収したプラスチックを100周年や緑化フェアを記念した製品にするなどの取組を実施します。	年間を通して	市内各所	・リサイクル素材を使った市オリジナルのリサイクルペットボトル飲料やサコッシュ等を作製し、市制100周年事業や緑化フェア等で活用した。 ・市のプラスチック循環の取組を紹介するSNSマンガを作成し、マンガ家のSNSへ投稿するとともに市HPやGIGA端末へ掲載した。 ・デザイン事務所と連携してリサイクルモニュメントを制作し、みんなの川崎祭で展示した。	今後も引き続き、あらゆる主体と連携して、廃プラスチックの拠点回収や水平リサイクルなどのプラスチック資源循環の取組を進めるとともに、市制100周年事業で作成したSNSマンガ等のコンテンツを市のデジタルサイネージに掲載するなど、プラスチック資源一括回収の普及啓発にも活用して、プラスチックのリサイクル行動がもっと身近に当たり前のことになるよう行動変容を促す。
123	環境局	環境総合研究所	川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展	川崎の環境に対する市民の誇り（環境ンビックプライド）を育み、脱炭素社会のさらなる実現に向けたきっかけづくりとしていくため、これまでの環境関連の記録写真等を取りまとめてデジタルアーカイブ化する（①）とともに、川崎の発展と環境の歴史を振り返り、未来を考える企画展やワークショップを開催（②）します。	①11月20日公開 ②【会期1】7月27日～8月25日 【会期2】10月19日～11月17日 【会期3】12月6日～18日 【会期4】3月22日～4月13日	①インターネット上 ②市内各所	・①川崎市の発展や、市民・事業者・行政が協働で改善してきた環境の歴史を振り返り、市民の環境ンビックプライドの醸成を図るとともに、脱炭素社会の実現に向けた市民の行動変容を持続的に促すことを目的とし、デジタルアーカイブを構築し、11月20日からウェブサイト上で公開を開始した。今後、年度末に向けてさらに収録写真等を増やしていく予定である。 ・②「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」について、収集した資料を活用してパネルや体験型展示等の展示物を作成し、キャラバン形式の企画展示を市内4会場のうち、3会場で実施した。 また、企画展の開催に併せ、8月6日に展示会場内で、大気・水環境に関する小学生向けのワークショップを開催した。	①令和7（2025）年度以降、市民・事業者からも記録写真等を募集し、適宜様々なコンテンツを追加・拡充させていく。また、環境学習用教材としても活用できるものとし、教育現場で継続的に活用されるコンテンツとする。 ②令和6（2024）年度に制作したパネルやアクション展示等の展示物をweb上で体験できるようデジタル化することで、令和7（2025）年度以降はいつでも・どこでも閲覧・体験することができるなど、事業の更なる発展を目指す。また、GIGA端末からも利用でき、環境教育現場において活用できるものとなるよう、①のデジタルアーカイブと一体的にwebサイトを構築する。なお、令和6（2024）年度に制作した展示物は企画展示終了後、多くの小学生が社会科見学で訪れる処理センターに設置することなどにより、有効活用する。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組（51事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
124	環境局	企画課	生物多様性への意識を醸成する、アプリで生き物探し	手軽に生き物の写真を投稿できるスマホアプリを活用し、市民投稿を募集する取組を全国都市緑化かわさきフェアの開催と連携しながら実施するなど、身近な自然に目を向け、「生物多様性」や「みどり」の大切さを実感してもらう機会を創出します。	10月1日～11月30日 3月1日～4月30日 （全国都市緑化かわさきフェア開催期間を含む。）	市内各所	・全国都市緑化かわさきフェアの開催に合わせ、スマートフォンアプリ「バイオーム（Biome）」を用いて、身近な生き物写真の投稿を募集した。期間中は、市内投稿でアプリ上のボーナスポイントがもらえる「特別クエスト」を実施し、6,000件を超える写真投稿があった。 ・「全国都市緑化かわさきフェア」・「カワスイ 川崎水族館」と連携し、かわさきフェア開催中にコア会場のいずれかで1回以上投稿すると、「カワスイ 川崎水族館」に30%OFFで入館できる特別企画を実施した。 ・春の開催に向けて、広報の更なる充実を図る予定である。	アプリを使った生き物探し（自然環境に対する行動変容の仕組み）をレガシーとして残し、市民の生き物への理解を定着・発展させる。なお、記念事業ではアプリ画面の提示によりカワスイの入館料を割引する連携を行うが、商店街等の様々な連携・相乗効果の可能性を探るなど、発展させながら取り組む。 また、市民が撮った様々な季節の生き物写真を活用できることから、「（仮称）みんなでつくれた100周年生き物図鑑」を作成し、小学校等を中心に展開する予定。開発が進む中でも、市内には今も様々な生き物が暮らしているという事実に気づき、みどりの大切さを改めて考えてもらうことがねらいであり、市を好きになることに直接的につながるものと考えており、そのような効果的なレガシーを目指す。
125	環境局	減量推進課	3Rポスターコンクールによる市制100周年の機運醸成	これからの100年を担う子どもたちを対象に「3R等のポスターコンクール」を実施し、入賞作品をイベントや公共施設等で展示するなど、ポスターを活用した広報を実施します。	年間を通して	市内各所	・作品募集チラシを作成し、夏休み前に各小学校・特別支援学校（小学部）に全校生徒分を配布した。 ・ポスターコンクールについては、9月13日までを応募期間とし、423作品の応募があり、子どもたちによる投票（総数9,950票）により、低学年・中学年・高学年で入賞作品が選ばれ、11月7日に川崎市環境功労者表彰式と併せて入賞者の表彰式を実施した。 ・これまで、カルッツかわさきや第3庁舎、中原図書館で入賞作品の巡回展示を行っており、今後、年度末にかけて、かわさきエコ暮らし未来館と王禅寺エコ暮らし環境館でも展示を行う予定である。	100周年を契機に、これからの担うこともたちにごみの減量化・資源化やまち美化について作品制作や入賞作品の選定を通して考えてもらえた。入賞作品を活用して、「かわるん着ぐるみ」の100周年記念衣装や市公式3Rポスターを作製するとともに、デジタル化した入賞作品を市HPや社会科副読本に掲載して、市民への普及啓発活動に活かしていく。
126	健康福祉局	保健医療政策部健康事業担当	ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」を活用した、川崎を好きになるイベント	ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」の機能を活用し、市の魅力ある資源である店舗等の利用に関するスタンプラリーを実施することで、川崎の魅力発見と健康づくりを進めます。	10月15日～3月2日	市内各所	「#かわさき推しメシ / かわさきAKINAI AWARD」とのコラボレーション特別イベントとして、市内の飲食店100店舗を巡る「#かわさき推しメシスタンプラリー」を10月15日から1月31日まで実施中である。スタンプラリー終了後に多くスタンプを集めた上位100名に「#かわさき推しメシ / かわさきAKINAI AWARD」の最終審査に残った6店舗で使えるお食事券を贈る予定である。 ※昨年度迄はKAWASAKI HOT 100という仮称であった。	市民の健康意識を高め、さらにその運動の成果をウォーキングアプリにより子ども達の学校生活に還元し、健康と優しさが循環する「健康循環社会」の構築を推進する。
127	健康福祉局	地域包括ケア推進室	人生100年時代に備える地ケアフェア	地域包括ケアシステム連絡協議会に参画する100を超える企業・団体と連携し、福祉サービスの展示や体験会など、地域包括ケアシステム構築に向けた取組を市民が共有できる機会を提供し、人生100年時代に向けて、誰もが安心して暮らし続けることができる社会の実現に向けた機運の醸成等を更に後押しします。	12月8日	市役所本庁舎	12月8日に市役所本庁舎にて、市民文化局主催の「まちのひろばフェス」と合同で開催し、約1,000人が来場した。 在宅医療や多職種連携等をテーマとした講演のほか、地域包括ケアシステム連絡協議会に参画している企業・団体に出展いただき、健康チェックや相談、体験ができるブースを設置した。 また、「まちのひろばフェス」との連携企画として、ほっこりポスターに登場する方々をパネリストに迎え、地域のつながりや支え合いを考えるパネルディスカッションを行った。	これまで、市民向けの啓発事業として講演を主とした「市民シンポジウム」を開催してきたが、今後、「人生100年時代に備える地ケアフェア」として講演を含めた形で開催することで、より広い世代、また多くの方に気軽に参加いただける啓発イベントとして発展させることが可能となり、地域包括ケアシステムの構築に向けた意識づくりに資するだけでなく、多様な主体のつながりの場にもなると考えている。 令和7（2025）年度以降も取組を継続・発展させながら進めていく予定である。
128	健康福祉局	生活衛生担当	「100年続く人と動物のきずなプロジェクト」	100周年を契機に、動物愛護の精神やボランティア等の取組を、「100」をキーワードにしながら市民が知り・体験する機会を提供し、人と動物の共生する社会の実現に向けた取組を進めます。	年間を通して	市内各所	人と動物が共生する社会の更なる実現に向け、4つのプロジェクトを実施した。 『Ⅰともに楽しむ』では、10月27日に、とどろきアリーナで「動物愛護フェアかわさき2024」を開催し、約6,300人が来場した。 『Ⅱともに学ぶ』では、通年で、「いのち・MIRAI教室」を開催し、児童へいのちの大切さを伝えるとともに、11月29日には、初の試みとして、官民連携でペットの長寿・防災・健康をテーマとした「動物愛護シンポジウム」を開催した。 『Ⅲともに伝える』では、4月1日から9月30日の期間で、ペットとのきずなや思い出にまつわる100のエピソードを募集し、100を超える投稿があった。年度内に、投稿内容を冊子化し、発行する予定である。 『Ⅳともに歩む』では、5月15日から10月31日の期間で、愛犬との散歩写真と散歩時間を募集し、歩数換算で100万歩を目指す企画を実施し、目標を大きく上回る28万8500歩を達成した。	人と動物の共生する社会の実現に向け、引き続きボランティア協働のもと動物愛護フェアや動物愛護センターが実施するいのち・MIRAI教室等を開催し、市民へ動物愛護精神の醸成及び浸透を推進する。
129	まちづくり局	施設計画課	多様な主体の連携による公共建築の魅力発信	市制100周年を契機に、建築に関わる団体・学生・行政等が丸となり公共建築への親しみや愛着を育むイベント等を実施し、建築業界の活性化を図ることで、これからの100年を創造する新たな担い手を発掘し、公共建築の持続的な発展を目指します。	10月19日～12月8日	市役所本庁舎ほか	・区役所など市内公共建築13施設を対象としたスタンプラリーを10月19日から12月8日まで実施した。 ・10月20日中原区民祭で明治大学学生団体と体験型イベントを実施し、同時にスタンプラリーの周知を行った。 ・10月27日、11月9日小学生およびその保護者を対象にバスツアーを行い、市役所本庁舎、とどろきスタジアムを案内した。 ・11月30日に明治大学学生団体とまち歩きイベントを実施した。	建築に関わる業界団体・大学生・行政等、産官学が連携・一丸となり、公共建築への親しみや愛着を育むイベント等を実施する。本事業で公共建築の魅力を伝え、知ってもらい、感動や驚きを体感することを契機に、建築業界の活性化やこれからの100年を創造する新たな次世代への担い手発掘など、公共建築を取り巻く世界の持続的な発展につなげていきたいと考えている。そのため、令和7（2025）年度以降においても、産・官・学の連携を維持し、連携を図りながら、今後は世代間交流も取り入れるなど、「誰もが身近に公共建築を親むことができる」機会や仕組みづくりの創出等を継続していく予定である。
130	まちづくり局	計画部景観・地区まちづくり支援担当	景観まちづくり意識動画作成	未来に残したい風景を一般募集し、市の個性と魅力あふれる良好な景観を紹介する100周年版の動画を作成・公開することで、市内各所の良好な景観を残し、次の100年に向けて景観意識の向上を図ります。	動画3月31日完成 ※動画の公開は令和7（2025）年度	インターネット上やデジタルサイネージ等	動画作成委託について、7月にプロポーザル評価委員会を開催し、8/1に契約を締結し、10/1から、「あなたの身近な景観」動画や静止画の募集を開始した。 動画の素材となる作品を収集するため、7区のスポットを巡る撮影ツアーを実施した。（11/10川崎区、11/16幸区・中原区、11/24多摩区・麻生区、12/1高津区・宮前区） 「8小節プロジェクト わたしのかわさきのうた」の応募曲から、かわさき景観賞で8曲を選定するとともに歌詞にちなんだ動画・静止画を12/20まで募集した。	100周年をきっかけとして、市民参加により動画を制作することで、未来に残したい景観、地域固有の景観について、市民に再認識してもらう。令和7（2025）年度以降、動画を公開することで、次の100年に向けて、景観を、市民が愛着を持って、身近な街並みを守り、育てていけるよう意識啓発を図っていく。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組（51事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
131	建設緑政局	みどりの保全整備課 みどり・多摩川協働推進課	みどりと魅力があふれる散歩道の更なる活用	全国都市緑化かわさきフェアの開催を契機に、さらにみどりへの関心を深めていただくため、ガイドマップ「川崎散歩ゆり旅」で紹介している散歩道を、「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースとして追加するとともに、協働花壇のリニューアルを実施します。	年間を通して	新百合ヶ丘駅南口など	デジタル化したマップについて、コースの追加を年度内に行う予定。今後は各区、局等で実施されるイベントやホームページなどで周知を図り、より多くの市民に遊歩道を実際に散策いただき、緑地等への関心を高める予定である。 協働花壇のリニューアルについては、新百合ヶ丘駅南口において、地域の活動団体が花植え作業等を行っている既存花壇の修繕等、修景業務を実施中（年度内終了予定）である。	100周年を契機に、「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースとして追加した、ガイドマップ「川崎散歩ゆり旅」で紹介している散歩道や協働花壇について、多くの世代へ展開し、さらにみどりや花への関心を深めてもらうことがレガシーであると考える。今後もガイドマップ等の周知を図り、緑地への関心を高める取り組みを続ける予定である。 また、100周年を記念して花壇リニューアルを実施したことで、協働で花壇活動に取り組む地域の方々の「誇り」づくりや、さらなる緑化意識の高揚に繋がったと考えている協働による花壇活動の取組は、緑化推進の既存事業の中で今後も継続して取組予定である。
132	建設緑政局	みどりの事業調整課	夢見ヶ崎動物公園における命の大切さを学ぶ場づくり	多世代への夢見ヶ崎動物公園の魅力発信に向け、令和5年（2023）度に市民協働で作成した展示動物や飼育・保護業務などに関する映像の発信や、令和6年（2024）度に完成するパークセンターの記録映像づくりなど、今後の100年も命の大切さを伝える取組を進めます。	年間を通して	夢見ヶ崎動物公園	秋に完成したパークセンターや緑化フェアと連携したイベントなどの取組を映像化するとともに、出前講座等の学習用にも使用できる職員による動物紹介・業務風景についても映像化し、多様な媒体で放映できる動画を作製中であり、3月完成を予定している。完成後はパークセンターやその他市内サイネージでの放映等により活用していく。 また、動物の形態や仕草等を細かに知る動物公園職員が動物イラストを描き、これをクリアファイル等にして各方面に配布することにより、魅力発信を行った。 加えて、昨年度作成した映像については市内サイネージでの放映等を行っている。	100周年を契機に行った、夢見ヶ崎動物公園魅力発信映像の制作・配信により、夢見の多様な魅力を、知って学び、関わって体感し、より一層夢見ヶ崎動物公園を身近に感じ、好きになってもらうきっかけになったと考えている。 本事業で得た映像等により今後も、継続して魅力発信するとともに、令和7（2025）年度以降に予定している再整備や持続的な管理運営などの取組に活かしていく予定である。
133	建設緑政局	生田緑地整備事務所	「100年先も持続可能な生田緑地の里山づくり」PR動画	本市最大の緑の拠点である生田緑地において、令和5（2023）年度に作成した「100年先も持続可能な生田緑地の里山づくり」PR動画をさまざまな場所で放映するとともに、撮影動画を再構成したアーカイブ映像を作成するなど、持続可能な里山づくりに対する市民意識の醸成を図ります。	年間を通して	生田緑地	昨年度100周年事業で撮影した動画の、テーマ別の再編集や追加撮影の実施等、デジタルアーカイブ化に向け検討・調整を行っており、3月完成を予定している。園内に生息する絶滅危惧種の保護活動の様子などの追加撮影を実施したところであり、完成後は生田緑地やその他市内サイネージでの放映等により活用していく。また、昨年度作成した動画については、市内サイネージでの放映等を実施している。	100周年を契機に行った動画の制作・配信等により、生田緑地の魅力や課題を知ってもらうきっかけになったとともに、従前からの市民活動団体による里山保全活動に加え、新たな里山保全のボランティア活動「ゆるボウ」への幅広い年齢層の参加につながってきていると考えている。今後も、本事業で制作した動画等も活用して情報発信を続け、新たな担い手の創出に繋げていく予定である。
134	建設緑政局	企画課 河川課	二ヶ領用水に親しむ機会の創出	次の100年も二ヶ領用水の歴史を継承し誰もが心安らげる空間となるよう、地域の既存団体や大学生等と連携しながら、二ヶ領用水に関連したイベント等を実施するとともに、二ヶ領用水の歴史に触れる機会を創出します。	年間を通して	二ヶ領用水	11月10日に開催された緑化センターまつりにおいて、主に親子を対象にゴムボートによる川下り体験を実施し、展示等を通じて二ヶ領用水の歴史や文化について学んでいただくとともに、体験時の写真を100周年記念のロゴ入り缶バッジにして提供した。 また、二ヶ領用水散策マップの散策コースを「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースとして10月に追加した。	100周年を契機に二ヶ領用水散策マップを「かわさきTEKTEK」のウォーキングコースに追加することで、今後もいつでも誰でも気軽に二ヶ領用水に触れ合えるようになることが、レガシーの1つと考えている。また、二ヶ領用水に関連したイベントについても、取組の継続を検討していく予定である。
135	臨海部国際戦略本部	事業推進部	川崎臨海部プロモーション	大規模土地利用転換や2050年カーボンニュートラル化など、次の100年を切り拓く大きなプロジェクトを推進するにあたり、臨海部に関する市民の理解を深めるためのPRコンテンツを作成し、効果的なプロモーションを実施します。	年間を通して	インターネット上、デジタルサイネージその他	・川崎臨海部のPRコンテンツ(動画、リーフレット、デジタルポスター)を制作 ・制作した各種コンテンツはインターネットでの公開や、他の100周年イベントでの投影・配布、庁内サイネージでの掲載等を行う。	100周年を記念して、川崎臨海部の現状や企業活動の実態、エリア価値などを伝え、認知してもらうことで、市民から誇りに思われるエリアとなる。令和7（2025）年度以降も継続的に効果的なプロモーションを展開していく。
136	危機管理本部	危機管理部	関東大震災から100年～これまでの歩みとこれからの100年に向けて～（防災啓発）	令和5（2023）年度の実施内容・成果（市長と学識経験者の対談・動画配信、防災タプルイト紙発行、防災シンポジウム、備えるフェスタ等の啓発）を活用し、引き続き、様々なイベント等において継続的な広報・啓発等を行い、地域での共助による防災力の強化につなげます。	令和6（2024）年度中	市内	令和5（2023）年度の実施内容・成果を活用し、次の100年を担うこどもに向け市内3カ所で実施した「こども防災塾」において、親子で参加できる防災講座・ワークショップを実施した。 また、「備えるフェスタ」についても新たな開催場所で実施し、地域での共助による防災力の強化につなげる取組を実施した。	市制100周年を契機に、これからの100年を担う子供たちを対象とする「こども防災塾」等のイベント開催や啓発物の配布のほか、市民や事業者など多様な地域資源と連携した取組、若者世代を意識したデジタルコンテンツによる防災啓発の取組等を継続実施しながら地域防災力の向上を実現していくことが100周年のレガシーであると考えている。
137	市民オンブズマン事務局	市民オンブズマン担当	オンブズマン事務局で発行する年度報告書への100周年ロゴマーク表示・配布	100周年記念として、100周年ロゴマークを裏面に表示した「川崎市市民オンブズマン令和5年度報告書」を650部、「川崎市人権オンブズパーソン令和5年度報告書」を750部作成。6月から関係機関に配布した。	6月～	川崎市内等	6月に関係機関に配布し、その後も適宜必要に応じて配布している。	従来の広報物に100周年ロゴを入れ、市のメッセージ浸透を図った。
138	市民オンブズマン事務局	人権オンブズパーソン担当	人権オンブズパーソン啓発チラシの作成・配布	相談カード及び啓発チラシに、100周年及び緑化フェアのロゴを印刷しPRする。	11月～	市内学校、児童福祉施設、町内会 等	11月に関係機関等を通して子ども・保護者への配布や、町内会での回覧を実施した。（相談カード：約118,000枚、啓発チラシ：約125,000枚）	従来の広報物に100周年及び緑化フェアのロゴを入れ、市のメッセージ浸透を図った。
139	会計室	会計室出納課	共通物品の市製封筒への100周年記念ロゴ等の印刷	共通物品である市製封筒に100周年ロゴ等を入れることで100周年バージョンとして作成し、市民等へPRを行います。	令和5（2023）年度5月～令和7（2025）年3月	市製封筒調達課等	100周年ロゴ等を入れた共通物品の市製封筒は調達済で、当該共通物品を申請している所管課へ随時払出している。	令和5（2023）～6（2024）年度にかけて、共通物品である市製封筒に100周年ロゴ等を入れることで市民等へアピールするものである。なお、令和7（2025）年度作成分から100周年ロゴは外します。
140	上下水道局	サービス推進課	山北ー川崎☆水源林レスキュー隊	市内在住の親子を対象に、1年を通して水源地域で活動するツアーを実施し、継続的に水源地域の問題を学び、保全作業に携わることで、次の100年に向けて引き続き良質な水が届くよう市民自らバトンをつなぐ意識を醸成します。	8月20日、10月5日、11月30日	山北町内	参加者が全3回にわたり、より深く水源地域の問題について学び、その過程で植物の育成に関するノウハウを身に着けながら、「山北ー川崎☆水源林レスキュー隊」となるツアーを実施した。ツアーでは、芽接ぎ体験や間伐見学、大野山ハイキングなどを行った。また、NECレッドロケット川崎と連携し、全3回において、参加者限定メッセージ動画を放映した。	これまでの交流事業では、一過性の側面が強いという課題があったが、市制100周年を契機に、年間を通して同じ参加者（親子）とすることで、幅広い世代がより深く水源地域の問題を考える機会を設け、効果の増大を図る。また、この活動により、植物の育成に関するノウハウを身に着け、川崎の緑化推進に寄与する。加えて、川崎をより好きになってもらうことを目的に、NECレッドロケットと連携し、本事業の中で、参加者限定メッセージ動画を放映する。令和7（2025）年度以降は、この事業の継続と改良について検討しながら進めていく予定である。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組（51事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
141	上下水道局	サービス推進部	各戸投函物への100周年記念ロゴ等の印刷	「水道料金等納入通知書封筒」に関連メッセージ及び100周年ロゴを印刷することで100周年バージョンとして作成し、市民の皆さまへ100周年のPRを行います。	令和6（2024）年度中	川崎市内	2月29日に関連メッセージ及び100周年ロゴを印刷した「水道料金等納入通知書封筒」が徴収業務委託事業所へ納品され、令和6（2024）年3月検針以降、納付書等を投函する際の封筒として使用している。	市制100周年記念及び緑化フェアのPRを通じて、ブランドメッセージを広く浸透させた。
142	上下水道局	サービス推進課	広報紙でのPRプロジェクト	年4回発行し、各回約75万戸へ配布している広報紙「かわさきの上下水道」に、毎号「100周年コラム」を設け、市制と水道事業等の100年の歴史を紹介します。	6月3日～21日、9月2日～20日、12月2日～20日、3月3日～3月21日	川崎市内	本件は、今年度（令和6年6月、9月、12月、令和7年3月）中の「100周年コラム」を設ける。なお、6月号（配布期間：6/3-6/21）、9月号（配布期間：9/2-9/20）、12月号（配布期間：12/2-12/20）は既に、配布済みである。 またこの内容は、上下水道局ウェブサイト（https://www.city.kawasaki.jp/800/page/0000171501.html）でも閲覧可能である。現在は、3月号の制作を進めている。	100周年を記念して、市制と水道事業等の100年の歴史を紹介する取組により、市民の方々に川崎水道の歴史についてより関心・理解を促すことで、川崎を好きになる市民を増加させることができると考えている。100周年での取組は終了するが、より広く周知できるよう、さらに検討を進める予定である。
143	上下水道局	サービス推進課	みずみずフェアを活用したPRプロジェクト	上下水道局最大の広報イベントである「みずみずフェア」において「市制100周年」のブースを設置し、市制と水道事業等の100年の歴史を紹介します。	8月17日	川崎市内	8月17日に、Uvanceとどろきスタジアムby Fujitsu場外メインスタンド前広場にて、川崎フロンターレ対横浜Fマリノス戦の試合前イベントとして「みずみずフェア」を開催し、「市制100周年記念ブース」を設けて、市制100周年で実施している「白黒カラー化プロジェクト」のパネルとそれに関連した上下水道局の歴史パネルを、比較させるような形で展示した。また、ブース来場者に、「全国都市緑化かわさきフェア」を啓発するフラワーカードを配布した。	100周年を記念して、このブースを設置することで、来場した市民が、市制と水道事業等の歴史に触れ興味を持つきっかけになると考えており、そこから川崎のポテンシャルや魅力を再発見し、より川崎を好きになる市民を増加させることができると考えている。また、100周年での取組は終了するが、ブース設置に制作したパネルは、今後のイベント等で活用していく予定である。
144	交通局	経営企画課	交通事業80周年記念事業と連携した「全国都市緑化かわさきフェア会場周遊型謎解きイベント」	市制100周年の象徴的事業として開催される全国都市緑化かわさきフェア期間中に、フェア会場周遊型謎解きイベントを実施し、市バスの利用や緑化フェアへの参加を促します。	10月19日～11月17日	全国都市緑化かわさきフェアコア会場周辺	10月19日～11月17日のかわさきフェア秋開催において、宝の地図（冊子）に書かれた謎の暗号を解読して、地域に隠された宝箱を探す参加型のイベントを実施し、宝箱を見つけた方には、川崎市交通事業80周年限定トートバッグをプレゼントした。	全国都市緑化かわさきフェア会場周遊型謎解きイベントを実施することで、交通事業を身近に感じてもらうとともに、市バスのイメージアップを図ることができると考えている。100周年で実施した取組は終了するが、今後実施するイベントなどに繋げていく予定である。
145	病院局	市立井田病院	井田病院における「フラワーヒルプロジェクト」	令和5（2023）年度の芝生エリアの歩道にボランティアが育成した花壇を複数設置した取組を踏まえ、令和6（2024）年度は外来エリアの道路に面した窓にミニグリーンカーテンを設置し、空調の効率化によるCO2削減を図るとともに、継続して花を育てる文化を残す取組を実施します。	9月15日	市立井田病院	9月15日にグリーンカーテン設置した。 令和5（2023）年度に芝生エリアに設置した花を植えられるモニュメントは、引き続き生育状況観察中である。	100周年を契機に、芝生エリアに緑のモニュメントを設置する等、病院周辺を緑のやすらぎの空間とする取組を進めた。令和7（2025）年度以降も継続して芝生エリアのモニュメント等の育成に取り組み、緑化意識の醸成・緑のある文化を残していく。
146	病院局	市立川崎病院	川崎病院グリーンプロジェクト	令和5（2023）年度に正面玄関付近に植栽を配置するなど、利用者にとって快適な病院環境を創出する取組を進めたが、令和6（2024）年度は季節に応じて植栽の入れ替えや、1階正面横にグリーンカーテンを設置し、緑化の取組を継続して実施します。	6月29日、7月6日	市立川崎病院	6月29日及び7月6日に季節に応じた植栽の入れ替え、1階正面横にグリーンカーテンを設置した。現在、グリーンカーテンは生育中である。	100周年を契機に、正面玄関に植栽を設置する等、利用者にとって快適な病院環境を創出する取組を進めた。令和7（2025）年度以降も継続してグリーンカーテン等の育成に取り組み、緑化意識の醸成・緑のある文化を残していく。
147	病院局	市立川崎病院・市立井田病院・市立多摩病院	看護の日プロジェクト	川崎市立病院にて「市制100周年記念「看護の日」イベント」を開催し、「看護の日」イベントの中で過去の市立病院の様子の展示などを行います。	5月10日、13日、14日	市立川崎病院・市立井田病院・市立多摩病院	川崎病院：5月14日、井田病院：5月10日、多摩病院：5月13日にそれぞれ実施した。 当日は、市制100周年にちなみ、白衣の変遷・過去の病院の写真展示を行ったほか、看護の日に係るポスター展示、AEDの操作体験、手指消毒チェック等のイベントも実施した。	100周年を契機に、白衣の変遷や過去の病院の写真展示を実施したことで、来訪者が看護の日や川崎市立病院の歴史を知る機会になったと考えている。令和7（2025）年度以降も展示内容や各種体験についてより良いものとなるよう引き続き取り組み、看護の心、ケアの心、助け合いの心を老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるようにしていく。
148	病院局	経営企画室	院内広報プロジェクト	病院HP、病院パンフレット、院内デジタルサイネージ等で市制100周年を伝えるページや動画等を掲載、公開し、市制100周年をPRします。	年間を通して	市立川崎病院・市立井田病院・市立多摩病院	随時、市制100周年PR刊行物の配布・院内掲示、デジタルサイネージでの動画掲載等を実施した。	市制100周年PRは終了するが、手法については今後の広報活動へ活かしていく。
149	消防局	施設装備課	廃棄予定の防火衣等の再生	令和5（2023）年度の取組を踏まえながら、全国都市緑化かわさきフェアの開催を見据え、使用出来なくなった防火衣や消防ホース等を園芸用エプロン等へと加工し、市内イベント、展示等に活用し、火災予防意識の向上を図ります。	年間を通して	市内各イベント会場等	年間を通して、各種イベントにおいて、火災予防及び消防団の入団促進の広報に利用している。 全国都市緑化かわさきフェア秋開催のオープニングセレモニーで利用したが、3月に開催される春開催等でも利用する予定である。	災害現場で活躍した防火衣やホースを障害者就労施設と協力してエプロンなどにアップサイクルし、これまで多くのイベント等で利用してもらい、今年度も緑化フェアや各種イベントで展示する予定である。 令和7（2025）年度以降についても継続して実施することが100周年のレガシーであると考えている。令和7（2025）年度以降も防火衣や資器材等をアップサイクルし各種イベント等で直接触れる機会を作り、この取組を継続・発展させながら進めていき、消防業務の啓発に繋げていく予定である。
150	消防局	人事課	フラッグでデザインする未来の消防	令和5（2023）年度にカラーガード隊のフラッグを100周年記念として各地区少年消防クラブでデザインし作成し、クラブ員とカラーガード隊員によるパレード等を各種イベントにおいて実施します。	年間を通して	市内イベント会場等	建設緑政局緑化フェア推進室と協力し、10月19日に開催された第41回全国都市緑化かわさきフェア開会式において、少年消防クラブ員とカラーガード隊員による場内パレードを実施した。	令和7（2025）年度以降においても、消防音楽隊と各地区少年消防クラブ員が協力した各種イベント参加を実施し、少年消防クラブ活動での体験を通じた火災予防の普及啓発をさらに推進することでレガシーとする。
151	教育委員会事務局	図書館 市民館 生涯学習推進課	手づくり絵本の作品展	令和5（2023）年度の絵本づくり講座の開催成果等を踏まえながら、市民を対象に手づくりの絵本作品を募集し、市民館等で作品を展示するとともに、一部作品については図書館のデジタル資料として公開するなど、展示や活用を通じて絵本や市民館・図書館、題材となった地域等への愛着を深めるきっかけとなる取組を進めます。	年間を通して	各市民館、各図書館等	応募作品の展示を各区で実施し、展示会場では来場者によるシール投票を行った。投票上位の作品を代表作品として選定中。今後、代表作品はデジタル化され電子図書館に収蔵される予定。また、代表作品を中心に最後の展示会を3月に実施予定である。	代表作品を電子図書館のデジタル資料として公開・保存することで、レガシーになると考えている。公開する資料については、広く市民に閲覧してもらえるよう、掲載方法・掲載箇所等について検討していく。

○市制100周年のPR及びさまざまな取組（51事業）

No.	局	所管課名	事業名	事業の概要	実施時期	実施場所	実施結果・進捗状況	令和7年度以降に残すレガシーの考え方とその取組
152	教育委員会事務局	図書館 市民館 生涯学習推進課	川崎ゆかりの作品 あなたの「イチ推し本」募集	市民や図書館利用者等から川崎市にゆかりのある本を募集の上、100年後に残し伝えたい作品のリストを作成し、図書館等における展示やさまざまなイベント開催の際の活用を行うなど、市民の郷土愛が高まるような取組を実施します。	年間を通して	各図書館、各市民館等	3月19日から5月10日まで作品の募集を行った。応募作品は75点で、内容を確認し、併せて市職員が勧める25点を加えて、100作品を掲載したリーフレットを作成し、イベント等で配布した。併せて、リーフレットの電子データを川崎市立図書館のホームページに公開を開始した。このリーフレットに掲載された作品の中から、川崎を舞台とした作品の作家を講師とする読書普及講演会を10月20日、また、リーフレットに掲載された作品のブックトークを内容とした講演会を1月18日に実施した。10月4日から12月2日まで手づくり絵本の展示と同時に、リーフレットとリーフレットに掲載した書籍の一部を紹介する展示を行った。さらに、多くの市民の閲覧に供することができるよう、リーフレットの各図書館・分館・閲覧所への配架を行った。	単なる本の紹介にとどまらず、おススメの一節、本にまつわる思い出、川崎ゆかりのエピソードを広く紹介し、市民と共有することで、今後に伝えて残していくことがレガシーであると考えている。具体的な取組としては、リーフレット及びリーフレットで紹介した書籍の一部を紹介する常設展示を中原図書館にて行うほか、リーフレットの電子データを川崎市立図書館ホームページ等に引き続き掲載していくことを検討している。
153	教育委員会事務局	日本民家園	市制100周年行事展示・体験講座	日本民家園で「扱き上げ」等年中行事展示を行い、昔の人々暮らしを伝承する。また、「小判型六つ目かご」「綿の実から糸まで」などの体験講座を開催し、昔の生活で使われていた民具の作り方を学ぶことで、歴史を学ぶ機会とします。	年間を通して	日本民家園	端午の節供、夏座敷、七夕などの再現展示を行うとともに解説パネルを設置することで、来園者が昔の暮らしを体感できるようにした。体験講座については、竹細工「丸型六つ目かご」「菱四つ目かご」、わら細工「ぞうり」、はた織り「裂き織り」等を開催し、計169人が参加した。	古民家内での年中行事展示及び体験講座の開催等により、昔の暮らしを語り継いでいくことがレガシーであると考える。令和7（2025）年度以降も、昔の暮らしの調査を行い、当時の暮らしぶりが分かる展示や民具製作を体験してもらう取組を行っていく予定である。
154	教育委員会事務局	教職員人事課	教員採用試験広報活動における本市PR事業	教員採用候補者選考試験における広報活動において、市制100周年となることを伝えるなど川崎の魅力を発信し、受験者の獲得につなげます。	令和6（2024）年度中	全国	教員採用候補者選考試験における広報活動において、春の採用試験説明会で川崎市内3会場5回・地方会場4会場で149回説明会を実施し、市制100周年に係る広報誌やリーフレット等を積極的に配布し川崎市の魅力向上を図った。引き続き、採用試験説明会開催時には市制100周年と関連させて川崎市の魅力を発信していく予定である。	100周年を記念して、教員採用試験説明会等で川崎市をPRするノベルティグッズを配布する等、川崎市の魅力を発信することで、川崎市に興味を持つ受験者を増加させることができると考えている。今後も、川崎市の魅力が受験者に伝わるように、積極的に広報活動を行っていく予定である。
155	選挙管理委員会事務局	選挙課	選挙啓発広報紙でのPR	作成している選挙啓発チラシに100周年ロゴやテキストを掲載した上、学生等への配布や区役所等で配架し、令和6（2024）年に川崎市が市制100周年を迎えることをPRします。	配布開始日 8月～順次発行後、配布	川崎市内	100周年ロゴやブランドメッセージを掲載した、中学校3年生向け啓発チラシを8月に発行し、市内にある全中学校を経由して、対象となる生徒に配布した。 また、高校生3年生向けの啓発チラシについては、2月の発行を予定しており、発行後は市内にある全ての高校を経由して、対象となる生徒に配布する予定である。	既存の作成している選挙啓発チラシに100周年ロゴやテキストを掲載した上、多くの市民等に配布することで、市制100周年を迎えることを多くの市民等知ってもらうことが出来ると考えている。 100周年で実施した取組は終了するが、市全体の100周年事業等を通じて、川崎を好きになる市民が増加することは、政治・行政やその街の代表者を決める選挙について、今まで以上に関心が高まると考えられることから、事業を継続的に実施することで、政治・選挙への意識醸成等をより一層、推進する。
156	人事委員会事務局	任用課	市制100周年に向けた採用広報	令和5（2023）年度に引き続き、広報媒体や説明会等において市のPRや、100周年関連事業を体験できる「1day現場見学会」を実施します。	1月9日、14日、21日、27日、2月3日（予定）	蟹ヶ谷保育園、夢見ヶ崎保育園、藤崎保育園、高石保育園、上麻生保育園	職員採用特設サイトや職員採用案内パンフレットにて市制100周年事業に関わる部署や職員の紹介ページを掲載した。公立保育園において現場見学会を実施し、ポッチャなどの100周年事業と連携したプログラムを実施した。	積極的な広報を実施することで、次の100周年をともに支え、未来をつくっていく多様で有意な人材を確保し、将来にわたって持続可能な社会を実現していくことができると考えている。100周年関連事業を体験する取り組みは終了するが、今後の広報などの取組に活かしていく予定である。
157	人事委員会事務局	調査課 任用課	様々な既存の送付物に広報をプラス	民間給与実態調査（400通以上）、大学への採用募集パンフレット配布時に（100大学以上）、市制封筒を利用します。また、試験等合格通知送付の際等（2000通以上）に、100周年HPのURL・SNS等の案内の記載や、ロゴ等の印字をします。	令和6（2024）年4月・10月	川崎市内	民間給与実態調査では、4月に依頼文等の送付、10月に令和7（2025）年度の調査先情報確認の際に市制封筒を利用した。各採用試験においては、随時実施中である。また、大学等への採用募集パンフレット配布時に市制封筒を利用した。試験等合格通知送付の際には100周年のロゴ等を印字した。	送付物を利用した広報により市内企業に市制100周年をPRしたことで、改めて川崎市内に拠点を構える企業であることを意識してもらい、地域でのCSR活動等の推進につながっていくことができると考えている。また、既存の事業に+αすることで、お金や時間をかけずに様々なPRが可能となり、多様で有意な人材の確保につながると考えている。今後も継続的に送付物を利用し、川崎市のPRを行っていく予定である。

Colors,Future! Actions

推進ビジョン(骨子素案)

～川崎市市制100周年記念事業のレガシー～

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



市制100周年記念事業について

市制100周年記念事業（以下、「記念事業」とする）については、市制100周年という歴史的な節目に、川崎市に関わる多くの方に「川崎を知って、記念事業に関わって、川崎を好きになって」いただくため、先人の努力や功績に感謝し、時代とともに変貌してきた川崎市のこれまでのあゆみや歴史・文化を知り、川崎市の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とするとともに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へとつなげていくための、未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとするため、さまざまな市民・企業・団体等とともにオール川崎市で取り組んできました。

この「Colors,Future! Actions 推進ビジョン(骨子素案)」については、オール川崎市で取り組んできた記念事業の成果を踏まえ、記念事業終了後も、市制100周年を契機とした「あたらしい川崎」を生み出していく取組を着実に継続・発展させていくことを目的に策定します。

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



市制100周年記念事業について

● 実行委員会における企業・団体等の参画状況

記念事業をオール川崎市で取組を進めるため、さまざまな企業、団体、川崎市等で構成される「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会（以下、「実行委員会」とする）」を設立し、共同事務局における議論や幹事会における審議、総会での意思決定など、市民、企業、団体等と官民連携で、協賛による資金や物品等を活用しながら、共創の取組を進めてきました。

実行委員会参画団体数

団体数	R4年度	R5年度	R6年度
目標	300	310	320
実績	311	383	397

令和6（2024）年12月末現在

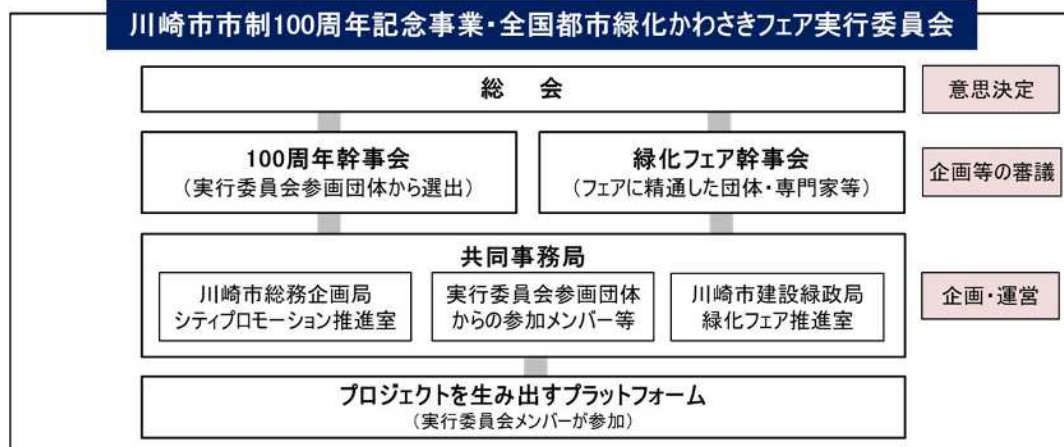
100周年幹事会

実行委員会が主体となって行う記念事業の企画及び実施に関すること等の審議を実施

幹事会参加企業

- 1 川崎信用金庫
- 2 川崎商工会議所
- 3 株式会社 チッタ エンタテインメント
- 4 かわさき若者会議
- 5 川崎市PTA連絡協議会
- 6 かわさき市民放送株式会社
- 7 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
- 8 一般社団法人川崎市観光協会
- 9 新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム
- 10 富士通株式会社
- 11 日本電気株式会社
- 12 味の素株式会社

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会



共同事務局

民間企業が持つノウハウを活かして、実行委員会主催事業等の企画・検討を実施

共同事務局参加企業

- 1 味の素株式会社
- 2 富士通株式会社
- 3 株式会社ホリプロ

協賛の状況

趣旨に賛同いただいた企業・団体・個人等からの協賛

協賛等種別	金額（税抜き）
資金協賛	122,115,000円
物品等協賛	84,477,208円
広告協賛	65,772,814円
寄附	29,240円
合計	272,394,262円

100周年記念事業について

● 実行委員会主催事業の実施状況

「Colors, Future! Actions」を体現する事業である「実行委員会主催事業」について、実行委員会の共同事務局を中心に検討を進め、市民、企業、団体等との共創により8つの事業を創出し、取組を進めました（全国都市緑化かわさきフェア除く）。

12月末現在・下段は参加者数



川崎の魅力を再発見し、川崎の未来づくりへの参加のきっかけとなるフェス&カンファレンス「Colors,Future! Summit」

参加者数：令和5(2023)年度 約1.3万人
令和6(2024)年度 約2.3万人



市役所通りを歩行者空間とし、公共空間の更なる有効活用と賑わいの創出を図った「みんなの川崎祭」

参加者数：令和5(2023)年度 約4万人
令和6(2024)年度 約11万人



市制記念日に合わせて、等々力緑地全体を活用し、官民連携で賑わいの創出を図った「かわさき飛躍祭」

参加者数：令和6(2024)年度 約18万人



脱炭素のまちかわさきを目指し、先行的取組として「宅配再配達削減」に向けて取組を行った「かわさき脱炭素プロジェクト」

令和6(2024)年度
市全体で13,606kgのCO2を削減



音楽を通じたコミュニティの創出による地域社会の活性化と活動の場の創出を図る「ここから未来プロジェクト」

参加者数：令和6(2024)年度 約2千人



「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち、かわさき」の創出を図る「みどりの共創プロジェクト」

参加者数：令和5(2023)年度 約500人
令和6(2024)年度 約7千人



提案型事業として、100周年を契機として初めて「風とリズムのパレード」を実施した「まんなかフェス」

参加者数：令和6(2024)年度 約6万人



子どもたちが自らのアイデアでまちづくりを実現する場を提供した「子どもの力で川崎の未来をかえるプロジェクト」

参加者数：令和6(2024)年度 約2千人

100周年記念事業について

●市主催事業の実施状況

川崎市が主催する事業として、各局区の施策・事務事業に取り組む中で一步先を目指す+αのチャレンジを行い、市制100周年を盛り上げるイベントやこれからの100年を担う若年層への取組など、157の事業を展開しました。



市役所通りのイチョ並木を、再生可能エネルギーを活用して実現した、「市役所通りをライトアップ」



車いすランや未就学児部門の創設など、誰もが楽しめる大会として開催した「かわさき多摩川マラソン」



川崎駅西口周辺の事業者や町内会、商店街等と連携し、民間施設や公共空間等を活用して実施した「さいわいにぎわいフェス」



鷺沼駅前の商店街等と連携し、公共空間等を活用しながら賑わいの創出や魅力発信を図った「鷺沼駅周辺における、多様な主体と連携した公共空間づくり」



市制100周年をきっかけに、学校や地域の良いところを探し、学習したことを発信する「学校e〜ね★サミット」



未来のまちづくりをテーマとし、近隣保育所や地域の親子と一緒に取り組む「子どもたちが考える未来のかわさをデザイン」



パネルや体験型展示等、市内4会場をめぐる「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」



地域包括ケアシステムに賛同する民間企業・団体による新しいイベント「人生100年時代に備える地ケアフェア」

100周年記念事業について

●市民・企業・団体等による自主的な参加状況

100周年の趣旨に賛同する多くの市民、企業、団体等の皆様に、実行委員会参画団体主催事業・パートナー主催事業としてさまざまなActionに自主的に取り組んでいただき、100周年を一緒に盛り上げていただきました。

事業の実施状況

事業の 登録件数

実行委員会参画団体主催事業は**260件**、
パートナー主催事業は**135件**が登録された（令和6（2024）年12月末現在）

※パートナー主催事業…市民や実行委員会に参画していない企業、団体等が参加して実施した記念事業

実行委員会参画団体主催事業の例



専修大学の学生による、
15のActionテーマを網
羅して制作した広報番
組



川崎日航ホテルによる、
これからの未来を創造
する市立川崎高校の
生徒とコラボした4つ
のクリスマスケーキ



川崎青年会議所によ
る、1,700名以上
が参加した謎解き街
歩きイベント

パートナー主催事業の例



グリーンバード川崎駅チ
ームとスターバックス
コーヒー川崎地区の
パートナー同士によ
る、市制100周年に
向けて100人で行
う清掃活動



海苔問屋高喜商店
による、川崎市市制
100周年記念焼の
り缶



市内外17飲食店に
よる、100周年特製
コースターを活用し
たまちなか100周年
PR

100周年記念事業について

● 広報及び機運醸成の実施状況

メインビジュアルを活用したシティドレッシング、公式WEBサイトやニュースレター等による広報・PRや、市制100周年を契機に新たなつながりづくりを促進する交流会等を実施し、100周年の周知や市民・企業・団体等の主体的なアクションを生み出す機運の醸成を効果的に図りました。

メインビジュアルを活用したシティドレッシング



メインビジュアル



公式WEBサイトやニュースレター等による情報発信



公式WEBサイト



ニュースレター

イベントブース出展



R5年度	R6年度	計
36回	12回	48回

説明会 & 交流会の開催



日 時：令和6年8月28日（水）
17時15分～18時30分
場 所：川崎市コンベンションホール
出席人数：81団体、104人

公式WEBサイトや市公式「X」による市制100周年に関する情報発信

・公式WEBサイトや市公式「X」で市制100周年に関する情報を随時発信し、多くの市民に市制100周年の取組等を知っていただきました。

	R5年度	R6年度	計
公式ウェブサイト記事数	362件	507件	869件
市公式「X」発信数(100周年関係)	128件	113件	241件

12月末現在



	R5年度	R6年度	計
公式ウェブサイトビュー数(月平均)	約4.9万回	約22.8万回	約13.9万回 ※月平均
市公式「X」表示数(100周年関係)	約180万回	約590万回	約770万回

市制100周年に関するリリース配信数

・市制100周年に関する効果的なリリース配信を行い、多くのメディアに100周年に関する記事等が掲載されました。

R5年度	R6年度	計
18件	35件	53件

11月末現在



	R5年度	R6年度	計
掲載件数	658件	3,117件	3,775件
広告換算値	約3億円	約8億円	約11億円

100周年記念事業について

●市制100周年記念事業に関するアンケート

市内イベント等の機会に100周年の認知度調査を実施し、段階的に100周年の認知度が向上、今年度の平均は9割を超えました。

また、実行委員会主催事業等の機会を捉えて、市制100周年記念事業アンケートの調査を実施し、川崎のイメージが「良くなった」「どちらかというと良くなった」という回答が7割を超えるなど、100周年記念事業が、川崎を「知って、関わって、好きになる」ことに効果があったことがわかる結果となりました。

【市制100周年 認知度調査】

(回答数約6,300名)

昨年度平均
約 65%

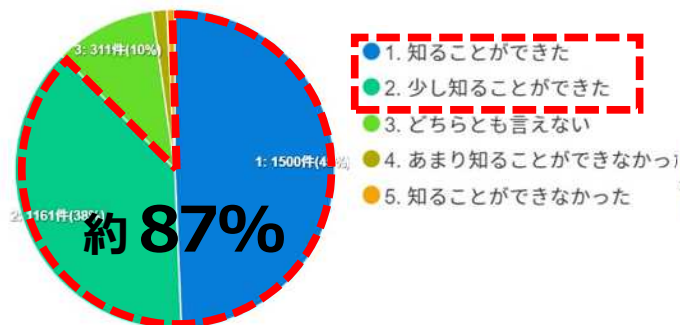
今年度平均
約 92%



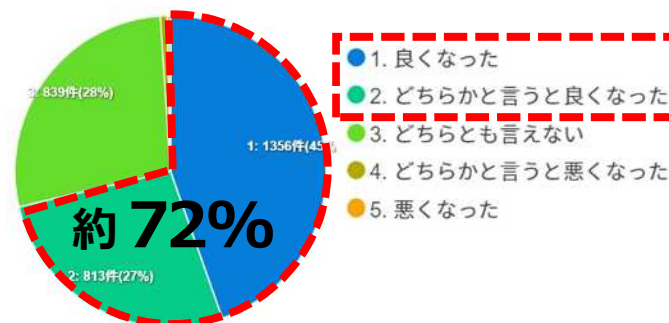
【市制100周年記念事業アンケート】

(回答数 3,040件)

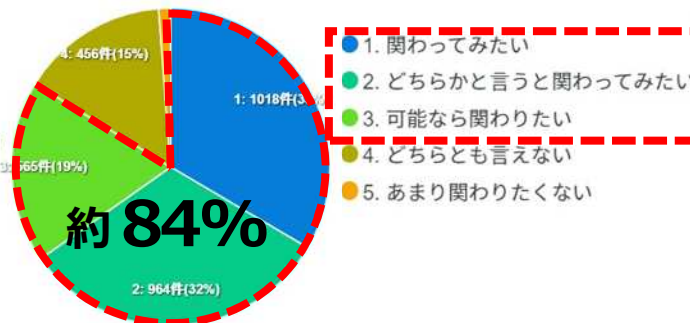
今回のイベントや100周年に関する取組で、新たな川崎の魅力を伝えることができましたか。



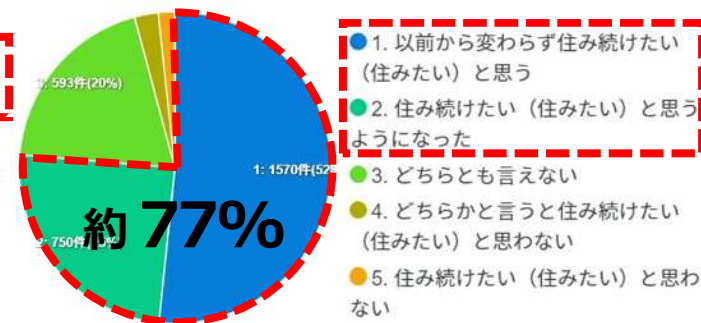
今回のイベントや100周年に関する取組で、川崎のイメージは良くなりましたか。



今回のイベントや100周年に関する取組をきっかけに、イベントへの参加など川崎のまちに関わってみたいと感じましたか。



今回のイベントや100周年に関する取組をきっかけに、市内在住の方は川崎に住み続けたい、市外在住の方は川崎に住みたいと思うようになりましたか。



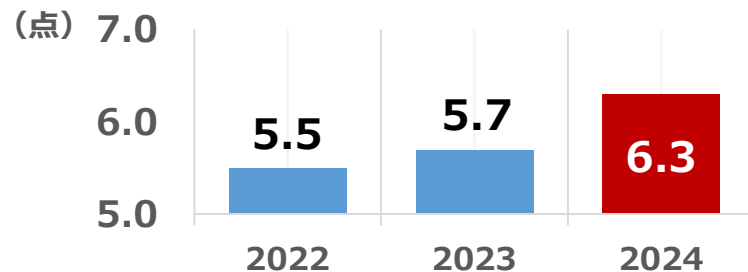
100周年記念事業について

●川崎市都市イメージ調査(速報)

毎年実施している「川崎市都市イメージ調査」の令和6年度の実施結果速報によると、「川崎市総合計画」や「川崎市シティプロモーション戦略プラン」で目標として定めている、「シビックプライド指標」の川崎への「愛着」、「誇り」の2項目とも、過去最高値を更新しました。また、「川崎市のイメージ」についても、市民、隣接都市在住者の数値がともに上昇し、市制100周年を契機に、市民に「愛着」と「誇り」を持っていただく機会とすることができました。

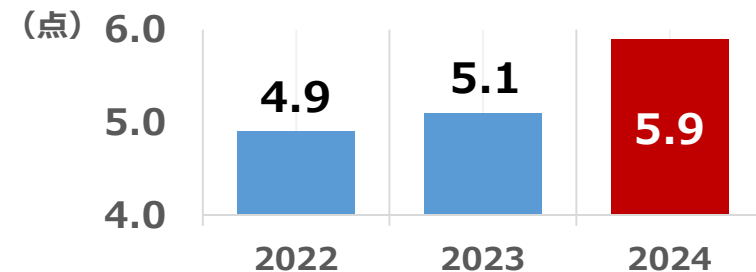
令和6年度「川崎市都市イメージ調査」の主な調査結果

自分が住む地域に対するシビックプライド「愛着」



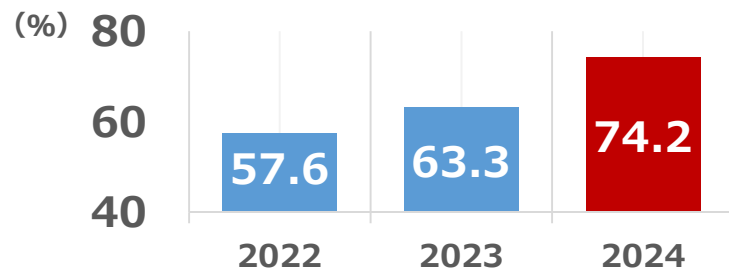
まちへの「愛着」に関する3項目を質問し、その平均値を算出

自分が住む地域に対するシビックプライド「誇り」



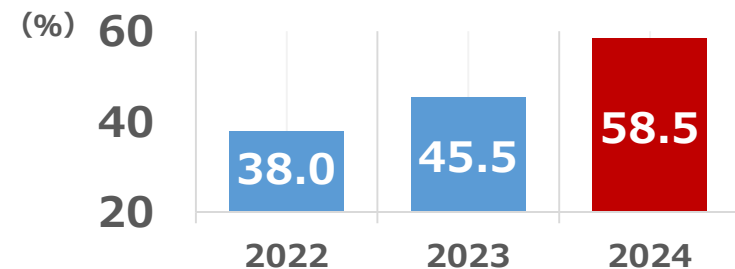
まちへの「誇り」に関する3項目を質問し、その平均値を算出

川崎市のイメージを「よい」と思う人の割合（川崎市）



10段階で評価し、6以上を「よい」として算出

川崎市のイメージを「よい」と思う人の割合（隣接都市）



10段階で評価し、6以上を「よい」として算出

調査概要 調査対象 神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県に居住する15歳以上の男女個人
標本数 4,000標本（内、川崎市民2,800標本）
調査方法 調査モニターを用いた地域別インターネット調査(令和6年11月12日～11月28日)

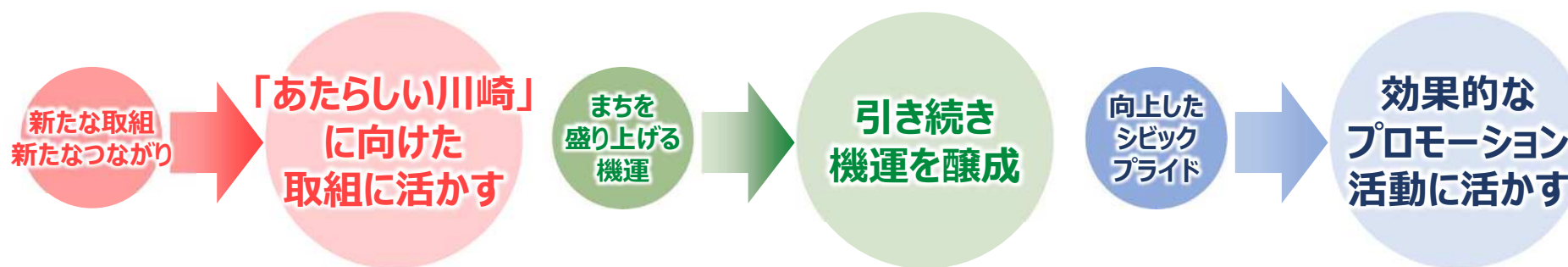
※これらの指標は、川崎市総合計画第3期実施計画および川崎市シティプロモーション推進プラン第3期推進実施計画において、成果指標として位置付けています。

市制100周年記念事業を令和7年度以降につなげるために

これらの取組成果から分かるように、実行委員会や川崎市の主催事業をはじめ、多くの方々と共創しながら100周年記念事業に取り組んだことにより、多くの市民の皆様、川崎を知って、関わって、好きになっていただき、「愛着」と「誇り」を持っていただくとともに、これまでになかった新たな取組やさまざまな市民・企業・団体の皆様と新たなつながりを創出することができました。

こうした成果を踏まえ、100周年記念事業終了後も「あたらしい川崎」を生み出していく取組につなげていくためには、主に以下の3点が必要です。

- ・ 100周年を契機として「あたらしい川崎」を生み出していくため、より一層の課題解決や新たな価値の創出にチャレンジしたことで生み出した「新たな取組」や「新たなつながり」については、100周年記念事業のレガシーとして今後の川崎市の取組推進に活かしていく必要があります。一方、100周年の祝賀感や機運の醸成のために既存事業の規模を拡大して行った取組等については、例年ベースの取組に戻すことを基本としながら、今後の取組推進に活かしていく必要があります。
- ・ 100周年の実行委員会等をはじめとして、記念事業を通じて生まれたさまざまな主体同士のつながりや、官民連携や民間主体でまちを盛り上げる機運は、今後も川崎市をより良くしていくために重要であり、今回生まれたこうした機運を今後も引き続き醸成していく必要があります。
- ・ 記念事業で向上したシビックプライドや川崎市のイメージにより、地域社会のため当事者意識を持って行動する市民の増加や、川崎に魅力を感じる企業・産業の進出などがこれまで以上に期待されます。引き続きシビックプライドの醸成等が進むよう、100周年で取り組んだ周知・PRの手法やノウハウを今後のプロモーション活動に活かし、川崎市の効果的なPRや川崎のさらなる魅力向上につなげていく必要があります。



市制100周年記念事業のレガシーの考え方

基本的な考え方

100周年記念事業後も「あたらしい川崎」を生み出していくため、「100周年記念事業を契機として生まれた多彩な事業」や、「自らまちに関わり、まちを盛り上げる市民・企業・団体等とのつながり」、「川崎を知って、関わって、好きになり、向上したシビックプライド」をレガシーとして取組を推進し、さまざまな人たちが川崎に「愛着」と「誇り」を持ち、つながりあいながら未来にチャレンジするまちを目指します。

① 100周年記念事業を契機として
生まれた多彩な事業



② 自らまちに関わり、まちを盛り上げる
市民・企業・団体等とのつながり



③ 川崎を知って、関わって、好きになり、
向上したシビックプライド

継続・発展

あたらしい川崎

さまざまな人たちが
川崎に「愛着」と「誇り」を持ち、
つながりあいながら
未来にチャレンジするまち

市制100周年記念事業のレガシーの考え方

●「あたらしい川崎」のイメージ

さまざまな人たちが川崎に「愛着」と「誇り」を持ち、つながりあいながら、未来にチャレンジするまち

多様性を認め合い、つながり合うことで、新しい魅力や価値を生み出してきた川崎は、100周年を契機に、さまざまな分野において、市民、企業、団体等と協働・共創して多様なアクションを進め、未来に向けた活力を生みだしてきました。次の100年に向け、市民や企業等がチャレンジできる都市として選ばれるとともに、新たな可能性や価値を生み出しつづけ、川崎への「愛着」と「誇り」の向上を目指していきます。

100周年記念事業を契機として
生まれた多彩な事業を活かし、
社会情勢の変化に対応しながら、
さまざまなチャレンジを行い、
発展を続けているまち

あたらしい川崎

自らまちに関わり、まちを盛り上げる
市民・企業・団体等が増加し、
お互いがつながりあいながら、
新たな可能性を見つけ、
新しい価値を生み出しているまち

川崎へのシビックプライドや
川崎市の良好なイメージが
市内外から川崎のまちづくりへの参加を促
し、
それが更なる川崎の魅力向上につながる
好循環を生み出しているまち

市制100周年記念事業のレガシーの考え方

① 100周年記念事業を契機として 生まれた多彩な事業

実行委員会主催事業及び市主催事業を中心に、100周年を契機に、より一層の課題解決や新たな価値の創出にチャレンジしたことで生み出した「新たな取組」や「新たなつながり」について、以下の7つの取組の方向性により継続・発展を図り、今後の取組推進に活かしていきます。

1. 川崎の未来を考える

100周年で生まれた事業であり、さまざまな未来を考えるトークセッション等を行う「Colors,Future!Summit」、「脱炭素プロジェクト」など、「あたらしい川崎」を生むための官民連携の川崎の未来づくりの取組を、今後も継続して実施します。

2. 公共空間を活用する

100周年で生まれた事業である「みんなの川崎祭」等、拠点駅周辺の公共空間を活用した賑わいの創出や、100周年で実施した「市役所通りライトアップ」など、公共空間の魅力向上を図る取組を、今後も継続して実施します。



「あたらしい川崎」に向けた更なるチャレンジ

川崎の魅力を高め、まちの活性化を加速させるため、「Colors,Future!Summit」や「みんなの川崎祭」などの継続・発展に取り組みながら、川崎駅周辺のまちづくりと連携し、官民連携でまちの賑わいの創出を図るとともに、川崎の更なるブランディングを目指し、取組を進めます。

さまざまな取組をパッケージで ブランディング・情報発信

さらに川崎に人が集まり、さまざまな分野の
人たちが未来にチャレンジするまちへ

みんなの川崎祭

Colors,Future!
Summit

さまざまな主体による
コンテンツ

連動



市制100周年記念事業のレガシーの考え方

① 100周年記念事業を契機として 生まれた多彩な事業

3. 市民、企業、団体等とまちを創る

100周年で生まれた事業である「ここから未来プロジェクト」「みどりの共創プロジェクト」「さいわいにぎわいフェス」など、市民、企業、団体等と協力してまちを創る取組を、今後も継続して実施します。

4. 若年層がまちに関わる

100周年で生まれた事業である「学校e～ね★サミット」「子どもたちが考える未来のかわさきをデザイン」など子どもたちが川崎のまちを知り、関わる取組を、今後も継続して実施します。

5. 多様性を伸ばす

100周年を契機に実施した「かわさき多摩川マラソンの車いすランや未就学児部門の創設」「人生100年時代に備える地ケアフェア」など、多様性を伸ばす取組を、今後も継続して実施します。

6. 川崎の歴史を伝える

100周年を契機に実施した「川崎市史」「川崎の発展と環境の歴史を振り返り未来を考える企画展」など、川崎の歴史や魅力を伝える取組を、今後も継続して実施します。

7. 緑化フェアを契機としたみどりのまちづくり

※全国都市緑化かわさきフェアのレガシーに関しては、別途、取組を進めています。



市制100周年記念事業のレガシーの考え方

②自らまちに関わり、まちを盛り上げる 市民・企業・団体等とのつながり

記念事業が終了次第、実行委員会は解散予定ですが、解散後も実行委員会における情報発信機能や官民・民間同士の相互交流機能を継承し、今後も官民連携や民間主体でまちを盛り上げる機運を醸成していくため、既存のプラットフォームとの連携を図りながら、100周年で生まれた「つながり」を活かす場を残すとともに、引き続き、「新たなつながり」を生みだす取組を進めます。

実行委員会のつながりの継承

実行委員会で実施したWEBサイトなどを活用した情報発信や、交流会などの相互交流機能を継承するため、目的や仕組みとしてシナジーの高い「SDGsプラットフォーム」に、100周年のつながりを活かした、「(仮称)Colors,Future! Actions推進部会」を新設し、実行委員会主催事業の継続・発展を図るとともに、新たなつながりを生む交流等の取組を進めます。



令和7年夏頃解散予定

実行委員会

継承・案内

川崎市SDGsプラットフォーム

事務局
川崎市、川崎信用金庫

コアメンバー
川崎商工会議所、川崎青年会議所、川崎市産業振興財団、
かわさき市民活動センター、川崎市地球温暖化防止活動推進センター



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています。

かわさきSDGsパートナー「川崎市SDGs登録・認証制度」

～ SDGsの達成に向けて取り組む企業・団体の登録 ～

加入
案内

新設

かわさきSDGsパートナーへの取組支援等

かわさきSDGs大賞

～ 優良事例の表彰・共有 ～

かわさきSDGsポータルサイト

～ 活動の見える化 ～

SDGsフォーラム・セミナー等

～ 勉強会・事例共有 ～

その他SDGs関連イベント・企画等

仮称：Colors,Future! Actions推進『部会』

～ 官民連携で取組・つながりを継続・発展 ～

- ・市制100周年を契機に生まれたプロジェクトの運営
- ・新たなつながりを生む交流の機会の創出や情報発信

川崎市SDGsプラットフォーム『分科会』

～ パートナー同士の自主的な連携 ～

- ・かわさきSDGsパートナーの提案による『分科会』の設立及び自主的活動
- ・川崎市SDGsプラットフォームによる『分科会』への側面支援

市制100周年記念事業のレガシーの考え方

③川崎を知って、関わって、好きになり、 向上したシビックプライド

さまざまな媒体や手法を活用して取り組んだ周知・PRについては、その手法やノウハウを今後のプロモーション活動に活かし、効果的なPR・川崎の更なる魅力向上につなげていきます。

シビックプライドを活かした 更なる川崎の魅力向上

記念事業の実施等により、市民の「シビックプライド」や、「川崎の対外的イメージ」が向上しました。

シビックプライドが向上すると、市民一人ひとりが当事者意識を持って主体的に行動するようになり、地域社会への参画意識の高まりによって、地域で支え合うまちが形成されるとともに、川崎に魅力を感じる企業・産業の進出などがこれまで以上に期待されます。

このような都市の発展や魅力の向上は、市民の自信やさらなる誇りへとつながり、対外的イメージの向上につながります。

今後も、こうした都市の魅力を高める好循環を生み出していけるよう取り組んでいきます。

ノウハウを活かしたプロモーション

記念事業は、「知って、関わって、好きになる」というキャッチコピーと、ブランドメッセージのロゴ色を活用した視認性の高いビジュアルを活用し、統一的なプロモーションを展開しました。また、定期的にイベント時に「100周年の認知度」の状況把握するとともに、著名人の活用や駅前のシティドレッシング、SNSの活用など、さまざまなプロモーションを実施してきました。

今回の取組成果を今後のプロモーションに活かし、川崎のより一層のブランディングを図っていきます。

「共感」による多様な主体との連携

各局区によるオール市役所での、情報発信をはじめ、子どもたちの100周年や自分たちのまちへの学びによる大人への波及効果や、100周年を祝うことに共感いただいた民間の協力などにより、効果的なプロモーションを実施することができました。

今回の取組成果を活かし、取組への「共感」を大切にしながら、多様な主体との連携によるシティプロモーションを進めていきます。

進捗の確認と今後のスケジュールについて

●「Colors,Future! Actions 推進ビジョン」を踏まえた取組の進捗確認について

レガシーの基本的な考え方である「さまざまな人たちが川崎に「愛着」と「誇り」を持ち、つながりあいながら未来にチャレンジするまち」の実現に向けて、実行委員会解散後もSDGsプラットフォームにおける「(仮称) Colors,Future! Actions 推進部会」や川崎市の庁内横断的な会議等を活用しながら定期的に現状を把握し、進捗確認をしていく必要があります。

「シビックプライド指標（市民の市に対する「愛着」「誇り」に関する平均値）」及び「隣接都市における、川崎市にいいイメージがあると感じている人の割合」など、川崎市総合計画に定める「主な成果指標」を進捗確認に活用するとともに、7つの取組の方向性を踏まえた「100周年記念事業を契機として生まれた多彩な事業」のその後の取組状況などを把握しながら、総合的に成果を測り、必要な見直しを行いながら取組を進めていきます。

●今後のスケジュールについて

